

履修の手引

令和7年度

2025



人とともに 地域とともに

島根大学

SHIMANE UNIVERSITY

自然科学研究科

博士前期課程及び博士後期課程

目 次

自然科学研究科の概要	1
博士前期課程	
I. 修学の手引	3
1. 教育指導の基本方針	
2. 指導教員	
3. 履修基準及び履修方法	
4. セメスターについて	
5. 履修計画	
6. 履修手続	
7. 課程修了の認定	
8. 修士論文等及び学位	
9. 教育職員免許状の取得	
II. 単位の修得方法	7
島根大学大学院自然科学研究科規則別表第1, 別表第2	
III. 教育職員免許状取得のための履修方法	7 8
1. 基礎資格	
2. 教科に関する科目の単位の修得方法	
IV. 建築士試験の大学院における実務経験取得のための履修方法	9 8
博士後期課程	
I. 修学の手引	1 0 0
1. 教育指導の基本方針	
2. 指導教員	
3. 授業科目	
4. 履修基準	
5. 履修手続	
6. 課程修了の認定	
7. 学位授与	
II. 単位の修得方法	1 0 2
島根大学大学院自然科学研究科規則別表第3, 別表第4	
学内規則等	
(1) 大学院自然科学研究科規則	1 1 4
(2) 学位規則自然科学研究科博士前期課程細則	1 2 1
(3) 大学院自然科学研究科学生交流取扱要項	1 3 3
(4) 大学院自然科学研究科博士前期課程における早期修了に関する取扱要項	1 4 3
(5) 大学院自然科学研究科博士前期課程における早期修了に関する申合せ	1 5 2
(6) 大学院自然科学研究科における成績評価に係る不服申立てに関する取扱要項	1 5 3
(7) 大学院自然科学研究科における入学前の既修得単位の認定に関する取扱要項	1 5 7
(8) 大学院自然科学研究科における転入学した学生に係る 既修得単位の認定に関する取扱要項	1 6 2
(9) 総合理工学部及び生物資源科学部学生の自然科学研究科授業科目の履修に関する 要項により修得した学生に係る単位認定に関する申合せ	1 6 6
(10) 大学院自然科学研究科博士前期課程における研究指導の方法及び 内容に関する取扱要項	1 6 8
(11) 大学院自然科学研究科博士前期課程学位論文(修士論文)等に係る評価基準	1 7 2
(12) 学位規則自然科学研究科博士後期課程細則	1 7 3
(13) 大学院自然科学研究科博士後期課程における早期修了に関する取扱要項	2 0 9
(14) 大学院自然科学研究科博士後期課程における研究指導の方法及び 内容に関する取扱要項	2 1 2
(15) 大学院自然科学研究科博士後期課程学位論文(博士論文)に係る評価基準	2 1 5

自然科学研究科の概要

自然科学研究科博士前期課程は、理工学専攻、環境システム科学専攻、農生命科学専攻の3つの専攻により、11の教育コースを設けています。博士後期課程は、創成理工学専攻に理工学コース、自然環境システム科学コースの2つの教育コースを設けています。次の表に、専攻、教育コース及び入学定員を示します。

博士前期課程

専攻	教育コース	入学定員
理工学専攻	先端材料工学コース 数理科学コース 知能情報デザイン学コース 物理・応用物理学コース 機械・電気電子工学コース	79
環境システム科学専攻	地球科学コース 環境共生科学コース 物質化学コース 建築デザイン学コース	78
農生命科学専攻	生命科学コース 農林生産学コース	43
合 計		200

博士後期課程

専攻	教育コース	入学定員
創成理工学専攻	理工学コース 自然環境システム科学コース	15

博士前期課程 (教務事項について)

I. 修学の手引

1. 教育指導の基本方針

自然科学研究科博士前期課程は、これまでの2研究科（総合理工学研究科・生物資源科学研究科）体制ではできなかった自然科学系の幅広い教養教育を可能とし、理学、工学、生物資源科学にわたる幅広い学問領域を含む特長を活かし、高度な専門知識と学際的視野を持った創造性豊かで、地域社会の発展に寄与する人材を育成します。

2. 指導教員

博士前期課程入学時、学生ごとに主指導教員1名を定めます。主指導教員は、学生の授業科目の履修指導及び研究指導を行います。また、副指導教員を1名以上定めることとなっており、副指導教員のうち少なくとも1名は専攻内の他コースまたは他専攻の教員とすることとなっています。

3. 履修基準及び履修方法

次の履修基準にしたがって授業科目を履修し、2年間で30単位以上を修得してください。

授業科目及び単位数は、7ページからの「II. 単位の修得方法」のとおりです。

○理工学専攻・環境システム科学専攻・農生命科学専攻の全てのコース共通

コース 科目区分	最低修得単位数		
	全コース共通		
	必修	選択	自由選択
研究科共通科目	4	2	6
専門科目	—	6	
セミナー	4	—	—
特別研究	8	—	—
合計	30		

特別教育プログラム（医理工農連携プログラム、ダブルディグリープログラム、英語による留学生プログラム、英語による「地球」教育研究特別プログラム）に所属している学生は上記の各専攻の教育コースの履修基準とは別に、各プログラムの「II. 単位の修得方法」（P. 37～）が適用されます。

○特別教育プログラム（医理工農連携プログラム）

プログラム 科目区分	最低修得単位数			
	医理工農連携プログラム（全コース共通）			
	必修	選択必修	選択	自由選択
研究科共通科目	4		2	4
専門科目		4	4	
セミナー	4	—	—	—
特別研究	8	—	—	—
合計	30			

○特別教育プログラム（ダブルディグリープログラム）

プログラム 科目区分	最低修得単位数				
	ダブルディグリープログラム （数理科学コース）			ダブルディグリープログラム （環境共生科学コース） （農林生産学コース）	
	必修	選択必修	選択	必修	選択
研究科共通科目	—	4	14	2	—
専門科目	—	—		—	16
セミナー	4	—	—	4	—
特別研究	8	—	—	8	—
合計	30			30	

○特別教育プログラム

（英語による留学生プログラム，英語による「地球」教育研究特別プログラム）

プログラム 科目区分	最低修得単位数			
	英語による留学生プログラム		英語による「地球」教育研究 特別プログラム	
	必修	選択	必修	選択
研究科共通科目	2	—	2	—
専門科目	—	16	—	16
セミナー	4	—	4	—
特別研究	8	—	8	—
合計	30		30	

4. セメスターについて

自然科学研究科における学期は以下のとおりです。

- 第Ⅰセメスター 1年次前半
- 第Ⅱセメスター 1年次後半
- 第Ⅲセメスター 2年次前半
- 第Ⅳセメスター 2年次後半

5. 履修計画

7ページからの別表第1, 37ページからの別表第2に基づき各コースごとに履修する授業科目を定め、4セメスター全体を通しての履修計画を立ててください。

また、第Ⅰ, 第Ⅲセメスター当初に「研究計画」を指導教員とともに作成し、学生センターへ提出、第Ⅰ, 第Ⅱ及び第Ⅲセメスター終了時に「プログレスレポート」を学生センターへ提出し、計画的に研究に取り組んでください。

6. 履修手続

「授業科目一覧」(自然科学研究科ホームページに掲載)により履修する授業科目を指導教員と相談の上で決定し、履修手続を行ってください。

なお、履修手続に関する詳細については、学務情報システムを通じた掲示により周知しますので、注意してください。また、この履修手続を行っていない授業科目は、履修することができません。

(1) 春季(4月)入学者

履修登録手続は、WEB履修登録開始日から行います。履修登録確認及び変更手続もWEB履修登録期限内に行ってください。第Ⅰセメスター時には第Ⅰ及び第Ⅱセメスター分の授業科目を、第Ⅲセメスター時には第Ⅲ及び第Ⅳセメスター分の授業科目を登録します。

(2) 秋季(10月)入学者

秋季(10月)入学の学生については、10月からが第Ⅰセメスターとなります。履修手続きは、第Ⅰセメスター、第Ⅱセメスター及び第Ⅳセメスター時に行います。第Ⅰセメスター時には第Ⅰセメスター分の授業科目を、第Ⅱセメスター時には第Ⅱ及び第Ⅲセメスター分の授業科目を、第Ⅳセメスター時には第Ⅳセメスター分の授業科目を登録します。

学務情報システムから履修登録ができない場合は、学生センターで履修届の用紙を受け取り、定められた期日までに提出してください。

(3) 集中講義の履修について

集中講義の履修について、非常勤講師が実施するものについては実施時期・履修登録期間等を掲示により案内します。案内に従って履修手続を行ってください。学務情報システムからは登録できませんので、注意してください。学内の教員が行う集中講義は学務情報システムから登録してください。

(4) 大学院設置基準第14条の適用について

大学院設置基準第14条の適用を受けて入学した社会人が夜間開講等を希望する場合には、履修手続前に指導教員及び授業担当教員と相談してください。

7. 課程修了の認定

博士前期課程を修了するためには、博士前期課程に原則として2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文（修士論文）等の審査及び試験に合格しなければなりません。

8. 学位論文（修士論文）等及び学位

(1) 学位論文（修士論文）または研究成果の提出等については、学位規則自然科学研究科博士前期課程細則（P. 121～）を参照してください。詳細については、主指導教員の指示を受けてください。

(2) 博士前期課程を修了した者には、修士（理学，工学，生物資源科学）の学位が授与されます。学位名称（理学，工学，生物資源科学）については、主指導教員に確認のうえ、申請してください。

9. 教育職員免許状の取得

研究科において取得できる教育職員免許状の種類等は、大学院自然科学研究科規則のとおりです。

各種の教育職員免許状の取得方法は、78ページからの「Ⅲ. 教育職員免許状取得のための履修方法」を参照してください。

また、免許状を取得するには、申請が必要になります。免許状に関する諸事項については、掲示等でお知らせします。

Ⅱ．単位の修得方法

大学院自然科学研究科規則別表第1

理工学専攻

先端材料工学コース

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
研究科共通	自然科学概論	1		研究科共通6単位以上，専門科目6単位以上，セミナー4単位，特別研究8単位を修得し，合計30単位以上修得すること。
	理工学論	1		
	環境システム科学論		1	
	農生命科学論		1	
	アカデミック英語演習Ⅰ	2		
	アカデミック英語演習Ⅱ		2	
	理工数学基礎Ⅰ		2	
	理工数学基礎Ⅱ		2	
	生命数学基礎Ⅰ		2	
	生命数学基礎Ⅱ		2	
	知能情報デザイン論		2	
	MOT基礎概論		2	
	MOT特論		2	
	工学系英語演習		2	
	持続性科学とSDGs		2	
	研究と倫理		1	
	研究力とキャリアデザイン		1	
	学際プレゼンテーション入門		1	
	PBLアドバンス		1	
	英語による発表技術		2	
	実践教育プロジェクトⅠ		2	
	実践教育プロジェクトⅡ		2	
	実践教育プロジェクトⅢ		2	
	海外インターンシップ		2	
	責任ある研究活動入門		1	
	※教育課題実践研究		1	
専門科目	金属材料学		2	
	電子材料学		2	
	プラズマ・材料相互作用特論		2	
	電子材料プロセス概論		2	
	超伝導概論		2	
	先端電子材料設計特論		2	
	半導体フォトニクス工学		2	
	薄膜材料デバイス工学		2	
	応用熱流体工学		2	
	実用機械設計		2	
	モバイルネットワーク		2	
	知識獲得特論		2	
	実用第一原理計算特論		2	
	半導体薄膜技術概論		2	
	二体分布関数分析概論		2	
	エネルギー材料科学		2	
	応用機器分析特論		2	
	有機化学特論		2	
	高分子バイオマテリアル特論		2	
	生命工学材料特論		2	
	情報数学入門		2	

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
専門科目	誤り制御論		2	
	情報ネットワーク基礎論		2	
	Introduction to high-temperature materials		2	
	特別実習		1	
	マテリアル工学特別講義Ⅰa		2	
	マテリアル工学特別講義Ⅰb		1	
	マテリアル工学特別講義Ⅱa		2	
	マテリアル工学特別講義Ⅱb		1	
	マテリアル工学特別講義Ⅲa		2	
	マテリアル工学特別講義Ⅲb		1	
	マテリアル工学特別講義Ⅳa		2	
	マテリアル工学特別講義Ⅴa		2	
	マテリアル工学特別講義Ⅵa		2	
	電子デバイス工学特別講義Ⅰa		2	
	電子デバイス工学特別講義Ⅰb		1	
	電子デバイス工学特別講義Ⅱa		2	
	電子デバイス工学特別講義Ⅱb		1	
	電子デバイス工学特別講義Ⅲa		2	
	電子デバイス工学特別講義Ⅲb		1	
	電子デバイス工学特別講義Ⅳa		2	
	電子デバイス工学特別講義Ⅴa		2	
	電子デバイス工学特別講義Ⅵa		2	
	☆物質構造概論Ⅰ		2	
	☆物質構造概論Ⅱ		2	
	☆物質機能概論Ⅰ		2	
	☆エレクトロニクス概論		2	
	専攻内の他コース開講科目			
	他専攻開講科目			
セミナー	セミナーⅠ-3-2（結晶成長学）	1		
	セミナーⅠ-11	1		
	セミナーⅡ-3-2（結晶成長学）	1		
	セミナーⅡ-11	1		
	セミナーⅢ-3-2（結晶成長学）	1		
	セミナーⅢ-11	1		
	セミナーⅣ-3-2（結晶成長学）	1		
	セミナーⅣ-11	1		
特別研究	特別研究Ⅰ-11	2		
	特別研究Ⅱ-11	2		
	特別研究Ⅲ-11	2		
	特別研究Ⅳ-11	2		

備考

- 1 研究科共通科目の修得方法
必修科目を4単位修得しなければならない。その上で、必修科目以外から2単位修得しなければならない。
- 2 専門科目の修得方法
専門科目の中から6単位以上修得しなければならない。
- 3 必修科目であるセミナー4単位、特別研究8単位を修得しなければならない。
- 4 上記1, 2の単位を修得した上で、研究科共通科目と専門科目の中から6単位分を自由選択科目として修得しなければならない。
- 5 ☆印の授業科目は大学院設置基準第14条の適用を受けて入学した社会人が夜間開講を希望する場合に受ける科目である。
- 6 ※印の授業科目は、教育職員免許状取得に関する科目であり、修了要件に含めることはできない。

理工学専攻
数理科学コース

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
研究科共通	自然科学概論	1		研究科共通6単位以上，専門科目6単位以上，セミナー4単位，特別研究8単位を修得し，合計30単位以上修得すること。
	理工学論	1		
	環境システム科学論		1	
	農生命科学論		1	
	アカデミック英語演習Ⅰ	2		
	アカデミック英語演習Ⅱ		2	
	理工数学基礎Ⅰ		2	
	理工数学基礎Ⅱ		2	
	生命数学基礎Ⅰ		2	
	生命数学基礎Ⅱ		2	
	知能情報デザイン論		2	
	MOT基礎概論		2	
	MOT特論		2	
	工科系英語演習		2	
	持続性科学とSDGs		2	
	研究と倫理		1	
	研究力とキャリアデザイン		1	
	学際プレゼンテーション入門		1	
	PBLアドバンス		1	
	英語による発表技術		2	
	実践教育プロジェクトⅠ		2	
	実践教育プロジェクトⅡ		2	
	実践教育プロジェクトⅢ		2	
	海外インターンシップ		2	
	責任ある研究活動入門		1	
	※教育課題実践研究		1	
専門科目	関数解析		2	
	代数学		2	
	代数位相幾何学		2	
	リーマン幾何学		2	
	統計科学論		2	
	微分位相幾何学		2	
	無限次元位相幾何学		2	
	リー代数		2	
	ホモロジー代数		2	
	数値近似法		2	
	微分方程式と有限差分法		2	
	定性的微分方程式論		2	
	微分方程式の安定性理論		2	
	応用遅延微分方程式論		2	
	代数的組合せ論		2	
	凸解析非線形関数解析		2	
	楕円型偏微分方程式論		2	
	双曲型偏微分方程式論		2	
	放物型偏微分方程式論		2	
	複素関数論		2	
	ガロアコホモロジー		2	
	信号処理と数値解析		2	
	金融数学		2	
	数理生物学		2	

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
専門科目	多重ゼータ値		2	
	調和解析学		2	
	数学海外研修		2	
	数理科学特論Ⅰ		2	
	数理科学特論Ⅱ		2	
	数理科学特論Ⅲ		2	
	数理科学特論Ⅳ		2	
	数理科学特論Ⅴ		2	
	数理科学特論Ⅵ		2	
	数理科学特論Ⅶ		2	
	数理科学特論Ⅷ		2	
	☆数理構造学概論Ⅰ		2	
	☆数理構造学概論Ⅱ		2	
	☆数理構造学概論Ⅲ		2	
	☆数理構造学概論Ⅳ		2	
	☆数理構造学概論Ⅴ		2	
	☆数理構造学概論Ⅵ		2	
	☆数理構造学概論Ⅶ		2	
	☆数理構造学概論Ⅷ		2	
	☆数理構造学概論Ⅸ		2	
	☆数理解析学概論Ⅰ		2	
	☆数理解析学概論Ⅱ		2	
	☆数理解析学概論Ⅲ		2	
	☆数理解析学概論Ⅳ		2	
	☆数理解析学概論Ⅴ		2	
	☆数理解析学概論Ⅵ		2	
	☆数理解析学概論Ⅶ		2	
	☆数理解析学概論Ⅷ		2	
	☆数理解析学概論Ⅸ		2	
	☆数理解析学概論Ⅹ		2	
	専攻内の他コース開講科目			
	他専攻開講科目			
セミナー	セミナーⅠ-1-1 (解析学)	1		
	セミナーⅠ-1-2 (代数学)	1		
	セミナーⅠ-1-3 (統計科学)	1		
	セミナーⅠ-1-4 (凸解析学・非線形解析学)	1		
	セミナーⅠ-1-5 (解析学)	1		
	セミナーⅠ-1-6 (複素解析学)	1		
	セミナーⅠ-1-7 (微分幾何学)	1		
	セミナーⅠ-1-8 (位相幾何学)	1		
	セミナーⅠ-1-9 (代数学)	1		
	セミナーⅠ-1-10 (生物数学)	1		
	セミナーⅠ-1-11 (現象数理学)	1		
	セミナーⅠ-1-12 (力学系の解析学)	1		
	セミナーⅠ-1-13 (離散構造)	1		
	セミナーⅠ-1-14 (代数的組合せ論)	1		
	セミナーⅡ-1-1 (解析学)	1		
	セミナーⅡ-1-2 (代数学)	1		
	セミナーⅡ-1-3 (統計科学)	1		
	セミナーⅡ-1-4 (凸解析学・非線形解析学)	1		
	セミナーⅡ-1-5 (解析学)	1		
	セミナーⅡ-1-6 (複素解析学)	1		

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
セミナー	セミナーⅡ-1-7 (微分幾何学)	1		
	セミナーⅡ-1-8 (位相幾何学)	1		
	セミナーⅡ-1-9 (代数学)	1		
	セミナーⅡ-1-10 (生物数学)	1		
	セミナーⅡ-1-11 (現象数理学)	1		
	セミナーⅡ-1-12 (力学系の解析学)	1		
	セミナーⅡ-1-13 (離散構造)	1		
	セミナーⅡ-1-14 (代数的組合せ論)	1		
	セミナーⅢ-1-1 (解析学)	1		
	セミナーⅢ-1-2 (代数学)	1		
	セミナーⅢ-1-3 (統計科学)	1		
	セミナーⅢ-1-4 (凸解析学・非線形解析学)	1		
	セミナーⅢ-1-5 (解析学)	1		
	セミナーⅢ-1-6 (複素解析学)	1		
	セミナーⅢ-1-7 (微分幾何学)	1		
	セミナーⅢ-1-8 (位相幾何学)	1		
	セミナーⅢ-1-9 (代数学)	1		
	セミナーⅢ-1-10 (生物数学)	1		
	セミナーⅢ-1-11 (現象数理学)	1		
	セミナーⅢ-1-12 (力学系の解析学)	1		
	セミナーⅢ-1-13 (離散構造)	1		
	セミナーⅢ-1-14 (代数的組合せ論)	1		
	セミナーⅣ-1-1 (解析学)	1		
	セミナーⅣ-1-2 (代数学)	1		
	セミナーⅣ-1-3 (統計科学)	1		
	セミナーⅣ-1-4 (凸解析学・非線形解析学)	1		
	セミナーⅣ-1-5 (解析学)	1		
	セミナーⅣ-1-6 (複素解析学)	1		
	セミナーⅣ-1-7 (微分幾何学)	1		
	セミナーⅣ-1-8 (位相幾何学)	1		
	セミナーⅣ-1-9 (代数学)	1		
	セミナーⅣ-1-10 (生物数学)	1		
	セミナーⅣ-1-11 (現象数理学)	1		
	セミナーⅣ-1-12 (力学系の解析学)	1		
	セミナーⅣ-1-13 (離散構造)	1		
	セミナーⅣ-1-14 (代数的組合せ論)	1		
特別研究	特別研究Ⅰ-1-1 (解析学)	2		
	特別研究Ⅰ-1-2 (代数学)	2		
	特別研究Ⅰ-1-3 (統計科学)	2		
	特別研究Ⅰ-1-4 (凸解析学・非線形解析学)	2		
	特別研究Ⅰ-1-5 (解析学)	2		
	特別研究Ⅰ-1-6 (複素解析学)	2		
	特別研究Ⅰ-1-7 (微分幾何学)	2		
	特別研究Ⅰ-1-8 (位相幾何学)	2		
	特別研究Ⅰ-1-9 (代数学)	2		
	特別研究Ⅰ-1-10 (生物数学)	2		
	特別研究Ⅰ-1-11 (現象数理学)	2		
	特別研究Ⅰ-1-12 (力学系の解析学)	2		
	特別研究Ⅱ-1-1 (解析学)	2		
	特別研究Ⅱ-1-2 (代数学)	2		
	特別研究Ⅱ-1-3 (統計科学)	2		
	特別研究Ⅱ-1-4 (凸解析学・非線形解析学)	2		

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
特別研究	特別研究Ⅱ-1-5（解析学）	2		
	特別研究Ⅱ-1-6（複素解析学）	2		
	特別研究Ⅱ-1-7（微分幾何学）	2		
	特別研究Ⅱ-1-8（位相幾何学）	2		
	特別研究Ⅱ-1-9（代数学）	2		
	特別研究Ⅱ-1-10（生物数学）	2		
	特別研究Ⅱ-1-11（現象数理学）	2		
	特別研究Ⅱ-1-12（力学系の解析学）	2		
	特別研究Ⅲ-1-1（解析学）	2		
	特別研究Ⅲ-1-2（代数学）	2		
	特別研究Ⅲ-1-3（統計科学）	2		
	特別研究Ⅲ-1-4（凸解析学・非線形解析学）	2		
	特別研究Ⅲ-1-5（解析学）	2		
	特別研究Ⅲ-1-6（複素解析学）	2		
	特別研究Ⅲ-1-7（微分幾何学）	2		
	特別研究Ⅲ-1-8（位相幾何学）	2		
	特別研究Ⅲ-1-9（代数学）	2		
	特別研究Ⅲ-1-10（生物数学）	2		
	特別研究Ⅲ-1-11（現象数理学）	2		
	特別研究Ⅲ-1-12（力学系の解析学）	2		
	特別研究Ⅳ-1-1（解析学）	2		
	特別研究Ⅳ-1-2（代数学）	2		
	特別研究Ⅳ-1-3（統計科学）	2		
	特別研究Ⅳ-1-4（凸解析学・非線形解析学）	2		
	特別研究Ⅳ-1-5（解析学）	2		
	特別研究Ⅳ-1-6（複素解析学）	2		
	特別研究Ⅳ-1-7（微分幾何学）	2		
	特別研究Ⅳ-1-8（位相幾何学）	2		
	特別研究Ⅳ-1-9（代数学）	2		
	特別研究Ⅳ-1-10（生物数学）	2		
	特別研究Ⅳ-1-11（現象数理学）	2		
	特別研究Ⅳ-1-12（力学系の解析学）	2		

備考

- 1 研究科共通科目の修得方法
必修科目を4単位修得しなければならない。その上で、必修科目以外から2単位修得しなければならない。
- 2 専門科目の修得方法
専門科目の中から6単位以上修得しなければならない。
- 3 必修科目であるセミナー4単位、特別研究8単位を修得しなければならない。
- 4 上記1、2の単位を修得した上で、研究科共通科目と専門科目の中から6単位分を自由選択科目として修得しなければならない。
- 5 ☆印の授業科目は大学院設置基準第14条の適用を受けて入学した社会人が夜間開講等を希望する場合に受ける科目である。
- 6 ※印の授業科目は、教育職員免許状取得に関する科目であり、修了要件に含めることはできない。

理工学専攻
知能情報デザイン学コース

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
研究科共通	自然科学概論	1		研究科共通6単位以上，専門科目6単位以上，セミナー4単位，特別研究8単位を修得し，合計30単位以上修得すること。
	理工学論	1		
	環境システム科学論		1	
	農生命科学論		1	
	アカデミック英語演習Ⅰ	2		
	アカデミック英語演習Ⅱ		2	
	理工数学基礎Ⅰ		2	
	理工数学基礎Ⅱ		2	
	生命数学基礎Ⅰ		2	
	生命数学基礎Ⅱ		2	
	知能情報デザイン論		2	
	MOT基礎概論		2	
	MOT特論		2	
	工科系英語演習		2	
	持続性科学とSDGs		2	
	研究と倫理		1	
	研究力とキャリアデザイン		1	
	学際プレゼンテーション入門		1	
	PBLアドバンス		1	
	英語による発表技術		2	
	実践教育プロジェクトⅠ		2	
	実践教育プロジェクトⅡ		2	
	実践教育プロジェクトⅢ		2	
	海外インターンシップ		2	
	責任ある研究活動入門		1	
	※教育課題実践研究		1	
専門科目	モバイルネットワーク		2	
	障がい者・高齢者とICT		2	
	知識発見とデータマイニング		2	
	プログラム解析技術		2	
	計算量理論		2	
	知識獲得特論		2	
	統計的パターン認識論		2	
	Advance Computer Arithmetic		2	
	Structural Equation Modeling in Statistics		2	
	マルチメディア信号処理概論		2	
	情報神経行動学		2	
	システム創成特論		4	
	情報数学入門		2	
	誤り制御論		2	
	情報ネットワーク基礎論		2	
	専攻内の他コース開講科目			
	他専攻開講科目			
セミナー	セミナーⅠ-2	1		
	セミナーⅡ-2	1		
	セミナーⅢ-2	1		
	セミナーⅣ-2	1		

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
特別研究	特別研究Ⅰ-2	2		
	特別研究Ⅱ-2	2		
	特別研究Ⅲ-2	2		
	特別研究Ⅳ-2	2		

備考

- 1 研究科共通科目の修得方法
必修科目を4単位修得しなければならない。その上で、必修科目以外から2単位修得しなければならない。
- 2 専門科目の修得方法
専門科目の中から6単位以上修得しなければならない。
- 3 必修科目であるセミナー4単位，特別研究8単位を修得しなければならない。
- 4 上記1，2の単位を修得した上で，研究科共通科目と専門科目の中から6単位分を自由選択科目として修得しなければならない。
- 5 ☆印の授業科目は大学院設置基準第14条の適用を受けて入学した社会人が夜間開講等を希望する場合に受ける科目である。
- 6 ※印の授業科目は，教育職員免許状取得に関する科目であり，修了要件に含めることはできない。

理工学専攻
物理・応用物理学コース

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
研究科共通	自然科学概論	1		研究科共通6単位以上，専門科目6単位以上，セミナー4単位，特別研究8単位を修得し，合計30単位以上修得すること。
	理工学論	1		
	環境システム科学論		1	
	農生命科学論		1	
	アカデミック英語演習Ⅰ	2		
	アカデミック英語演習Ⅱ		2	
	理工数学基礎Ⅰ		2	
	理工数学基礎Ⅱ		2	
	生命数学基礎Ⅰ		2	
	生命数学基礎Ⅱ		2	
	知能情報デザイン論		2	
	MOT基礎概論		2	
	MOT特論		2	
	工科系英語演習		2	
	持続性科学とSDGs		2	
	研究と倫理		1	
	研究力とキャリアデザイン		1	
	学際プレゼンテーション入門		1	
	PBLアドバンス		1	
	英語による発表技術		2	
	実践教育プロジェクトⅠ		2	
	実践教育プロジェクトⅡ		2	
	実践教育プロジェクトⅢ		2	
	海外インターンシップ		2	
	責任ある研究活動入門		1	
	※教育課題実践研究		1	
専門科目	物理マテリアル工学ゼミナール		2	
	金属材料学		2	
	電子材料学		2	
	プラズマ・材料相互作用特論		2	
	電子材料プロセス概論		2	
	低温物理学		2	
	磁性物理学		2	
	金属化合物の磁性		2	
	超伝導概論		2	
	電子物性特論		2	
	固体電子論		2	
	統計場の理論		2	
	先端電子材料設計特論		2	
	半導体フォトニクス工学		2	
	薄膜材料デバイス工学		2	
	振動分光学		2	
	実用第一原理計算特論		2	
	半導体薄膜技術概論		2	
	物性測定技術概論		2	
	多体電子特論		2	

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
専門科目	特別実習		1	
	マテリアル工学特別講義Ⅰa		2	
	マテリアル工学特別講義Ⅰb		1	
	マテリアル工学特別講義Ⅱa		2	
	マテリアル工学特別講義Ⅱb		1	
	マテリアル工学特別講義Ⅲa		2	
	マテリアル工学特別講義Ⅲb		1	
	マテリアル工学特別講義Ⅳa		2	
	マテリアル工学特別講義Ⅴa		2	
	マテリアル工学特別講義Ⅵa		2	
	電子デバイス工学特別講義Ⅰa		2	
	電子デバイス工学特別講義Ⅰb		1	
	電子デバイス工学特別講義Ⅱa		2	
	電子デバイス工学特別講義Ⅱb		1	
	電子デバイス工学特別講義Ⅲa		2	
	電子デバイス工学特別講義Ⅲb		1	
	電子デバイス工学特別講義Ⅳa		2	
	電子デバイス工学特別講義Ⅴa		2	
	電子デバイス工学特別講義Ⅵa		2	
	基礎物理学特別講義Ⅰa		2	
	基礎物理学特別講義Ⅰb		1	
	基礎物理学特別講義Ⅱa		2	
	基礎物理学特別講義Ⅱb		1	
	基礎物理学特別講義Ⅲa		2	
	基礎物理学特別講義Ⅲb		1	
	基礎物理学特別講義Ⅳa		2	
	基礎物理学特別講義Ⅴa		2	
	基礎物理学特別講義Ⅵa		2	
	☆物質構造概論Ⅰ		2	
	☆物質構造概論Ⅱ		2	
	☆物質機能概論Ⅰ		2	
	☆量子物理学概論Ⅰ		2	
	☆量子物理学概論Ⅱ		2	
	☆エレクトロニクス概論		2	
	専攻内の他コース開講科目			
	他専攻開講科目			
セミナー	セミナーⅠ-3	1		
	セミナーⅠ-3-2（結晶成長学）	1		
	セミナーⅠ-3-3（電子物性学）	1		
	セミナーⅠ-3-4（物性物理学）	1		
	セミナーⅠ-3-5（理論物性物理学）	1		
	セミナーⅠ-3-7（低温物理学）	1		
	セミナーⅠ-3-8（凝縮系物理学）	1		
	セミナーⅠ-3-9（理論物性物理学）	1		
	セミナーⅠ-3-10（理論物性物理学）	1		
	セミナーⅡ-3	1		
	セミナーⅡ-3-2（結晶成長学）	1		
	セミナーⅡ-3-3（電子物性学）	1		
	セミナーⅡ-3-4（物性物理学）	1		
	セミナーⅡ-3-5（理論物性物理学）	1		

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
セミナー	セミナーⅡ-3-7 (低温物理学)	1		
	セミナーⅡ-3-8 (凝縮系物理学)	1		
	セミナーⅡ-3-9 (理論物性物理学)	1		
	セミナーⅡ-3-10 (理論物性物理学)	1		
	セミナーⅢ-3	1		
	セミナーⅢ-3-2 (結晶成長学)	1		
	セミナーⅢ-3-3 (電子物性学)	1		
	セミナーⅢ-3-4 (物性物理学)	1		
	セミナーⅢ-3-5 (理論物性物理学)	1		
	セミナーⅢ-3-7 (低温物理学)	1		
	セミナーⅢ-3-8 (凝縮系物理学)	1		
	セミナーⅢ-3-9 (理論物性物理学)	1		
	セミナーⅢ-3-10 (理論物性物理学)	1		
	セミナーⅣ-3	1		
	セミナーⅣ-3-2 (結晶成長学)	1		
	セミナーⅣ-3-3 (電子物性学)	1		
	セミナーⅣ-3-4 (物性物理学)	1		
	セミナーⅣ-3-5 (理論物性物理学)	1		
	セミナーⅣ-3-7 (低温物理学)	1		
	セミナーⅣ-3-8 (凝縮系物理学)	1		
	セミナーⅣ-3-9 (理論物性物理学)	1		
	セミナーⅣ-3-10 (理論物性物理学)	1		
特別研究	特別研究Ⅰ-3	2		
	特別研究Ⅱ-3	2		
	特別研究Ⅲ-3	2		
	特別研究Ⅳ-3	2		

備考

- 1 研究科共通科目の修得方法
必修科目を4単位修得しなければならない。その上で、必修科目以外から2単位修得しなければならない。
- 2 専門科目の修得方法
専門科目の中から6単位以上修得しなければならない。
- 3 必修科目であるセミナー4単位、特別研究8単位を修得しなければならない。
- 4 上記1, 2の単位を修得した上で、研究科共通科目と専門科目の中から6単位分を自由選択科目として修得しなければならない。
- 5 ☆印の授業科目は大学院設置基準第14条の適用を受けて入学した社会人が夜間開講等を希望する場合に受ける科目である。
- 6 ※印の授業科目は、教育職員免許状取得に関する科目であり、修了要件に含めることはできない。

理工学専攻
機械・電気電子工学コース

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
研究科共通	自然科学概論	1		研究科共通6単位以上，専門科目6単位以上，セミナー4単位，特別研究8単位を修得し，合計30単位以上修得すること。
	理工学論	1		
	環境システム科学論		1	
	農生命科学論		1	
	アカデミック英語演習Ⅰ	2		
	アカデミック英語演習Ⅱ		2	
	理工数学基礎Ⅰ		2	
	理工数学基礎Ⅱ		2	
	生命数学基礎Ⅰ		2	
	生命数学基礎Ⅱ		2	
	知能情報デザイン論		2	
	MOT基礎概論		2	
	MOT特論		2	
	工科系英語演習		2	
	持続性科学とSDGs		2	
	研究と倫理		1	
	研究力とキャリアデザイン		1	
	学際プレゼンテーション入門		1	
	PBLアドバンス		1	
	英語による発表技術		2	
	実践教育プロジェクトⅠ		2	
	実践教育プロジェクトⅡ		2	
	実践教育プロジェクトⅢ		2	
	海外インターンシップ		2	
	責任ある研究活動入門		1	
	※教育課題実践研究		1	
専門科目	特別計画研究		2	
	実用機械設計		2	
	ロボット工学特論		2	
	固体力学特論		2	
	機械力学特論		2	
	応用熱流体工学		2	
	音響工学		2	
	電磁波大気計測論		2	
	光応用計測論		2	
	フォトニクス基礎		2	
	コヒーレント光工学		2	
	統計的信号処理		2	
	再生可能エネルギーシステム用の電力変換器と制御		2	
	コヒーレント光学とホログラフィ		2	
	非線形力学特論		2	
	GPUプログラミング		2	
	専攻内の他コース開講科目			
	他専攻開講科目			

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
セミナー	セミナーⅠ-4	1		
	セミナーⅡ-4	1		
	セミナーⅢ-4	1		
	セミナーⅣ-4	1		
特別研究	特別研究Ⅰ-4	2		
	特別研究Ⅱ-4	2		
	特別研究Ⅲ-4	2		
	特別研究Ⅳ-4	2		

備考

- 1 研究科共通科目の修得方法
必修科目を4単位修得しなければならない。その上で、必修科目以外から2単位修得しなければならない。
- 2 専門科目の修得方法
専門科目の中から6単位以上修得しなければならない。
- 3 必修科目であるセミナー4単位、特別研究8単位を修得しなければならない。
- 4 上記1、2の単位を修得した上で、研究科共通科目と専門科目の中から6単位分を自由選択科目として修得しなければならない。
- 5 ☆印の授業科目は大学院設置基準第14条の適用を受けて入学した社会人が夜間開講等を希望する場合に受ける科目である。
- 6 ※印の授業科目は、教育職員免許状取得に関する科目であり、修了要件に含めることはできない。

環境システム科学専攻
地球科学コース

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
研究科共通	自然科学概論	1		研究科共通6単位以上，専門科目6単位以上，セミナー4単位，特別研究8単位を修得し，合計30単位以上修得すること。
	理工学論		1	
	環境システム科学論	1		
	農生命科学論		1	
	アカデミック英語演習Ⅰ	2		
	アカデミック英語演習Ⅱ		2	
	理工数学基礎Ⅰ		2	
	理工数学基礎Ⅱ		2	
	生命数学基礎Ⅰ		2	
	生命数学基礎Ⅱ		2	
	知能情報デザイン論		2	
	MOT基礎概論		2	
	MOT特論		2	
	工科系英語演習		2	
	持続性科学とSDGs		2	
	研究と倫理		1	
	研究力とキャリアデザイン		1	
	学際プレゼンテーション入門		1	
	PBLアドバンス		1	
	英語による発表技術		2	
	実践教育プロジェクトⅠ		2	
	実践教育プロジェクトⅡ		2	
	実践教育プロジェクトⅢ		2	
	海外インターンシップ		2	
	責任ある研究活動入門		1	
	※教育課題実践研究		1	
専門科目	変成岩岩石学特論		2	
	岩石化学特論		2	
	エネルギー資源の有機地球化学		2	
	鉱物学特論		2	
	資源地質学特論		2	
	火山学特論		2	
	生層序学		2	
	環境古生物学		2	
	堆積地質学		2	
	構造地質学特論		2	
	地球環境変動論		2	
	汽水域生態学		2	
	海洋環境科学特論		2	
	海岸・沿岸地質環境学		2	
	第四紀環境学		2	
	地殻流体工学		2	
	地盤解析学		2	
	グローバルテクニクス特論		2	
	地球環境科学		2	
	地球科学特別講義Ⅰ		1	
	地球科学特別講義Ⅱ		2	
	地球科学特別実習Ⅰ		2	
	地球科学特別実習Ⅱ		1	
	地球科学特別実習Ⅲ		2	

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
専門科目	Metamorphic Petrology 変成岩岩石学特論		2	
	Advanced Petrochemistry 岩石化学特論		2	
	Science of Fossil Fuel 有機地球化学特論		2	
	Mineral Science of Transition Elements- bearing Minerals 鉱物学特論		2	
	Resource Geology 資源地質学特論		2	
	Advanced Volcanology 火山学特論		2	
	Biostratigraphy 生層序学		2	
	Environmental Paleontology 環境古生物学		2	
	Sedimentary Geology 堆積地質学		2	
	Advanced Structural Geology 構造地質学特論		2	
	Theory of Global Environmental Change 地球環境変動論		2	
	Marine Environmental Science 海洋環境科学特論		2	
	Coastal Geoenvironmental Science 海岸・沿岸地質環境学		2	
	Quaternary Environmental Science 第四紀環境学		2	
	Groundwater Hydraulics 地殻流体工学		2	
	Geotechnical Analysis 地盤解析学		2	
	Global tectonics グローバルテクトニクス特論		2	
	Earth Environmental Science 地球環境科学		2	
	☆地球科学I		4	
	☆地球科学II		4	
	☆ジオサイエンス原理		4	
	専攻内の他コース開講科目			
	他専攻開講科目			
セミナー	セミナー I -5-1 (火成岩岩石学)	1		
	セミナー I -5-2 (石油地質学・有機地球化学)	1		
	セミナー I -5-3 (層位・古生物学)	1		
	セミナー I -5-6 (堆積学)	1		
	セミナー I -5-7 (資源地質学・地質年代学)	1		
	セミナー I -5-8 (生層序学)	1		
	セミナー I -5-9 (水文地質学)	1		
	セミナー I -5-10 (水域環境地質学)	1		

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
セミナー	セミナーⅠ-5-11 (変成岩岩石学)	1		
	セミナーⅠ-5-12 (岩石鉱物学)	1		
	セミナーⅠ-5-13 (火山学)	1		
	セミナーⅠ-5-14 (古環境・古生態学)	1		
	セミナーⅠ-5-15 (構造地質学)	1		
	セミナーⅠ-5-17 (土質力学)	1		
	セミナーⅠ-5-18 (環境微古生物学)	1		
	セミナーⅠ-5-20 (グローバルテクトニクス)	1		
	セミナーⅠ-5-21 (環境地質学)	1		
	セミナーⅡ-5-1 (火成岩岩石学)	1		
	セミナーⅡ-5-2 (石油地質学・有機地球化学)	1		
	セミナーⅡ-5-3 (層位・古生物学)	1		
	セミナーⅡ-5-6 (堆積学)	1		
	セミナーⅡ-5-7 (資源地質学・地質年代学)	1		
	セミナーⅡ-5-8 (生層序学)	1		
	セミナーⅡ-5-9 (水文地質学)	1		
	セミナーⅡ-5-10 (水域環境地質学)	1		
	セミナーⅡ-5-11 (変成岩岩石学)	1		
	セミナーⅡ-5-12 (岩石鉱物学)	1		
	セミナーⅡ-5-13 (火山学)	1		
	セミナーⅡ-5-14 (古環境・古生態学)	1		
	セミナーⅡ-5-15 (構造地質学)	1		
	セミナーⅡ-5-17 (土質力学)	1		
	セミナーⅡ-5-18 (環境微古生物学)	1		
	セミナーⅡ-5-20 (グローバルテクトニクス)	1		
	セミナーⅡ-5-21 (環境地質学)	1		
	セミナーⅢ-5-1 (火成岩岩石学)	1		
	セミナーⅢ-5-2 (石油地質学・有機地球化学)	1		
	セミナーⅢ-5-3 (層位・古生物学)	1		
	セミナーⅢ-5-6 (堆積学)	1		
	セミナーⅢ-5-7 (資源地質学・地質年代学)	1		
	セミナーⅢ-5-8 (生層序学)	1		
	セミナーⅢ-5-9 (水文地質学)	1		
	セミナーⅢ-5-10 (水域環境地質学)	1		
	セミナーⅢ-5-11 (変成岩岩石学)	1		
	セミナーⅢ-5-12 (岩石鉱物学)	1		
	セミナーⅢ-5-13 (火山学)	1		
	セミナーⅢ-5-14 (古環境・古生態学)	1		
	セミナーⅢ-5-15 (構造地質学)	1		
	セミナーⅢ-5-17 (土質力学)	1		
	セミナーⅢ-5-18 (環境微古生物学)	1		
	セミナーⅢ-5-20 (グローバルテクトニクス)	1		
	セミナーⅢ-5-21 (環境地質学)	1		
	セミナーⅣ-5-1 (火成岩岩石学)	1		
	セミナーⅣ-5-2 (石油地質学・有機地球化学)	1		
	セミナーⅣ-5-3 (層位・古生物学)	1		
	セミナーⅣ-5-6 (堆積学)	1		
	セミナーⅣ-5-7 (資源地質学・地質年代学)	1		
	セミナーⅣ-5-8 (生層序学)	1		
	セミナーⅣ-5-9 (水文地質学)	1		
	セミナーⅣ-5-10 (水域環境地質学)	1		

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
セミナー	セミナーⅣ-5-11 (変成岩岩石学)	1		
	セミナーⅣ-5-12 (岩石鉱物学)	1		
	セミナーⅣ-5-13 (火山学)	1		
	セミナーⅣ-5-14 (古環境・古生態学)	1		
	セミナーⅣ-5-15 (構造地質学)	1		
	セミナーⅣ-5-17 (土質力学)	1		
	セミナーⅣ-5-18 (環境微古生物学)	1		
	セミナーⅣ-5-20 (グローバルテクトニクス)	1		
	セミナーⅣ-5-21 (環境地質学)	1		
特別研究	特別研究Ⅰ-5	2		
	特別研究Ⅱ-5	2		
	特別研究Ⅲ-5	2		
	特別研究Ⅳ-5	2		

備考

- 研究科共通科目の修得方法
必修科目を4単位修得しなければならない。その上で、必修科目以外から2単位修得しなければならない。
- 専門科目の修得方法
専門科目の中から6単位以上修得しなければならない。
- 必修科目であるセミナー4単位、特別研究8単位を修得しなければならない。
- 上記1, 2の単位を修得した上で、研究科共通科目と専門科目の中から6単位分を自由選択科目として修得しなければならない。
- ☆印の授業科目は大学院設置基準第14条の適用を受けて入学した社会人が夜間開講等を希望する場合に受ける科目である。
- ※印の授業科目は、教育職員免許状取得に関する科目であり、修了要件に含めることはできない。

環境システム科学専攻
環境共生科学コース

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
研究科共通	自然科学概論	1		研究科共通6単位以上，専門科目6単位以上，セミナー4単位，特別研究8単位を修得し，合計30単位以上修得すること。
	理工学論		1	
	環境システム科学論	1		
	農生命科学論		1	
	アカデミック英語演習I	2		
	アカデミック英語演習II		2	
	理工数学基礎I		2	
	理工数学基礎II		2	
	生命数学基礎I		2	
	生命数学基礎II		2	
	知能情報デザイン論		2	
	MOT基礎概論		2	
	MOT特論		2	
	工科系英語演習		2	
	持続性科学とSDGs		2	
	研究と倫理		1	
	研究力とキャリアデザイン		1	
	学際プレゼンテーション入門		1	
	PBLアドバンス		1	
	英語による発表技術		2	
	実践教育プロジェクトⅠ		2	
	実践教育プロジェクトⅡ		2	
	実践教育プロジェクトⅢ		2	
	海外インターンシップ		2	
	責任ある研究活動入門		1	
	※教育課題実践研究		1	
専門科目	森林生態環境学特論		2	
	植物病理生態学特論		2	
	水圏生態学特論		2	
	応用昆虫学特論		2	
	土壌環境共生学特論		2	
	水・土壌環境共生学特論		2	
	水文学特論		2	
	環境工学特論		2	
	施設工学特論		2	
	環境共生計測特論		2	
	ダム湖沼工学特論		2	
	沿岸生態系動態学特論		2	
	海洋生物学特論		2	
	沿岸環境水理学特論		2	
	普及教育活動特論		2	
	微生物機能特論		2	
	生物多様性特論		2	
	水圏応用科学特論		2	
	作物生産学特論		2	
	農業生産環境学特論		2	
	農業・農村開発史特論		2	
	農業経営経済分析特論		2	
	動物生産学特論		2	

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
専門科目	森林資源管理学特論		2	
	森林情報学特論		2	
	森林リモートセンシング特論		2	
	食品機能・加工学特論		2	
	特別実習		1	
	専攻内の他コース開講科目			
	他専攻開講科目			
セミナー	セミナーⅠ-6	1		
	セミナーⅡ-6	1		
	セミナーⅢ-6	1		
	セミナーⅣ-6	1		
特別研究	特別研究Ⅰ-6	2		
	特別研究Ⅱ-6	2		
	特別研究Ⅲ-6	2		
	特別研究Ⅳ-6	2		

備考

- 研究科共通科目の修得方法
必修科目を4単位修得しなければならない。その上で、必修科目以外から2単位修得しなければならない。
- 専門科目の修得方法
専門科目の中から6単位以上修得しなければならない。
- 必修科目であるセミナー4単位、特別研究8単位を修得しなければならない。
- 上記1, 2の単位を修得した上で、研究科共通科目と専門科目の中から6単位分を自由選択科目として修得しなければならない。
- ☆印の授業科目は大学院設置基準第14条の適用を受けて入学した社会人が夜間開講等を希望する場合に受ける科目である。
- ※印の授業科目は、教育職員免許状取得に関する科目であり、修了要件に含めることはできない。

環境システム科学専攻
物質化学コース

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
研究科共通	自然科学概論	1		研究科共通6単位以上，専門科目6単位以上，セミナー4単位，特別研究8単位を修得し，合計30単位以上修得すること。
	理工学論		1	
	環境システム科学論	1		
	農生命科学論		1	
	アカデミック英語演習Ⅰ	2		
	アカデミック英語演習Ⅱ		2	
	理工数学基礎Ⅰ		2	
	理工数学基礎Ⅱ		2	
	生命数学基礎Ⅰ		2	
	生命数学基礎Ⅱ		2	
	知能情報デザイン論		2	
	MOT基礎概論		2	
	MOT特論		2	
	工科系英語演習		2	
	持続性科学とSDGs		2	
	研究と倫理		1	
	研究力とキャリアデザイン		1	
	学際プレゼンテーション入門		1	
	PBLアドバンス		1	
	英語による発表技術		2	
	実践教育プロジェクトⅠ		2	
	実践教育プロジェクトⅡ		2	
	実践教育プロジェクトⅢ		2	
	海外インターンシップ		2	
	責任ある研究活動入門		1	
	※教育課題実践研究		1	
専門科目	無機化学特論Ⅰ		2	
	無機化学特論Ⅱ		2	
	有機化学特論Ⅰ		2	
	有機化学特論Ⅱ		2	
	有機化学特論Ⅲ		2	
	物理化学特論		2	
	環境分析化学特論		2	
	繊維材料化学特論		2	
	表面・界面化学特論		2	
	触媒化学特論		2	
	高分子化学特論Ⅰ		2	
	高分子化学特論Ⅱ		2	
	セラミックス化学特論		2	
	無機材料化学特論		2	
	無機環境材料化学特論		2	
	生物材料物理学特論		2	
	資源循環化学特論		2	
	分子生物学特論		2	
	物性化学特論		2	
	配位化学特論		2	
	特別実習		1	

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
専門科目	物質化学特別講義 1		1	
	物質化学特別講義 2		1	
	物質化学特別講義 3		1	
	物質化学特別講義 4		1	
	物質化学特別講義 5		2	
	物質化学特別講義 6		2	
	有機化学特論		2	
	高分子バイオマテリアル特論		2	
	☆物質化学概論		2	
	☆機能性材料設計特論		2	
	専攻内の他コース開講科目			
	他専攻開講科目			
セミナー	セミナーⅠ-7-1 (錯体化学)	1		
	セミナーⅠ-7-2 (反応有機化学)	1		
	セミナーⅠ-7-4 (高分子化学)	1		
	セミナーⅠ-7-5 (セラミックス物性学)	1		
	セミナーⅠ-7-6 (無機粉体材料化学)	1		
	セミナーⅠ-7-7 (木材物理学)	1		
	セミナーⅠ-7-8 (生物無機化学)	1		
	セミナーⅠ-7-9 (有機合成化学)	1		
	セミナーⅠ-7-10 (光エネルギー物理化学)	1		
	セミナーⅠ-7-11 (機能性材料物理化学)	1		
	セミナーⅠ-7-12 (触媒表面化学)	1		
	セミナーⅠ-7-13 (有機・高分子化学)	1		
	セミナーⅠ-7-14 (無機環境材料化学)	1		
	セミナーⅠ-7-15 (木質バイオマス変換工学)	1		
	セミナーⅠ-7-16 (木材化学)	1		
	セミナーⅠ-7-17 (構造有機化学)	1		
	セミナーⅠ-7-18 (環境分析化学)	1		
	セミナーⅠ-7-19 (繊維材料学)	1		
	セミナーⅠ-7-20 (物性化学)	1		
	セミナーⅠ-7-21 (配位化学)	1		
	セミナーⅠ-7-22 (ナノセラミックス材料化学)	1		
	セミナーⅠ-7-23 (有機材料化学)	1		
	セミナーⅠ-7-24 (光機能化学)	1		
	セミナーⅡ-7-1 (錯体化学)	1		
	セミナーⅡ-7-2 (反応有機化学)	1		
	セミナーⅡ-7-4 (高分子化学)	1		
	セミナーⅡ-7-5 (セラミックス物性学)	1		
	セミナーⅡ-7-6 (無機粉体材料化学)	1		
	セミナーⅡ-7-7 (木材物理学)	1		
	セミナーⅡ-7-8 (生物無機化学)	1		
	セミナーⅡ-7-9 (有機合成化学)	1		
	セミナーⅡ-7-10 (光エネルギー物理化学)	1		
	セミナーⅡ-7-11 (機能性材料物理化学)	1		
	セミナーⅡ-7-12 (触媒表面化学)	1		
	セミナーⅡ-7-13 (有機・高分子化学)	1		
	セミナーⅡ-7-14 (無機環境材料化学)	1		
	セミナーⅡ-7-15 (木質バイオマス変換工学)	1		

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
セミナー	セミナーⅡ-7-16 (木材化学)	1		
	セミナーⅡ-7-17 (構造有機化学)	1		
	セミナーⅡ-7-18 (環境分析化学)	1		
	セミナーⅡ-7-19 (繊維材料学)	1		
	セミナーⅡ-7-20 (物性化学)	1		
	セミナーⅡ-7-21 (配位化学)	1		
	セミナーⅡ-7-22 (ナノセラミックス材料化学)	1		
	セミナーⅡ-7-23 (有機材料化学)	1		
	セミナーⅡ-7-24 (光機能化学)	1		
	セミナーⅢ-7-1 (錯体化学)	1		
	セミナーⅢ-7-2 (反応有機化学)	1		
	セミナーⅢ-7-4 (高分子化学)	1		
	セミナーⅢ-7-5 (セラミックス物性学)	1		
	セミナーⅢ-7-6 (無機粉体材料化学)	1		
	セミナーⅢ-7-7 (木材物理学)	1		
	セミナーⅢ-7-8 (生物無機化学)	1		
	セミナーⅢ-7-9 (有機合成化学)	1		
	セミナーⅢ-7-10 (光エネルギー物理化学)	1		
	セミナーⅢ-7-11 (機能性材料物理化学)	1		
	セミナーⅢ-7-12 (触媒表面化学)	1		
	セミナーⅢ-7-13 (有機・高分子化学)	1		
	セミナーⅢ-7-14 (無機環境材料化学)	1		
	セミナーⅢ-7-15 (木質バイオマス変換工学)	1		
	セミナーⅢ-7-16 (木材化学)	1		
	セミナーⅢ-7-17 (構造有機化学)	1		
	セミナーⅢ-7-18 (環境分析化学)	1		
	セミナーⅢ-7-19 (繊維材料学)	1		
	セミナーⅢ-7-20 (物性化学)	1		
	セミナーⅢ-7-21 (配位化学)	1		
	セミナーⅢ-7-22 (ナノセラミックス材料化学)	1		
	セミナーⅢ-7-23 (有機材料化学)	1		
	セミナーⅢ-7-24 (光機能化学)	1		
	セミナーⅣ-7-1 (錯体化学)	1		
	セミナーⅣ-7-2 (反応有機化学)	1		
	セミナーⅣ-7-4 (高分子化学)	1		
	セミナーⅣ-7-5 (セラミックス物性学)	1		
	セミナーⅣ-7-6 (無機粉体材料化学)	1		
	セミナーⅣ-7-7 (木材物理学)	1		
	セミナーⅣ-7-8 (生物無機化学)	1		
	セミナーⅣ-7-9 (有機合成化学)	1		
	セミナーⅣ-7-10 (光エネルギー物理化学)	1		
	セミナーⅣ-7-11 (機能性材料物理化学)	1		
	セミナーⅣ-7-12 (触媒表面化学)	1		
	セミナーⅣ-7-13 (有機・高分子化学)	1		
	セミナーⅣ-7-14 (無機環境材料化学)	1		
	セミナーⅣ-7-15 (木質バイオマス変換工学)	1		
	セミナーⅣ-7-16 (木材化学)	1		
	セミナーⅣ-7-17 (構造有機化学)	1		
	セミナーⅣ-7-18 (環境分析化学)	1		

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
セミナー	セミナーⅣ-7-19（繊維材料学）	1		
	セミナーⅣ-7-20（物性化学）	1		
	セミナーⅣ-7-21（配位化学）	1		
	セミナーⅣ-7-22（ナノセラミックス材料化学）	1		
	セミナーⅣ-7-23（有機材料化学）	1		
	セミナーⅣ-7-24（光機能化学）	1		
特別研究	特別研究Ⅰ-7	2		
	特別研究Ⅱ-7	2		
	特別研究Ⅲ-7	2		
	特別研究Ⅳ-7	2		

備考

- 1 研究科共通科目の修得方法
必修科目を4単位修得しなければならない。その上で、必修科目以外から2単位修得しなければならない。
- 2 専門科目の修得方法
専門科目の中から6単位以上修得しなければならない。
- 3 必修科目であるセミナー4単位、特別研究8単位を修得しなければならない。
- 4 上記1, 2の単位を修得した上で、研究科共通科目と専門科目の中から6単位分を自由選択科目として修得しなければならない。
- 5 ☆印の授業科目は大学院設置基準第14条の適用を受けて入学した社会人が夜間開講等を希望する場合に受ける科目である。
- 6 ※印の授業科目は、教育職員免許状取得に関する科目であり、修了要件に含めることはできない。

環境システム科学専攻
建築デザイン学コース

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
研究科共通	自然科学概論	1		研究科共通6単位以上，専門科目6単位以上，セミナー4単位，特別研究8単位を修得し，合計30単位以上修得すること。
	理工学論		1	
	環境システム科学論	1		
	農生命科学論		1	
	アカデミック英語演習Ⅰ	2		
	アカデミック英語演習Ⅱ		2	
	理工数学基礎Ⅰ		2	
	理工数学基礎Ⅱ		2	
	生命数学基礎Ⅰ		2	
	生命数学基礎Ⅱ		2	
	知能情報デザイン論		2	
	MOT基礎概論		2	
	MOT特論		2	
	工科系英語演習		2	
	持続性科学とSDGs		2	
	研究と倫理		1	
	研究力とキャリアデザイン		1	
	学際プレゼンテーション入門		1	
	PBLアドバンス		1	
	英語による発表技術		2	
	実践教育プロジェクトⅠ		2	
	実践教育プロジェクトⅡ		2	
	実践教育プロジェクトⅢ		2	
	海外インターンシップ		2	
	責任ある研究活動入門		1	
	※教育課題実践研究		1	
専門科目	建築デザイン学基礎		2	
	建築設計特別演習Ⅰ		2	
	建築設計特別演習Ⅱ		2	
	建築設計特別演習Ⅲ		2	
	建築設計・工事監理インターンシップⅠ		4	
	建築設計・工事監理インターンシップⅡ		6	
	建築設計・工事監理インターンシップⅢ		4	
	建築構造学特論Ⅰ		2	
	建築構造学特論Ⅱ		2	
	建築構造・住環境学特論		2	
	建築環境学特論		2	
	建築構造・住環境演習		2	
	建築計画設計特論		2	
	建築史・意匠設計特論		2	
	建築・都市デザイン特論		2	
	木造構法特論		2	
	建築計画デザイン演習		2	
	☆建築構造・住環境概論		2	
	☆建築計画デザイン概論		2	
	専攻内の他コース開講科目			
	他専攻開講科目			

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
セミナー	セミナーⅠ-8	1		
	セミナーⅡ-8	1		
	セミナーⅢ-8	1		
	セミナーⅣ-8	1		
特別研究	特別研究Ⅰ-8	2		
	特別研究Ⅱ-8	2		
	特別研究Ⅲ-8	2		
	特別研究Ⅳ-8	2		
	特別研究Ⅰ-8b	2		
	特別研究Ⅱ-8b	2		
	特別研究Ⅲ-8b	2		
	特別研究Ⅳ-8b	2		

備考

- 研究科共通科目の修得方法
必修科目を4単位修得しなければならない。その上で、必修科目以外から2単位修得しなければならない。
- 専門科目の修得方法
専門科目の中から6単位以上修得しなければならない。
- 必修科目であるセミナー4単位、特別研究8単位を修得しなければならない。
- 上記1, 2の単位を修得した上で、研究科共通科目と専門科目の中から6単位分を自由選択科目として修得しなければならない。
- ☆印の授業科目は大学院設置基準第14条の適用を受けて入学した社会人が夜間開講等を希望する場合に受ける科目である。
- 特別研究Ⅰ-8b, Ⅱ-8b, Ⅲ-8b, Ⅳ-8bを履修する場合には、「建築士試験の大学院における実務経験取得のための履修方法」を参照し、事前に指導教員と協議の上、履修登録すること。
- ※印の授業科目は、教育職員免許状取得に関する科目であり、修了要件に含めることはできない。

農生命科学専攻
生命科学コース

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
研究科共通	自然科学概論	1		研究科共通6単位以上，専門科目6単位以上，セミナー4単位，特別研究8単位を修得し，合計30単位以上修得すること。
	理工学論		1	
	環境システム科学論		1	
	農生命科学論	1		
	アカデミック英語演習I	2		
	アカデミック英語演習II		2	
	理工数学基礎I		2	
	理工数学基礎II		2	
	生命数学基礎I		2	
	生命数学基礎II		2	
	知能情報デザイン論		2	
	MOT基礎概論		2	
	MOT特論		2	
	工科系英語演習		2	
	持続性科学とSDGs		2	
	研究と倫理		1	
	研究力とキャリアデザイン		1	
	学際プレゼンテーション入門		1	
	PBLアドバンス		1	
	英語による発表技術		2	
	実践教育プロジェクトⅠ		2	
	実践教育プロジェクトⅡ		2	
	実践教育プロジェクトⅢ		2	
	海外インターンシップ		2	
	責任ある研究活動入門		1	
	※教育課題実践研究		1	
専門科目	分子構造機能特論		2	
	細胞構造機能特論		2	
	生体制御機構特論		2	
	応用植物生理学特論		2	
	植物ゲノム応用科学特論		2	
	微生物機能特論		2	
	生物多様性特論		2	
	水圏応用科学特論		2	
	分光学のための量子化学特論		2	
	森林生態環境学特論		2	
	水圏生態学特論		2	
	土壌環境共生学特論		2	
	環境共生計測特論		2	
	水・土壌環境共生学特論		2	
	専攻内の他コース開講科目			
	他専攻開講科目			
セミナー	セミナーI-9	1		
	セミナーI-9-1（植物科学）	1		
	セミナーI-9-3（細胞構造学）	1		
	セミナーI-9-4（進化生態学）	1		
	セミナーI-9-5（海洋生物）	1		

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
セミナー	セミナーⅠ-9-6 (生命物理化学)	1		
	セミナーⅠ-9-7 (生物化学)	1		
	セミナーⅠ-9-8 (食機能制御学)	1		
	セミナーⅠ-9-9 (分子微生物学)	1		
	セミナーⅠ-9-10 (植物分子遺伝学)	1		
	セミナーⅠ-9-11 (化学生物学)	1		
	セミナーⅠ-9-12 (水圏応用科学)	1		
	セミナーⅠ-9-13 (比較生理学)	1		
	セミナーⅡ-9	1		
	セミナーⅡ-9-1 (植物科学)	1		
	セミナーⅡ-9-3 (細胞構造学)	1		
	セミナーⅡ-9-4 (進化生態学)	1		
	セミナーⅡ-9-5 (海洋生物)	1		
	セミナーⅡ-9-6 (生命物理化学)	1		
	セミナーⅡ-9-7 (生物化学)	1		
	セミナーⅡ-9-8 (食機能制御学)	1		
	セミナーⅡ-9-9 (分子微生物学)	1		
	セミナーⅡ-9-10 (植物分子遺伝学)	1		
	セミナーⅡ-9-11 (化学生物学)	1		
	セミナーⅡ-9-12 (水圏応用科学)	1		
	セミナーⅡ-9-13 (比較生理学)	1		
	セミナーⅢ-9	1		
	セミナーⅢ-9-1 (植物科学)	1		
	セミナーⅢ-9-3 (細胞構造学)	1		
	セミナーⅢ-9-4 (進化生態学)	1		
	セミナーⅢ-9-5 (海洋生物)	1		
	セミナーⅢ-9-6 (生命物理化学)	1		
	セミナーⅢ-9-7 (生物化学)	1		
	セミナーⅢ-9-8 (食機能制御学)	1		
	セミナーⅢ-9-9 (分子微生物学)	1		
	セミナーⅢ-9-10 (植物分子遺伝学)	1		
	セミナーⅢ-9-11 (化学生物学)	1		
	セミナーⅢ-9-12 (水圏応用科学)	1		
	セミナーⅢ-9-13 (比較生理学)	1		
	セミナーⅣ-9	1		
	セミナーⅣ-9-1 (植物科学)	1		
	セミナーⅣ-9-3 (細胞構造学)	1		
	セミナーⅣ-9-4 (進化生態学)	1		
	セミナーⅣ-9-5 (海洋生物)	1		
	セミナーⅣ-9-6 (生命物理化学)	1		
	セミナーⅣ-9-7 (生物化学)	1		
	セミナーⅣ-9-8 (食機能制御学)	1		
	セミナーⅣ-9-9 (分子微生物学)	1		
	セミナーⅣ-9-10 (植物分子遺伝学)	1		
	セミナーⅣ-9-11 (化学生物学)	1		
	セミナーⅣ-9-12 (水圏応用科学)	1		
	セミナーⅣ-9-13 (比較生理学)	1		

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
特別研究	特別研究Ⅰ-9	2		
	特別研究Ⅱ-9	2		
	特別研究Ⅲ-9	2		
	特別研究Ⅳ-9	2		

備考

- 研究科共通科目の修得方法
必修科目を4単位修得しなければならない。その上で、必修科目以外から2単位修得しなければならない。
- 専門科目の修得方法
専門科目の中から6単位以上修得しなければならない。
- 必修科目であるセミナー4単位，特別研究8単位を修得しなければならない。
- 上記1，2の単位を修得した上で，研究科共通科目と専門科目の中から6単位分を自由選択科目として修得しなければならない。
- ☆印の授業科目は大学院設置基準第14条の適用を受けて入学した社会人が夜間開講等を希望する場合に受ける科目である。
- ※印の授業科目は，教育職員免許状取得に関する科目であり，修了要件に含めることはできない。

農生命科学専攻
農林生産学コース

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
研究科共通	自然科学概論	1		研究科共通6単位以上，専門科目6単位以上，セミナー4単位，特別研究8単位を修得し，合計30単位以上修得すること。
	理工学論		1	
	環境システム科学論		1	
	農生命科学論	1		
	アカデミック英語演習I	2		
	アカデミック英語演習II		2	
	理工数学基礎I		2	
	理工数学基礎II		2	
	生命数学基礎I		2	
	生命数学基礎II		2	
	知能情報デザイン論		2	
	MOT基礎概論		2	
	MOT特論		2	
	工科系英語演習		2	
	持続性科学とSDGs		2	
	研究と倫理		1	
	研究力とキャリアデザイン		1	
	学際プレゼンテーション入門		1	
	PBLアドバンス		1	
	英語による発表技術		2	
	実践教育プロジェクトⅠ		2	
	実践教育プロジェクトⅡ		2	
	実践教育プロジェクトⅢ		2	
	海外インターンシップ		2	
	責任ある研究活動入門		1	
	※教育課題実践研究		1	
専門科目	作物生産学特論		2	
	農業生産環境学特論		2	
	農業・農村開発史特論		2	
	農業経営経済分析特論		2	
	動物生産学特論		2	
	植物機能開発学特論		2	
	森林資源管理学特論		2	
	森林情報学特論		2	
	森林リモートセンシング特論		2	
	食品機能・加工学特論		2	
	農業経済・地域経済分析		2	
	アグリバイオビジネス学特論		2	
	植物病理生態学特論		2	
	応用昆虫学特論		2	
	水文学特論		2	
	環境工学特論		2	
	施設工学特論		2	
	水・土壌環境共生学特論		2	
	専攻内の他コース開講科目			
	他専攻開講科目			

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
セミナー	セミナーⅠ-10	1		
	セミナーⅠ-10-1（施設園芸学）	1		
	セミナーⅡ-10	1		
	セミナーⅡ-10-1（施設園芸学）	1		
	セミナーⅢ-10	1		
	セミナーⅢ-10-1（施設園芸学）	1		
	セミナーⅣ-10	1		
	セミナーⅣ-10-1（施設園芸学）	1		
特別研究	特別研究Ⅰ-10	2		
	特別研究Ⅱ-10	2		
	特別研究Ⅲ-10	2		
	特別研究Ⅳ-10	2		

備考

- 1 研究科共通科目の修得方法
必修科目を4単位修得しなければならない。その上で、必修科目以外から2単位修得しなければならない。
- 2 専門科目の修得方法
専門科目の中から6単位以上修得しなければならない。
- 3 必修科目であるセミナー4単位、特別研究8単位を修得しなければならない。
- 4 上記1, 2の単位を修得した上で、研究科共通科目と専門科目の中から6単位分を自由選択科目として修得しなければならない。
- 5 ☆印の授業科目は大学院設置基準第14条の適用を受けて入学した社会人が夜間開講等を希望する場合に受ける科目である。
- 6 ※印の授業科目は、教育職員免許状取得に関する科目であり、修了要件に含めることはできない。

大学院自然科学研究科規則別表第2

医理工農連携プログラム
全コース対象

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
研究科共通	所属コースの研究科共通科目			研究科共通6単位以上，専門科目8単位以上〔（ ）を付した5科目から2科目4単位を修得すること〕，セミナー4単位，特別研究8単位を修得し，合計30単位以上修得すること。
専門科目	理工医学のための生物材料科学及び放射線の基礎	(2)		
	機能性物質・食品の応用の基礎	(2)		
	臨床・社会・環境医学と高度情報学・数学の接点	(2)		
	医療のための光工学の基礎	(2)		
	発明の権利化と社会貢献	(2)		
	所属コースの開講科目			
	専攻内の他コース開講科目			
	他専攻開講科目			
セミナー	所属コースのセミナー科目			
特別研究	所属コースの特別研究科目			

備考

- 研究科共通科目の修得方法
必修科目を4単位修得しなければならない。その上で，必修科目以外から2単位修得しなければならない。
- 専門科目の修得方法
選択必修科目を4単位修得しなければならない。その上で，選択必修科目以外から4単位修得しなければならない。
- 必修科目であるセミナー4単位，特別研究8単位を修得しなければならない。
- 上記1，2の単位を修得した上で，研究科共通科目と専門科目の中から4単位分を自由選択科目として修得しなければならない。

理工学専攻 ダブルディグリープログラム
 数理科学コース
 日本人学生

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
研究科共通	自然科学概論	(1)		研究科共通の（ ）を付した科目から4単位，セミナー4単位，特別研究8単位を修得し，残りは研究科共通または専門科目から選択して14単位を修得し，合計30単位以上修得すること。
	理工学論	(1)		
	アカデミック英語演習Ⅰ	(2)		
	アカデミック英語演習Ⅱ	(2)		
	理工数学基礎Ⅰ	(2)		
	理工数学基礎Ⅱ	(2)		
	環境システム科学論		1	
	農生命科学論		1	
	生命数学基礎Ⅰ		2	
	生命数学基礎Ⅱ		2	
	知能情報デザイン論		2	
	MOT基礎概論		2	
	MOT特論		2	
	工科系英語演習		2	
	持続性科学とSDGs		2	
	研究と倫理		1	
	研究力とキャリアデザイン		1	
	学際プレゼンテーション入門		1	
	PBLアドバンス		1	
	英語による発表技術		2	
	実践教育プロジェクトⅠ		2	
	実践教育プロジェクトⅡ		2	
	実践教育プロジェクトⅢ		2	
	海外インターンシップ		2	
	責任ある研究活動入門		1	
	※教育課題実践研究		1	
専門科目	関数解析		2	
	代数学		2	
	代数位相幾何学		2	
	リーマン幾何学		2	
	統計科学論		2	
	微分位相幾何学		2	
	無限次元位相幾何学		2	
	リー代数		2	
	ホモロジー代数		2	
	数値近似法		2	
	微分方程式と有限差分法		2	
	定性的微分方程式論		2	
	微分方程式の安定性理論		2	
	応用遅延微分方程式論		2	
	代数的組合せ論		2	
	凸解析非線形関数解析		2	
	楕円型偏微分方程式論		2	
	双曲型偏微分方程式論		2	
	放物型偏微分方程式論		2	
	複素関数論		2	

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	ガロアコホモロジー		2	
	信号処理と数値解析		2	
	金融数学		2	
	数理生物学		2	
	多重ゼータ値		2	
	調和解析学		2	
	数学海外研修		2	
	数理科学特論Ⅰ		2	
	数理科学特論Ⅱ		2	
	数理科学特論Ⅲ		2	
	数理科学特論Ⅳ		2	
	数理科学特論Ⅴ		2	
	数理科学特論Ⅵ		2	
	数理科学特論Ⅶ		2	
	数理科学特論Ⅷ		2	
	☆数理構造学概論Ⅰ		2	
	☆数理構造学概論Ⅱ		2	
	☆数理構造学概論Ⅲ		2	
	☆数理構造学概論Ⅳ		2	
	☆数理構造学概論Ⅴ		2	
	☆数理構造学概論Ⅵ		2	
	☆数理構造学概論Ⅶ		2	
	☆数理構造学概論Ⅷ		2	
	☆数理構造学概論Ⅸ		2	
	☆数理解析学概論Ⅰ		2	
	☆数理解析学概論Ⅱ		2	
	☆数理解析学概論Ⅲ		2	
	☆数理解析学概論Ⅳ		2	
	☆数理解析学概論Ⅴ		2	
	☆数理解析学概論Ⅵ		2	
	☆数理解析学概論Ⅶ		2	
	☆数理解析学概論Ⅷ		2	
	☆数理解析学概論Ⅸ		2	
	☆数理解析学概論Ⅹ		2	
	専攻内の他コース開講科目			
	他専攻開講科目			
セミナー	セミナーⅠ-1-1（解析学）	1		
	セミナーⅠ-1-2（代数学）	1		
	セミナーⅠ-1-3（統計科学）	1		
	セミナーⅠ-1-4（凸解析学・非線形解析学）	1		
	セミナーⅠ-1-5（解析学）	1		
	セミナーⅠ-1-6（複素解析学）	1		
	セミナーⅠ-1-7（微分幾何学）	1		
	セミナーⅠ-1-8（位相幾何学）	1		
	セミナーⅠ-1-9（代数学）	1		
	セミナーⅠ-1-10（生物数学）	1		
	セミナーⅠ-1-11（現象数理学）	1		
	セミナーⅠ-1-12（力学系の解析学）	1		
	セミナーⅠ-1-13（離散構造）	1		

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
セミナー	セミナーⅠ-1-14 (代数的組合せ論)	1		
	セミナーⅡ-1-1 (解析学)	1		
	セミナーⅡ-1-2 (代数学)	1		
	セミナーⅡ-1-3 (統計科学)	1		
	セミナーⅡ-1-4 (凸解析学・非線形解析学)	1		
	セミナーⅡ-1-5 (解析学)	1		
	セミナーⅡ-1-6 (複素解析学)	1		
	セミナーⅡ-1-7 (微分幾何学)	1		
	セミナーⅡ-1-8 (位相幾何学)	1		
	セミナーⅡ-1-9 (代数学)	1		
	セミナーⅡ-1-10 (生物数学)	1		
	セミナーⅡ-1-11 (現象数理学)	1		
	セミナーⅡ-1-12 (力学系の解析学)	1		
	セミナーⅡ-1-13 (離散構造)	1		
	セミナーⅡ-1-14 (代数的組合せ論)	1		
	セミナーⅢ-1-1 (解析学)	1		
	セミナーⅢ-1-2 (代数学)	1		
	セミナーⅢ-1-3 (統計科学)	1		
	セミナーⅢ-1-4 (凸解析学・非線形解析学)	1		
	セミナーⅢ-1-5 (解析学)	1		
	セミナーⅢ-1-6 (複素解析学)	1		
	セミナーⅢ-1-7 (微分幾何学)	1		
	セミナーⅢ-1-8 (位相幾何学)	1		
	セミナーⅢ-1-9 (代数学)	1		
	セミナーⅢ-1-10 (生物数学)	1		
	セミナーⅢ-1-11 (現象数理学)	1		
	セミナーⅢ-1-12 (力学系の解析学)	1		
	セミナーⅢ-1-13 (離散構造)	1		
	セミナーⅢ-1-14 (代数的組合せ論)	1		
	セミナーⅣ-1-1 (解析学)	1		
	セミナーⅣ-1-2 (代数学)	1		
	セミナーⅣ-1-3 (統計科学)	1		
	セミナーⅣ-1-4 (凸解析学・非線形解析学)	1		
	セミナーⅣ-1-5 (解析学)	1		
	セミナーⅣ-1-6 (複素解析学)	1		
	セミナーⅣ-1-7 (微分幾何学)	1		
	セミナーⅣ-1-8 (位相幾何学)	1		
	セミナーⅣ-1-9 (代数学)	1		
	セミナーⅣ-1-10 (生物数学)	1		
	セミナーⅣ-1-11 (現象数理学)	1		
	セミナーⅣ-1-12 (力学系の解析学)	1		
	セミナーⅣ-1-13 (離散構造)	1		
	セミナーⅣ-1-14 (代数的組合せ論)	1		
特別研究	特別研究Ⅰ-1-1 (解析学)	2		
	特別研究Ⅰ-1-2 (代数学)	2		
	特別研究Ⅰ-1-3 (統計科学)	2		
	特別研究Ⅰ-1-4 (凸解析学・非線形解析学)	2		
	特別研究Ⅰ-1-5 (解析学)	2		
	特別研究Ⅰ-1-6 (複素解析学)	2		

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
特別研究	特別研究Ⅰ-1-7 (微分幾何学)	2		
	特別研究Ⅰ-1-8 (位相幾何学)	2		
	特別研究Ⅰ-1-9 (代数学)	2		
	特別研究Ⅰ-1-10 (生物数学)	2		
	特別研究Ⅰ-1-11 (現象数理学)	2		
	特別研究Ⅰ-1-12 (力学系の解析学)	2		
	特別研究Ⅱ-1-1 (解析学)	2		
	特別研究Ⅱ-1-2 (代数学)	2		
	特別研究Ⅱ-1-3 (統計科学)	2		
	特別研究Ⅱ-1-4 (凸解析学・非線形解析学)	2		
	特別研究Ⅱ-1-5 (解析学)	2		
	特別研究Ⅱ-1-6 (複素解析学)	2		
	特別研究Ⅱ-1-7 (微分幾何学)	2		
	特別研究Ⅱ-1-8 (位相幾何学)	2		
	特別研究Ⅱ-1-9 (代数学)	2		
	特別研究Ⅱ-1-10 (生物数学)	2		
	特別研究Ⅱ-1-11 (現象数理学)	2		
	特別研究Ⅱ-1-12 (力学系の解析学)	2		
	特別研究Ⅲ-1-1 (解析学)	2		
	特別研究Ⅲ-1-2 (代数学)	2		
	特別研究Ⅲ-1-3 (統計科学)	2		
	特別研究Ⅲ-1-4 (凸解析学・非線形解析学)	2		
	特別研究Ⅲ-1-5 (解析学)	2		
	特別研究Ⅲ-1-6 (複素解析学)	2		
	特別研究Ⅲ-1-7 (微分幾何学)	2		
	特別研究Ⅲ-1-8 (位相幾何学)	2		
	特別研究Ⅲ-1-9 (代数学)	2		
	特別研究Ⅲ-1-10 (生物数学)	2		
	特別研究Ⅲ-1-11 (現象数理学)	2		
	特別研究Ⅲ-1-12 (力学系の解析学)	2		
	特別研究Ⅳ-1-1 (解析学)	2		
	特別研究Ⅳ-1-2 (代数学)	2		
	特別研究Ⅳ-1-3 (統計科学)	2		
	特別研究Ⅳ-1-4 (凸解析学・非線形解析学)	2		
	特別研究Ⅳ-1-5 (解析学)	2		
	特別研究Ⅳ-1-6 (複素解析学)	2		
	特別研究Ⅳ-1-7 (微分幾何学)	2		
	特別研究Ⅳ-1-8 (位相幾何学)	2		
	特別研究Ⅳ-1-9 (代数学)	2		
	特別研究Ⅳ-1-10 (生物数学)	2		
	特別研究Ⅳ-1-11 (現象数理学)	2		
	特別研究Ⅳ-1-12 (力学系の解析学)	2		

備考

- 1 研究科共通科目の修得方法
選択必修科目を4単位修得しなければならない。
- 2 必修科目であるセミナー4単位、特別研究8単位を修得しなければならない。
- 3 上記1, 2の単位を修得した上で、研究科共通科目と専門科目の中から14単位分を自由選択科目として修得しなければならない。
- 4 ☆印の授業科目は大学院設置基準第14条の適用を受けて入学した社会人が夜間開講等を希望する場合に受ける科目である。
- 5 ※印の授業科目は、教育職員免許状取得に関する科目であり、修了要件に含めることはできない。

理工学専攻 ダブルディグリープログラム
 数理科学コース
 外国人留学生

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
研究科共通	Fundamentals of Natural Science and Technology 自然科学論	(2)		研究科共通の（ ）を付した科目から4単位，セミナー4単位，特別研究8単位を修得し，残りは研究科共通または専門科目から選択して14単位を修得し，合計30単位以上修得すること。
	アカデミック英語演習Ⅰ	(2)		
	アカデミック英語演習Ⅱ	(2)		
	理工数学基礎Ⅰ	(2)		
	理工数学基礎Ⅱ	(2)		
	生命数学基礎Ⅰ		2	
	生命数学基礎Ⅱ		2	
	知能情報デザイン論		2	
	MOT基礎概論		2	
	MOT特論		2	
	工科系英語演習		2	
	持続性科学とSDGs		2	
	研究と倫理		1	
	研究力とキャリアデザイン		1	
	学際プレゼンテーション入門		1	
	PBLアドバンス		1	
	英語による発表技術		2	
	実践教育プロジェクトⅠ		2	
	実践教育プロジェクトⅡ		2	
	実践教育プロジェクトⅢ		2	
	海外インターンシップ		2	
	Introduction to the Responsible Conduct of Research 責任ある研究活動入門		1	
専門科目	Functional Analysis 関数解析		2	
	Advanced Algebra 代数学		2	
	Algebraic Topology 代数位相幾何学		2	
	Riemannian Geometry リーマン幾何学		2	
	Theory of Statistical Science 統計科学論		2	
	Differential Topology 微分位相幾何学		2	
	Infinite Dimensional Topology 無限次元位相幾何学		2	
	Lie Algebra リー代数		2	
	Homological Algebra ホモロジー代数		2	
	Numerical Approximation Methods 数値近似法		2	

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
専門科目	Finite Difference Methods for Differential Equations 微分方程式と有限差分法		2	
	Qualitative Theory of Ordinary Differential Equations 定性的微分方程式論		2	
	Stability Theory of Ordinary Differential Equations 微分方程式の安定性理論		2	
	Delay Differential Equations with Applications 応用遅延微分方程式論		2	
	Algebraic Combinatorics 代数的組合せ論		2	
	Convex and Nonlinear Functional Analysis 凸解析非線形関数解析		2	
	Elliptic Partial Differential Equations 楕円型偏微分方程式論		2	
	Hyperbolic Partial Differential Equations 双曲型偏微分方程式論		2	
	Parabolic Partial Differential Equations 放物型偏微分方程式論		2	
	Complex Analysis 複素関数論		2	
	Galois Cohomology ガロアコホモロジー		2	
	Numerical Calculation for Signal Processing 信号処理と数値解析		2	
	Mathematical Finance 金融数学		2	
	Mathematical Biology 数理生物学		2	
	Multiple Zeta Value 多重ゼータ値		2	
	harmonic analysis 調和解析学		2	
	他専攻、及び専攻内他コースの留学生プログラム開講科目			
セミナー	Seminar I-1 セミナー I-1	1		
	Seminar II-1 セミナー II-1	1		
	Seminar III-1 セミナー III-1	1		
	Seminar IV-1 セミナー IV-1	1		
特別研究	Thesis Research I-1 特別研究 I-1	2		
	Thesis Research II-1 特別研究 II-1	2		
	Thesis Research III-1 特別研究 III-1	2		
	Thesis Research IV-1 特別研究 IV-1	2		

備 考

- 1 研究科共通科目の修得方法
選択必修科目を4単位修得しなければならない。
- 2 必修科目であるセミナー4単位，特別研究8単位を修得しなければならない。
- 3 上記1，2の単位を修得した上で，研究科共通科目と専門科目の中から14単位分を自由選択科目として修得しなければならない。
- 4 ☆印の授業科目は大学院設置基準第14条の適用を受けて入学した社会人が夜間開講等を希望する場合に受ける科目である。
- 5 東北師範大学で修得した単位の内，最大10単位までを島根大学の単位として認定する。

環境システム科学専攻，農生命科学専攻 ダブルディグリープログラム
環境共生科学コース，農林生産学コース

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
研究科共通	Fundamentals of Natural Science and Technology 自然科学論	2		研究科共通2単位，セミナー4単位，特別研究8単位を修得し，合計30単位以上修得すること。
	Introduction to the Responsible Conduct of Research 責任ある研究活動入門		1	
専門科目	Advanced Nonpoint Sources and Hydrology 面源汚濁および流域水文解析		2	
	Fluid Dynamics on Land Surface and in Soil 地表と土中の流体力学		2	
	Advanced Structural Analysis and Design 構造解析学特論		2	
	Advanced Bio-environmental Measurement 生物環境計測特論		2	
	Advanced Forest Ecology 森林生態学特論		2	
	Advanced Plant Pathology 植物病理学		2	
	Environmental Microbiology 環境微生物学		2	
	Insect Ecology 昆虫生態学		2	
	Fish Ecology 魚類生態学		2	
	Marine Ecology 海洋生態学		2	
	Soil Ecological Engineering 土壌圏生態工学		2	
	Aquatic Environment and Ecology 水圏環境生態学		2	
	Advanced Environmental Eco-Engineering 環境生態工学特論		2	
	Functional Morphology in Rice 作物機能的形態学		2	
	Advanced Plant Breeding 植物育種学特論		2	
	Conservation and Management of Plant Genetic Resources 植物遺伝資源管理学		2	
	Biochemistry of Soil Fertility 土壌肥沃度論		2	
	Plant Molecular Breeding 植物分子育種学		2	
	Advanced Livestock Production 動物生産学特論		2	

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
専門科目	Horticultural Crop Physiology 園芸生理学		2	
	Advanced Technology for Protected Horticulture 施設園芸学特論		2	
	Plant Production Physiology 植物生産生理学		2	
	Advanced Forest Utilization 森林利用学特論		2	
	Regional Economic Analysis 農業経済・地域経済分析		2	
	Advanced Rural Planning 農村計画学特論		2	
	Environmental Stress and Crop Production 環境作物学		2	
	Fieldwork for Agricultural Economics 農業経済フィールドワーク		2	
	Advanced Agribiobusiness アグリバイオビジネス学特論		2	
	他専攻、及び専攻内他コースの留学生プログラム開講科目			
セミナー	Thesis Seminar I セミナー I	1		
	Thesis Seminar II セミナー II	1		
	Thesis Seminar III セミナー III	1		
	Thesis Seminar IV セミナー IV	1		
特別研究	Thesis Research I 特別研究 I	2		
	Thesis Research II 特別研究 II	2		
	Thesis Research III 特別研究 III	2		
	Thesis Research IV 特別研究 IV	2		

備考

- 1 研究科共通科目の修得方法
必修科目を2単位修得しなければならない。
- 2 必修科目であるセミナー4単位、特別研究8単位を修得しなければならない。
- 3 研究科共通科目と専門科目の中から16単位分を自由選択科目として修得しなければならない。

理工学専攻 英語による留学生プログラム
先端材料工学コース

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
研究科共通	Fundamentals of Natural Science and Technology 自然科学論	2		研究科共通2単位，セミナー4単位，特別研究8単位を修得し，合計30単位以上修得すること。
	Introduction to the Responsible Conduct of Research 責任ある研究活動入門		1	
専門科目	Metallic Materials 金属材料学		2	
	Electronic Materials 電子材料学		2	
	Advanced Plasma Surface Interaction プラズマ・材料相互作用特論		2	
	Processing for Electronic Materials 電子材料プロセス概論		2	
	Properties of Superconducting Materials 超伝導概論		2	
	Semiconductor Quantum Physics 半導体量子物性工学		2	
	Advanced Electronic Materials Design 先端電子材料設計特論		2	
	Semiconductor Photonics Engineering 半導体フォトニクス工学		2	
	Thin-film Materials and Devices 薄膜材料デバイス工学		2	
	Applied Thermo-fluid Dynamics 応用熱流体工学		2	
	Practical Mechanical Design 実用機械設計		2	
	Mobile Network モバイルネットワーク		2	
	Advanced Topics on Knowledge Acquisition 知識獲得特論		2	
	Practical First-principles Calculation 実用第一原理計算特論		2	
	Introduction to semiconductor thin film technologies 半導体薄膜技術概論		2	
	Introduction to pair distribution function analysis 二体分布関数分析概論		2	
	Materials Science for Energy Technologies エネルギー材料科学		2	
	Advanced Applied Instrumental Analysis 応用機器分析特論		2	
	Advanced Organic Chemistry 有機化学特論		2	
	Polymeric Biomaterials 高分子バイオマテリアル特論		2	

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
専門科目	Advanced Biotechnological Materials 生命工学材料特論		2	
	Introduction to Mathematics for Informatics 情報数学入門		2	
	Error Control Coding 誤り制御論		2	
	Fundamentals of Information Networks 情報ネットワーク基礎論		2	
	Introduction to high-temperature materials		2	
	他専攻、及び専攻内他コースの留学生プログラム開講科目			
セミナー	Thesis Seminar I-11 セミナー I-11	1		
	Thesis Seminar II-11 セミナー II-11	1		
	Thesis Seminar III-11 セミナー III-11	1		
	Thesis Seminar IV-11 セミナー IV-11	1		
特別研究	Thesis Research I-11 特別研究 I-11	2		
	Thesis Research II-11 特別研究 II-11	2		
	Thesis Research III-11 特別研究 III-11	2		
	Thesis Research IV-11 特別研究 IV-11	2		

備考

- 1 研究科共通科目の修得方法
必修科目を2単位修得しなければならない。
- 2 必修科目であるセミナー4単位、特別研究8単位を修得しなければならない。
- 3 研究科共通科目と専門科目の中から16単位分を自由選択科目として修得しなければならない。

理工学専攻 英語による留学生プログラム
数理科学コース

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
研究科共通	Fundamentals of Natural Science and Technology 自然科学論	2		研究科共通2単位，セミナー4単位，特別研究8単位を修得し，合計30単位以上修得すること。
	Introduction to the Responsible Conduct of Research 責任ある研究活動入門		1	
専門科目	Functional Analysis 関数解析		2	
	Advanced Algebra 代数学		2	
	Algebraic Topology 代数位相幾何学		2	
	Riemannian Geometry リーマン幾何学		2	
	Theory of Statistical Science 統計科学論		2	
	Differential Topology 微分位相幾何学		2	
	Infinite Dimensional Topology 無限次元位相幾何学		2	
	Lie Algebra リー代数		2	
	Homological Algebra ホモロジー代数		2	
	Numerical Approximation Methods 数値近似法		2	
	Finite Difference Methods for Differential Equations 微分方程式と有限差分法		2	
	Qualitative Theory of Ordinary Differential Equations 定性的微分方程式論		2	
	Stability Theory of Ordinary Differential Equations 微分方程式の安定性理論		2	
	Delay Differential Equations with Applications 応用遅延微分方程式論		2	
	Algebraic Combinatorics 代数的組合せ論		2	
	Convex and Nonlinear Functional Analysis 凸解析非線形関数解析		2	
	Elliptic Partial Differential Equations 楕円型偏微分方程式論		2	
	Hyperbolic Partial Differential Equations 双曲型偏微分方程式論		2	
	Parabolic Partial Differential Equations 放物型偏微分方程式論		2	

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
専門科目	Complex Analysis 複素関数論		2	
	Galois Cohomology ガロアコホモロジー		2	
	Numerical Calculation for Signal Processing 信号処理と数値解析		2	
	Mathematical Finance 金融数学		2	
	Mathematical Biology 数理生物学		2	
	Multiple Zeta Value 多重ゼータ値		2	
	harmonic analysis 調和解析学		2	
	他専攻、及び専攻内他コースの留学生プログラム開講科目			
セミナー	Seminar I-1 セミナー I-1	1		
	Seminar II-1 セミナー II-1	1		
	Seminar III-1 セミナー III-1	1		
	Seminar IV-1 セミナー IV-1	1		
特別研究	Thesis Research I-1 特別研究 I-1	2		
	Thesis Research II-1 特別研究 II-1	2		
	Thesis Research III-1 特別研究 III-1	2		
	Thesis Research IV-1 特別研究 IV-1	2		

備考

- 1 研究科共通科目の修得方法
必修科目を2単位修得しなければならない。
- 2 必修科目であるセミナー4単位、特別研究8単位を修得しなければならない。
- 3 研究科共通科目と専門科目の中から16単位分を自由選択科目として修得しなければならない。

理工学専攻 英語による留学生プログラム
知能情報デザイン学コース

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
研究科共通	Fundamentals of Natural Science and Technology 自然科学論	2		研究科共通2単位，セミナー4単位，特別研究8単位を修得し，合計30単位以上修得すること。
	Introduction to the Responsible Conduct of Research 責任ある研究活動入門		1	
専門科目	Mobile Network モバイルネットワーク		2	
	ICT Helping Individuals with Special Needs 障がい者・高齢者とICT		2	
	Knowledge Discovery and Data Mining 知識発見とデータマイニング		2	
	Program Analysis Methods プログラム解析技術		2	
	Advanced Topics on Knowledge Acquisition 知識獲得特論		2	
	Statistical Pattern Recognition 統計的パターン認識論		2	
	Advance Computer Arithmetic		2	
	Structural Equation Modeling in Statistics		2	
	Fundamentals of Multimedia Signal Processing マルチメディア信号処理概論		2	
	Information Processing of Neuroethology 情報神経行動学		2	
	Introduction to Mathematics for Informatics 情報数学入門		2	
	Error Control Coding 誤り制御論		2	
	Fundamentals of Information Networks 情報ネットワーク基礎論		2	
	他専攻，及び専攻内他コースの留学生プログラム開講科目			
セミナー	Thesis Seminar I-2 セミナーⅠ-2	1		
	Thesis Seminar II-2 セミナーⅡ-2	1		
	Thesis Seminar III-2 セミナーⅢ-2	1		
	Thesis Seminar IV-2 セミナーⅣ-2	1		

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
特別研究	Thesis Research I-2 特別研究Ⅰ-2	2		
	Thesis Research II-2 特別研究Ⅱ-2	2		
	Thesis Research III-2 特別研究Ⅲ-2	2		
	Thesis Research IV-2 特別研究Ⅳ-2	2		

備考

- 1 研究科共通科目の修得方法
必修科目を2単位修得しなければならない。
- 2 必修科目であるセミナー4単位，特別研究8単位を修得しなければならない。
- 3 研究科共通科目と専門科目の中から16単位分を自由選択科目として修得しなければならない。

理工学専攻 英語による留学生プログラム
物理・応用物理学コース

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
研究科共通	Fundamentals of Natural Science and Technology 自然科学論	2		研究科共通2単位，セミナー4単位，特別研究8単位を修得し，合計30単位以上修得すること。
	Introduction to the Responsible Conduct of Research 責任ある研究活動入門		1	
専門科目	Metallic Materials 金属材料学		2	
	Electronic Materials 電子材料学		2	
	Advanced Plasma Surface Interaction プラズマ・材料相互作用特論		2	
	Processing for Electronic Materials 電子材料プロセス概論		2	
	Low Temperature Physics 低温物理学		2	
	Physics on Magnetic Materials 磁性物理学		2	
	Magnetism in Metals 金属化合物の磁性		2	
	Properties of Superconducting Materials 超伝導概論		2	
	Advanced Lectures on Electronic States in Solid State Physics 電子物性特論		2	
	Theory of Electrons in Solids 固体電子論		2	
	Statistical Field Theory 統計場の理論		2	
	Advanced Electronic Materials Design 先端電子材料設計特論		2	
	Semiconductor Photonics Engineering 半導体フォトニクス工学		2	
	Thin-film Materials and Devices 薄膜材料デバイス工学		2	
	Vibrational Spectroscopy 振動分光学		2	
	Practical First-principles Calculation 実用第一原理計算特論		2	
	Introduction to semiconductor thin film technologies 半導体薄膜技術概論		2	
	Intoroduction to physical property measurements 物性測定技術概論		2	
	Many body theory in Condensed matter physics 多体電子特論		2	
	他専攻，及び専攻内他コースの留学生プログラム開講科目			

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
セミナー	Thesis Seminar I-3 セミナー I-3	1		
	Thesis Seminar II-3 セミナー II-3	1		
	Thesis Seminar III-3 セミナー III-3	1		
	Thesis Seminar IV-3 セミナー IV-3	1		
特別研究	Thesis Research I-3 特別研究 I-3	2		
	Thesis Research II-3 特別研究 II-3	2		
	Thesis Research III-3 特別研究 III-3	2		
	Thesis Research IV-3 特別研究 IV-3	2		

備考

- 1 研究科共通科目の修得方法
必修科目を2単位修得しなければならない。
- 2 必修科目であるセミナー4単位，特別研究8単位を修得しなければならない。
- 3 研究科共通科目と専門科目の中から16単位分を自由選択科目として修得しなければならない。

理工学専攻 英語による留学生プログラム
機械・電気電子工学コース

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
研究科共通	Fundamentals of Natural Science and Technology 自然科学論	2		研究科共通2単位，セミナー4単位，特別研究8単位を修得し，合計30単位以上修得すること。
	Introduction to the Responsible Conduct of Research 責任ある研究活動入門		1	
専門科目	Practical Mechanical Design 実用機械設計		2	
	Robotics ロボット工学特論		2	
	Solid Mechanics 固体力学特論		2	
	Advanced Dynamics of Machinery 機械力学特論		2	
	Applied Thermo-fluid Dynamics 応用熱流体工学		2	
	Acoustical Engineering 音響工学		2	
	Atmospheric Remote Sensing 電磁波大気計測論		2	
	Optical Metrology 光応用計測論		2	
	Fundamentals of Photonics フォトンクス基礎		2	
	Coherent Optical Engineering コヒーレント光工学		2	
	Statistical Signal Processing 統計的信号処理		2	
	Power Converters and Control for Renewable Energy Systems 再生可能エネルギーシステム用の電力変換器と制御		2	
	Coherent Optics and Holography コヒーレント光学とホログラフィ		2	
	Nonlinear mechanics 非線形力学特論		2	
	GPU Programming GPU プログラミング		2	
	他専攻，及び専攻内他コースの留学生プログラム開講科目			

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
セミナー	Thesis Seminar I-4 セミナー I-4	1		
	Thesis Seminar II-4 セミナー II-4	1		
	Thesis Seminar III-4 セミナー III-4	1		
	Thesis Seminar IV-4 セミナー IV-4	1		
特別研究	Thesis Research I-4 特別研究 I-4	2		
	Thesis Research II-4 特別研究 II-4	2		
	Thesis Research III-4 特別研究 III-4	2		
	Thesis Research IV-4 特別研究 IV-4	2		

備考

- 1 研究科共通科目の修得方法
必修科目を2単位修得しなければならない。
- 2 必修科目であるセミナー4単位，特別研究8単位を修得しなければならない。
- 3 研究科共通科目と専門科目の中から16単位分を自由選択科目として修得しなければならない。

環境システム科学専攻 英語による留学生プログラム
地球科学コース

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
研究科共通	Fundamentals of Natural Science and Technology 自然科学論	2		研究科共通2単位，セミナー4単位，特別研究8単位を修得し，合計30単位以上修得すること。
	Introduction to the Responsible Conduct of Research 責任ある研究活動入門		1	
専門科目	Metamorphic Petrology 変成岩岩石学特論		2	
	Mineral Science of Transition Elements-bearing Minerals 鉱物学特論		2	
	Advanced Structural Geology 構造地質学特論		2	
	Advanced Petrochemistry 岩石化学特論		2	
	Environmental Paleontology 環境古生物学		2	
	Sedimentary Geology 堆積地質学		2	
	Biostratigraphy 生層序学		2	
	Theory of Global Environmental Change 地球環境変動論		2	
	Groundwater Hydraulics 地殻流体工学		2	
	Geotechnical Analysis 地盤解析学		2	
	Science of Fossil Fuel 有機地球化学特論		2	
	Resource Geology 資源地質学特論		2	
	Advanced Volcanology 火山学特論		2	
	Marine Environmental Science 海洋環境科学特論		2	
	Coastal Geoenvironmental Science 海岸・沿岸地質環境学		2	
	Quaternary Environmental Science 第四紀環境学		2	
	Global tectonics グローバルテクトニクス特論		2	
	Earth Environmental Science 地球環境科学		2	

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
専門科目	Special Lecture in Earth and Geoenvironmental Science I 地球・地球環境科学特別講義 I		2	
	Special Lecture in Earth and Geoenvironmental Science II 地球・地球環境科学特別講義 II		4	
	Excursions in Earth and Geoenvironmental Science 地球・地球環境学エクスカージョン		2	
	Seminars on Current Topics and Methods I 英語による発表 I		2	
	Seminars on Current Topics and Methods II 英語による発表 II		2	
	Special Practice I 特別実習 I		1	
	Special Practice II 特別実習 II		2	
	他専攻、及び専攻内他コースの留学生プログラム開講科目			
セミナー	Thesis Seminar I -5-1 セミナー I -5-1 (火成岩岩石学)	1		
	Thesis Seminar I -5-2 セミナー I -5-2 (石油地質学・有機地球化学)	1		
	Thesis Seminar I -5-3 セミナー I -5-3 (層位・古生物学)	1		
	Thesis Seminar I -5-6 セミナー I -5-6 (堆積学)	1		
	Thesis Seminar I -5-7 セミナー I -5-7 (資源地質学・地質年代学)	1		
	Thesis Seminar I -5-8 セミナー I -5-8 (生層序学)	1		
	Thesis Seminar I -5-9 セミナー I -5-9 (水文地質学)	1		
	Thesis Seminar I -5-10 セミナー I -5-10 (水域環境地質学)	1		
	Thesis Seminar I -5-11 セミナー I -5-11 (変成岩岩石学)	1		
	Thesis Seminar I -5-12 セミナー I -5-12 (岩石鉱物学)	1		
	Thesis Seminar I -5-13 セミナー I -5-13 (火山学)	1		
	Thesis Seminar I -5-14 セミナー I -5-14 (古環境・古生態学)	1		
	Thesis Seminar I -5-15 セミナー I -5-15 (構造地質学)	1		
	Thesis Seminar I -5-17 セミナー I -5-17 (土質力学)	1		
	Thesis Seminar I -5-18 セミナー I -5-18 (環境微古生物学)	1		

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
セミナー	Thesis Seminar I -5-20 セミナー I -5-20 (グローバルテクニクス)	1		
	Thesis Seminar I -5-21 セミナー I -5-21 (環境地質学)	1		
	Thesis Seminar II -5-1 セミナー II -5-1 (火成岩岩石学)	1		
	Thesis Seminar II -5-2 セミナー II -5-2 (石油地質学・有機地球化学)	1		
	Thesis Seminar II -5-3 セミナー II -5-3 (層位・古生物学)	1		
	Thesis Seminar II -5-6 セミナー II -5-6 (堆積学)	1		
	Thesis Seminar II -5-7 セミナー II -5-7 (資源地質学・地質年代学)	1		
	Thesis Seminar II -5-8 セミナー II -5-8 (生層序学)	1		
	Thesis Seminar II -5-9 セミナー II -5-9 (水文地質学)	1		
	Thesis Seminar II -5-10 セミナー II -5-10 (水域環境地質学)	1		
	Thesis Seminar II -5-11 セミナー II -5-11 (変成岩岩石学)	1		
	Thesis Seminar II -5-12 セミナー II -5-12 (岩石鉱物学)	1		
	Thesis Seminar II -5-13 セミナー II -5-13 (火山学)	1		
	Thesis Seminar II -5-14 セミナー II -5-14 (古環境・古生態学)	1		
	Thesis Seminar II -5-15 セミナー II -5-15 (構造地質学)	1		
	Thesis Seminar II -5-17 セミナー II -5-17 (土質力学)	1		
	Thesis Seminar II -5-18 セミナー II -5-18 (環境微古生物学)	1		
	Thesis Seminar II -5-20 セミナー II -5-20 (グローバルテクニクス)	1		
	Thesis Seminar II -5-21 セミナー II -5-21 (環境地質学)	1		
	Thesis Seminar III -5-1 セミナー III -5-1 (火成岩岩石学)	1		
	Thesis Seminar III -5-2 セミナー III -5-2 (石油地質学・有機地球化学)	1		
	Thesis Seminar III -5-3 セミナー III -5-3 (層位・古生物学)	1		
	Thesis Seminar III -5-6 セミナー III -5-6 (堆積学)	1		
	Thesis Seminar III -5-7 セミナー III -5-7 (資源地質学・地質年代学)	1		

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
セミナー	Thesis SeminarⅢ-5-8 セミナーⅢ-5-8 (生層序学)	1		
	Thesis SeminarⅢ-5-9 セミナーⅢ-5-9 (水文地質学)	1		
	Thesis SeminarⅢ-5-10 セミナーⅢ-5-10 (水域環境地質学)	1		
	Thesis SeminarⅢ-5-11 セミナーⅢ-5-11 (変成岩岩石学)	1		
	Thesis SeminarⅢ-5-12 セミナーⅢ-5-12 (岩石鉱物学)	1		
	Thesis SeminarⅢ-5-13 セミナーⅢ-5-13 (火山学)	1		
	Thesis SeminarⅢ-5-14 セミナーⅢ-5-14 (古環境・古生態学)	1		
	Thesis SeminarⅢ-5-15 セミナーⅢ-5-15 (構造地質学)	1		
	Thesis SeminarⅢ-5-17 セミナーⅢ-5-17 (土質力学)	1		
	Thesis SeminarⅢ-5-18 セミナーⅢ-5-18 (環境微古生物学)	1		
	Thesis SeminarⅢ-5-20 セミナーⅢ-5-20 (グローバルテクトニクス)	1		
	Thesis SeminarⅢ-5-21 セミナーⅢ-5-21 (環境地質学)	1		
	Thesis SeminarⅣ-5-1 セミナーⅣ-5-1 (火成岩岩石学)	1		
	Thesis SeminarⅣ-5-2 セミナーⅣ-5-2 (石油地質学・有機地球化学)	1		
	Thesis SeminarⅣ-5-3 セミナーⅣ-5-3 (層位・古生物学)	1		
	Thesis SeminarⅣ-5-6 セミナーⅣ-5-6 (堆積学)	1		
	Thesis SeminarⅣ-5-7 セミナーⅣ-5-7 (資源地質学・地質年代学)	1		
	Thesis SeminarⅣ-5-8 セミナーⅣ-5-8 (生層序学)	1		
	Thesis SeminarⅣ-5-9 セミナーⅣ-5-9 (水文地質学)	1		
	Thesis SeminarⅣ-5-10 セミナーⅣ-5-10 (水域環境地質学)	1		
	Thesis SeminarⅣ-5-11 セミナーⅣ-5-11 (変成岩岩石学)	1		
	Thesis SeminarⅣ-5-12 セミナーⅣ-5-12 (岩石鉱物学)	1		
	Thesis SeminarⅣ-5-13 セミナーⅣ-5-13 (火山学)	1		
	Thesis SeminarⅣ-5-14 セミナーⅣ-5-14 (古環境・古生態学)	1		

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
セミナー	Thesis SeminarⅣ-5-15 セミナーⅣ-5-15（構造地質学）	1		
	Thesis SeminarⅣ-5-17 セミナーⅣ-5-17（土質力学）	1		
	Thesis SeminarⅣ-5-18 セミナーⅣ-5-18（環境微古生物学）	1		
	Thesis SeminarⅣ-5-20 セミナーⅣ-5-20（グローバルテクノクス）	1		
	Thesis SeminarⅣ-5-21 セミナーⅣ-5-21（環境地質学）	1		
特別研究	Thesis ResearchⅠ-5 特別研究Ⅰ-5	2		
	Thesis ResearchⅡ-5 特別研究Ⅱ-5	2		
	Thesis ResearchⅢ-5 特別研究Ⅲ-5	2		
	Thesis ResearchⅣ-5 特別研究Ⅳ-5	2		

備考

- 1 研究科共通科目の修得方法
必修科目を2単位修得しなければならない。
- 3 必修科目であるセミナー4単位，特別研究8単位を修得しなければならない。
- 4 研究科共通科目と専門科目の中から16単位分を自由選択科目として修得しなければならない。

環境システム科学専攻 英語による留学生プログラム
環境共生科学コース

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
研究科共通	Fundamentals of Natural Science and Technology 自然科学論	2		研究科共通2単位，セミナー4単位，特別研究8単位を修得し，合計30単位以上修得すること。
	Introduction to the Responsible Conduct of Research 責任ある研究活動入門		1	
専門科目	Advanced Nonpoint Sources and Hydrology 面源汚濁および流域水文解析		2	
	Fluid Dynamics on Land Surface and in Soil 地表と土中の流体力学		2	
	Advanced Structural Analysis and Design 構造解析学特論		2	
	Advanced Bio-environmental Measurement 生物環境計測特論		2	
	Advanced Forest Ecology 森林生態学特論		2	
	Advanced Plant Pathology 植物病理学		2	
	Environmental Microbiology 環境微生物学		2	
	Insect Ecology 昆虫生態学		2	
	Fish Ecology 魚類生態学		2	
	Marine Ecology 海洋生態学		2	
	Soil Ecological Engineering 土壌圏生態工学		2	
	Aquatic Environment and Ecology 水圏環境生態学		2	
	Advanced Environmental Eco-Engineering 環境生態工学特論		2	
セミナー	Lake and Reservoir Management Engineering ダム湖沼管理工学		2	
	他専攻，及び専攻内他コースの留学生プログラム開講科目			
	Thesis Seminar I-6 セミナーⅠ-6	1		
	Thesis Seminar II-6 セミナーⅡ-6	1		
	Thesis Seminar III-6 セミナーⅢ-6	1		
	Thesis Seminar IV-6 セミナーⅣ-6	1		

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
特別研究	Thesis Research I-6 特別研究 I-6	2		
	Thesis Research II-6 特別研究 II-6	2		
	Thesis Research III-6 特別研究 III-6	2		
	Thesis Research IV-6 特別研究 IV-6	2		

備考

- 1 研究科共通科目の修得方法
必修科目を2単位修得しなければならない。
- 2 必修科目であるセミナー4単位，特別研究8単位を修得しなければならない。
- 3 研究科共通科目と専門科目の中から16単位分を自由選択科目として修得しなければならない。

環境システム科学専攻 英語による留学生プログラム
物質化学コース

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
研究科共通	Fundamentals of Natural Science and Technology 自然科学論	2		研究科共通2単位，セミナー4単位，特別研究8単位を修得し，合計30単位以上修得すること。
	Introduction to the Responsible Conduct of Research 責任ある研究活動入門		1	
専門科目	Advanced Inorganic Chemistry I 無機化学特論Ⅰ		2	
	Advanced Inorganic Chemistry II 無機化学特論Ⅱ		2	
	Advanced Organic Chemistry I 有機化学特論Ⅰ		2	
	Advanced Organic Chemistry II 有機化学特論Ⅱ		2	
	Advanced Organic Chemistry III 有機化学特論Ⅲ		2	
	Advanced Catalyst Science 高機能触媒特論		2	
	Advanced Functional Polymers I 機能性高分子特論Ⅰ		2	
	Advanced Functional Polymers II 機能性高分子特論Ⅱ		2	
	Advanced Ceramic Materials 機能性セラミックス特論		2	
	Advanced Physical Chemistry 物理化学特論		2	
	Advanced Environmental Analytical Chemistry 環境分析化学特論		2	
	Advanced Inorganic Material Science and Engineering I 無機材料物性工学特論Ⅰ		2	
	Advanced Inorganic Material Science and Engineering II 無機材料物性工学特論Ⅱ		2	
	Advanced Lecture on Fiber Materials 繊維材料学特論		2	
	Advanced Surface and Interface Chemistry 表面・界面化学特論		2	
	Advanced Biomaterial Physics 生物材料物理学特論		2	
	Advanced Recycling Technology of Polymeric Materials 資源循環化学特論		2	
	Advanced Molecular Biology 分子生物学特論		2	

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
専門科目	Advanced Solid State Chemistry 物性化学特論		2	
	Advanced Coordination Chemistry 配位化学特論		2	
	Advanced Organic Chemistry 有機化学特論		2	
	Polymeric Biomaterials 高分子バイオマテリアル特論		2	
	他専攻，及び専攻内他コースの留学生プログラム開講科目			
セミナー	Thesis Seminar I-7 セミナー I-7	1		
	Thesis Seminar II-7 セミナー II-7	1		
	Thesis Seminar III-7 セミナー III-7	1		
	Thesis Seminar IV-7 セミナー IV-7	1		
特別研究	Thesis Research I-7 特別研究 I-7	2		
	Thesis Research II-7 特別研究 II-7	2		
	Thesis Research III-7 特別研究 III-7	2		
	Thesis Research IV-7 特別研究 IV-7	2		

備考

- 1 研究科共通科目の修得方法
必修科目を2単位修得しなければならない。
- 2 必修科目であるセミナー4単位，特別研究8単位を修得しなければならない。
- 3 研究科共通科目と専門科目の中から16単位分を自由選択科目として修得しなければならない。

環境システム科学専攻 英語による留学生プログラム
建築デザイン学コース

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
研究科共通	Fundamentals of Natural Science and Technology 自然科学論	2		研究科共通2単位，セミナー4単位，特別研究8単位を修得し，合計30単位以上修得すること。
	Introduction to the Responsible Conduct of Research 責任ある研究活動入門		1	
専門科目	Atelier Practice of Architectural Design I 建築設計特別演習Ⅰ		2	
	Atelier Practice of Architectural Design II 建築設計特別演習Ⅱ		2	
	Atelier Practice of Architectural Design III 建築設計特別演習Ⅲ		2	
	Advanced Course of Building Structures I 建築構造学特論Ⅰ		2	
	Advanced Course of Building Structures II 建築構造学特論Ⅱ		2	
	Advanced Course of Building Structures and Living Environment 建築構造・住環境学特論		2	
	Advanced Course of Architectural Environment Engineering 建築環境学特論		2	
	Seminar of Practice in Building Structure and Environmental Engineering 建築構造・住環境演習		2	
	Advanced Course of Architectural Planning and Design 建築計画設計特論		2	
	Advanced Course of Architectural History and Design 建築史・意匠設計特論		2	
	Advanced Course of Urban Design 建築・都市デザイン特論		2	
	Advanced Course of Wooden Construction 木造構法特論		2	
	Atelier Practice of Architectural Design 建築計画デザイン演習		2	
	他専攻，及び専攻内他コースの留学生プログラム開講科目			
セミナー	Thesis Seminar I-8 セミナーⅠ-8	1		
	Thesis Seminar II-8 セミナーⅡ-8	1		
	Thesis Seminar III-8 セミナーⅢ-8	1		
	Thesis Seminar IV-8 セミナーⅣ-8	1		

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
特別研究	Thesis Research I-8 特別研究 I-8	2		
	Thesis Research II-8 特別研究 II-8	2		
	Thesis Research III-8 特別研究 III-8	2		
	Thesis Research IV-8 特別研究 IV-8	2		

備考

- 1 研究科共通科目の修得方法
必修科目を2単位修得しなければならない。
- 2 必修科目であるセミナー4単位、特別研究8単位を修得しなければならない。
- 3 研究科共通科目と専門科目の中から16単位分を自由選択科目として修得しなければならない。

農生命科学専攻 英語による留学生プログラム
生命科学コース

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
研究科共通	Fundamentals of Natural Science and Technology 自然科学論	2		研究科共通2単位，セミナー4単位，特別研究8単位を修得し，合計30単位以上修得すること。
	Introduction to the Responsible Conduct of Research 責任ある研究活動入門		1	
専門科目	Biology of Skin 皮膚の生物学		2	
	Theoretical Ecology 理論生態学特論		2	
	Methodology of Plant Transformation 植物形質転換の方法論		2	
	Biology of Endosymbiosis 細胞内共生生物学		2	
	Behavioral Ecology 行動生態学		2	
	Biology of Reproduction 生殖の生物学		2	
	Advanced Molecular Biology 分子生物学特論		2	
	Advanced Plant Molecular Genetics 植物分子遺伝学特論		2	
	Advanced Biophysical Chemistry 生物物理化学特論		2	
	Biochemistry for Food and Health Science 食品健康科学分野のための生化学		2	
	Pathophysiology 病態生理学		2	
	Plant Molecular Physiology 植物分子生理学		2	
	Plant Stress Biology 植物ストレス生物学		2	
	Molecular Recognition 分子認識		2	
	Advanced Organic Synthesis 有機合成特論		2	
	Methodological Principle of Molecular Biology 分子生物学の方法論的原理		2	
	Marine Ecogenetics 水圏遺伝学特論		2	
	他専攻，及び専攻内他コースの留学生プログラム開講科目			

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
セミナー	Thesis Seminar I-9 セミナー I-9	1		
	Thesis Seminar II-9 セミナー II-9	1		
	Thesis Seminar III-9 セミナー III-9	1		
	Thesis Seminar IV-9 セミナー IV-9	1		
特別研究	Thesis Research I-9 特別研究 I-9	2		
	Thesis Research II-9 特別研究 II-9	2		
	Thesis Research III-9 特別研究 III-9	2		
	Thesis Research IV-9 特別研究 IV-9	2		

備考

- 1 研究科共通科目の修得方法
必修科目を2単位修得しなければならない。
- 2 必修科目であるセミナー4単位，特別研究8単位を修得しなければならない。
- 3 研究科共通科目と専門科目の中から16単位分を自由選択科目として修得しなければならない。

農生命科学専攻 英語による留学生プログラム
農林生産学コース

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
研究科共通	Fundamentals of Natural Science and Technology 自然科学論	2		研究科共通2単位，セミナー4単位，特別研究8単位を修得し，合計30単位以上修得すること。
	Introduction to the Responsible Conduct of Research 責任ある研究活動入門		1	
専門科目	Functional Morphology in Rice 作物機能的形態学		2	
	Advanced Plant Breeding 植物育種学特論		2	
	Conservation and Management of Plant Genetic Resources 植物遺伝資源管理学		2	
	Biochemistry of Soil Fertility 土壌肥沃度論		2	
	Plant Molecular Breeding 植物分子育種学		2	
	Advanced Livestock Production 動物生産学特論		2	
	Horticultural Crop Physiology 園芸生理学		2	
	Advanced Technology for Protected Horticulture 施設園芸学特論		2	
	Plant Production Physiology 植物生産生理学		2	
	Advanced Forest Utilization 森林利用学特論		2	
	Regional Economic Analysis 農業経済・地域経済分析		2	
	Advanced Rural Planning 農村計画学特論		2	
	Environmental Stress and Crop Production 環境作物学		2	
	Fieldwork for Agricultural Economics 農業経済フィールドワーク		2	
	Advanced Agribiobusiness アグリバイオビジネス学特論		2	
	他専攻，及び専攻内他コースの留学生プログラム開講科目			

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
セミナー	Thesis Seminar I-10 セミナー I-10	1		
	Thesis Seminar II-10 セミナー II-10	1		
	Thesis Seminar III-10 セミナー III-10	1		
	Thesis Seminar IV-10 セミナー IV-10	1		
特別研究	Thesis Research I-10 特別研究 I-10	2		
	Thesis Research II-10 特別研究 II-10	2		
	Thesis Research III-10 特別研究 III-10	2		
	Thesis Research IV-10 特別研究 IV-10	2		

備考

- 1 研究科共通科目の修得方法
必修科目を2単位修得しなければならない。
- 2 必修科目であるセミナー4単位，特別研究8単位を修得しなければならない。
- 3 研究科共通科目と専門科目の中から16単位分を自由選択科目として修得しなければならない。

英語による「地球」教育研究特別プログラム

物理・応用物理学コース、機械・電気電子工学コース、地球科学コース、物質化学コース対象

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
研究科共通	Fundamentals of Natural Science and Technology 自然科学論	2		研究科共通2単位，セミナー4単位，特別研究8単位を修得し，合計30単位以上修得すること。
	Introduction to the Responsible Conduct of Research 責任ある研究活動入門		1	
専門科目	Metamorphic Petrology 変成岩岩石学特論		2	
	Mineral Science of Transition Elements-bearing Minerals 鉱物学特論		2	
	Advanced Structural Geology 構造地質学特論		2	
	Advanced Petrochemistry 岩石化学特論		2	
	Environmental Paleontology 環境古生物学		2	
	Sedimentary Geology 堆積地質学		2	
	Biostratigraphy 生層序学		2	
	Theory of Global Environmental Change 地球環境変動論		2	
	Groundwater Hydraulics 地殻流体工学		2	
	Geotechnical Analysis 地盤解析学		2	
	Science of Fossil Fuel 有機地球化学特論		2	
	Resource Geology 資源地質学特論		2	
	Advanced Volcanology 火山学特論		2	
	Marine Environmental Science 海洋環境科学特論		2	
	Coastal Geoenvironmental Science 海岸・沿岸地質環境学		2	
	Quaternary Environmental Science 第四紀環境学		2	
	Global tectonics グローバルテクトニクス特論		2	
	Earth Environmental Science 地球環境科学		2	
	Atmospheric Remote Sensing 電磁波大気計測論		2	

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
専門科目	Advanced Biomaterial Physics 生物材料物理学特論		2	
	Advanced Recycling Technology of Polymeric Materials 資源循環化学特論		2	
	Advanced Molecular Biology 分子生物学特論		2	
	Special Lecture in Earth and Geoenvironmental Science I 地球・地球環境科学特別講義 I		2	
	Special Lecture in Earth and Geoenvironmental Science II 地球・地球環境科学特別講義 II		4	
	Excursions in Earth and Geoenvironmental Science 地球・地球環境学エクスカージョン		2	
	Seminars on Current Topics and Methods I 英語による発表 I		2	
	Seminars on Current Topics and Methods II 英語による発表 II		2	
	Special Practice I 特別実習 I		1	
	Special Practice II 特別実習 II		2	
	他専攻、及び専攻内他コースの留学生プログラム開講科目			
セミナー	Thesis Seminar I-3 セミナー I-3	1		
	Thesis Seminar I-4 セミナー I-4	1		
	Thesis Seminar I-5-1 セミナー I-5-1 (火成岩岩石学)	1		
	Thesis Seminar I-5-2 セミナー I-5-2 (石油地質学・有機地球化学)	1		
	Thesis Seminar I-5-3 セミナー I-5-3 (層位・古生物学)	1		
	Thesis Seminar I-5-6 セミナー I-5-6 (堆積学)	1		
	Thesis Seminar I-5-7 セミナー I-5-7 (資源地質学・地質年代学)	1		
	Thesis Seminar I-5-8 セミナー I-5-8 (生層序学)	1		
	Thesis Seminar I-5-9 セミナー I-5-9 (水文地質学)	1		
	Thesis Seminar I-5-10 セミナー I-5-10 (水域環境地質学)	1		
	Thesis Seminar I-5-11 セミナー I-5-11 (変成岩岩石学)	1		
	Thesis Seminar I-5-12 セミナー I-5-12 (岩石鉱物学)	1		

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
セミナー	Thesis Seminar I -5-13 セミナー I -5-13 (火山学)	1		
	Thesis Seminar I -5-14 セミナー I -5-14 (古環境・古生態学)	1		
	Thesis Seminar I -5-15 セミナー I -5-15 (構造地質学)	1		
	Thesis Seminar I -5-17 セミナー I -5-17 (土質力学)	1		
	Thesis Seminar I -5-18 セミナー I -5-18 (環境微古生物学)	1		
	Thesis Seminar I -5-20 セミナー I -5-20 (グローバルテクトニクス)	1		
	Thesis Seminar I -5-21 セミナー I -5-21 (環境地質学)	1		
	Thesis Seminar I -7 セミナー I -7	1		
	Thesis Seminar II -3 セミナー II -3	1		
	Thesis Seminar II -4 セミナー II -4	1		
	Thesis Seminar II -5-1 セミナー II -5-1 (火成岩岩石学)	1		
	Thesis Seminar II -5-2 セミナー II -5-2 (石油地質学・有機地球化学)	1		
	Thesis Seminar II -5-3 セミナー II -5-3 (層位・古生物学)	1		
	Thesis Seminar II -5-6 セミナー II -5-6 (堆積学)	1		
	Thesis Seminar II -5-7 セミナー II -5-7 (資源地質学・地質年代学)	1		
	Thesis Seminar II -5-8 セミナー II -5-8 (生層序学)	1		
	Thesis Seminar II -5-9 セミナー II -5-9 (水文地質学)	1		
	Thesis Seminar II -5-10 セミナー II -5-10 (水域環境地質学)	1		
	Thesis Seminar II -5-11 セミナー II -5-11 (変成岩岩石学)	1		
	Thesis Seminar II -5-12 セミナー II -5-12 (岩石鉱物学)	1		
	Thesis Seminar II -5-13 セミナー II -5-13 (火山学)	1		
	Thesis Seminar II -5-14 セミナー II -5-14 (古環境・古生態学)	1		
	Thesis Seminar II -5-15 セミナー II -5-15 (構造地質学)	1		
	Thesis Seminar II -5-17 セミナー II -5-17 (土質力学)	1		

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
セミナー	Thesis SeminarⅡ-5-18 セミナーⅡ-5-18 (環境微古生物学)	1		
	Thesis SeminarⅡ-5-20 セミナーⅡ-5-20 (グローバルテクニクス)	1		
	Thesis SeminarⅡ-5-21 セミナーⅡ-5-21 (環境地質学)	1		
	Thesis SeminarⅡ-7 セミナーⅡ-7	1		
	Thesis SeminarⅢ-3 セミナーⅢ-3	1		
	Thesis SeminarⅢ-4 セミナーⅢ-4	1		
	Thesis SeminarⅢ-5-1 セミナーⅢ-5-1 (火成岩岩石学)	1		
	Thesis SeminarⅢ-5-2 セミナーⅢ-5-2 (石油地質学・有機地球化学)	1		
	Thesis SeminarⅢ-5-3 セミナーⅢ-5-3 (層位・古生物学)	1		
	Thesis SeminarⅢ-5-6 セミナーⅢ-5-6 (堆積学)	1		
	Thesis SeminarⅢ-5-7 セミナーⅢ-5-7 (資源地質学・地質年代学)	1		
	Thesis SeminarⅢ-5-8 セミナーⅢ-5-8 (生層序学)	1		
	Thesis SeminarⅢ-5-9 セミナーⅢ-5-9 (水文地質学)	1		
	Thesis SeminarⅢ-5-10 セミナーⅢ-5-10 (水域環境地質学)	1		
	Thesis SeminarⅢ-5-11 セミナーⅢ-5-11 (変成岩岩石学)	1		
	Thesis SeminarⅢ-5-12 セミナーⅢ-5-12 (岩石鉱物学)	1		
	Thesis SeminarⅢ-5-13 セミナーⅢ-5-13 (火山学)	1		
	Thesis SeminarⅢ-5-14 セミナーⅢ-5-14 (古環境・古生態学)	1		
	Thesis SeminarⅢ-5-15 セミナーⅢ-5-15 (構造地質学)	1		
	Thesis SeminarⅢ-5-17 セミナーⅢ-5-17 (土質力学)	1		
	Thesis SeminarⅢ-5-18 セミナーⅢ-5-18 (環境微古生物学)	1		
	Thesis SeminarⅢ-5-20 セミナーⅢ-5-20 (グローバルテクニクス)	1		
	Thesis SeminarⅢ-5-21 セミナーⅢ-5-21 (環境地質学)	1		
	Thesis SeminarⅢ-7 セミナーⅢ-7	1		

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
セミナー	Thesis Seminar IV-3 セミナーIV-3	1		
	Thesis Seminar IV-4 セミナーIV-4	1		
	Thesis SeminarIV-5-1 セミナーIV-5-1 (火成岩岩石学)	1		
	Thesis SeminarIV-5-2 セミナーIV-5-2 (石油地質学・有機地球化学)	1		
	Thesis SeminarIV-5-3 セミナーIV-5-3 (層位・古生物学)	1		
	Thesis SeminarIV-5-6 セミナーIV-5-6 (堆積学)	1		
	Thesis SeminarIV-5-7 セミナーIV-5-7 (資源地質学・地質年代学)	1		
	Thesis SeminarIV-5-8 セミナーIV-5-8 (生層序学)	1		
	Thesis SeminarIV-5-9 セミナーIV-5-9 (水文地質学)	1		
	Thesis SeminarIV-5-10 セミナーIV-5-10 (水域環境地質学)	1		
	Thesis SeminarIV-5-11 セミナーIV-5-11 (変成岩岩石学)	1		
	Thesis SeminarIV-5-12 セミナーIV-5-12 (岩石鉱物学)	1		
	Thesis SeminarIV-5-13 セミナーIV-5-13 (火山学)	1		
	Thesis SeminarIV-5-14 セミナーIV-5-14 (古環境・古生態学)	1		
	Thesis SeminarIV-5-15 セミナーIV-5-15 (構造地質学)	1		
	Thesis SeminarIV-5-17 セミナーIV-5-17 (土質力学)	1		
	Thesis SeminarIV-5-18 セミナーIV-5-18 (環境微古生物学)	1		
	Thesis SeminarIV-5-20 セミナーIV-5-20 (グローバルテクニクス)	1		
	Thesis SeminarIV-5-21 セミナーIV-5-21 (環境地質学)	1		
	Thesis Seminar IV-7 セミナーIV-7	1		
特別研究	Thesis Research I -3 特別研究 I -3	2		
	Thesis Research I -4 特別研究 I -4	2		
	Thesis Research I -5 特別研究 I -5	2		
	Thesis Research I -7 特別研究 I -7	2		

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
特別研究	Thesis Research II-3 特別研究II-3	2		
	Thesis Research II-4 特別研究II-4	2		
	Thesis Research II-5 特別研究II-5	2		
	Thesis Research II-7 特別研究II-7	2		
	Thesis Research III-3 特別研究III-3	2		
	Thesis Research III-4 特別研究III-4	2		
	Thesis Research III-5 特別研究III-5	2		
	Thesis Research III-7 特別研究III-7	2		
	Thesis Research IV-3 特別研究IV-3	2		
	Thesis Research IV-4 特別研究IV-4	2		
	Thesis Research IV-5 特別研究IV-5	2		
	Thesis Research IV-7 特別研究IV-7	2		

備考

- 1 研究科共通科目の修得方法
必修科目を2単位修得しなければならない。
- 3 必修科目であるセミナー4単位，特別研究8単位を修得しなければならない。
- 4 研究科共通科目と専門科目の中から16単位分を自由選択科目として修得しなければならない。

Ⅲ. 教育職員免許状取得のための履修方法

1. 基礎資格

専修免許状取得希望者は、基礎資格について学生センターまで問い合わせ、確認してください。

2. 教科に関する科目の単位の修得方法

博士前期課程理工学専攻

免許教科	免許法施行規則に定める科目区分	授 業 科 目	単位数	最低修得単位数	
				中学校教諭 専修免許状	高等学校教諭 専修免許状
数学	数学の教科に関する科目	関数解析	2	24	24
		代数学	2		
		代数位相幾何学	2		
		リーマン幾何学	2		
		統計科学論	2		
		微分位相幾何学	2		
		無限次元位相幾何学	2		
		リー代数	2		
		ホモロジー代数	2		
		数値近似法	2		
		微分方程式と有限差分法	2		
		定性的微分方程式論	2		
		微分方程式の安定性理論	2		
		応用遅延微分方程式論	2		
		代数的組合せ論	2		
		凸解析非線形関数解析	2		
		楕円型偏微分方程式論	2		
		双曲型偏微分方程式論	2		
		放物型偏微分方程式論	2		
		複素関数論	2		
		ガロアコホモロジー	2		
		信号処理と数値解析	2		
		金融数学	2		
		数理生物学	2		
		多重ゼータ値	2		
		調和解析学	2		
		セミナーⅠ-1-1（解析学）	1		
		セミナーⅠ-1-2（代数学）	1		
		セミナーⅠ-1-3（統計科学）	1		
		セミナーⅠ-1-4（凸解析学・非線形解析学）	1		
		セミナーⅠ-1-5（解析学）	1		
		セミナーⅠ-1-6（複素解析学）	1		
		セミナーⅠ-1-7（微分幾何学）	1		

免許教科	免許法施行規則に定める科目区分	授 業 科 目	単位数	最低修得単位数	
				中学校教諭 専修免許状	高等学校教諭 専修免許状
数学	数学の教科に関する科目	セミナーⅠ-1-8 (位相幾何学)	1		
		セミナーⅠ-1-9 (代数学)	1		
		セミナーⅠ-1-10 (生物数学)	1		
		セミナーⅠ-1-11 (現象数理学)	1		
		セミナーⅠ-1-12 (力学系の解析学)	1		
		セミナーⅠ-1-13 (離散構造)	1		
		セミナーⅠ-1-14 (代数的組合せ論)	1		
		セミナーⅡ-1-1 (解析学)	1		
		セミナーⅡ-1-2 (代数学)	1		
		セミナーⅡ-1-3 (統計科学)	1		
		セミナーⅡ-1-4 (凸解析学・非線形解析学)	1		
		セミナーⅡ-1-5 (解析学)	1		
		セミナーⅡ-1-6 (複素解析学)	1		
		セミナーⅡ-1-7 (微分幾何学)	1		
		セミナーⅡ-1-8 (位相幾何学)	1		
		セミナーⅡ-1-9 (代数学)	1		
		セミナーⅡ-1-10 (生物数学)	1		
		セミナーⅡ-1-11 (現象数理学)	1		
		セミナーⅡ-1-12 (力学系の解析学)	1		
		セミナーⅡ-1-13 (離散構造)	1		
		セミナーⅡ-1-14 (代数的組合せ論)	1		
		セミナーⅢ-1-1 (解析学)	1		
		セミナーⅢ-1-2 (代数学)	1		
		セミナーⅢ-1-3 (統計科学)	1		
		セミナーⅢ-1-4 (凸解析学・非線形解析学)	1		
		セミナーⅢ-1-5 (解析学)	1		
		セミナーⅢ-1-6 (複素解析学)	1		
		セミナーⅢ-1-7 (微分幾何学)	1		
		セミナーⅢ-1-8 (位相幾何学)	1		
		セミナーⅢ-1-9 (代数学)	1		
		セミナーⅢ-1-10 (生物数学)	1		
		セミナーⅢ-1-11 (現象数理学)	1		
		セミナーⅢ-1-12 (力学系の解析学)	1		
		セミナーⅢ-1-13 (離散構造)	1		
		セミナーⅢ-1-14 (代数的組合せ論)	1		
		セミナーⅣ-1-1 (解析学)	1		
		セミナーⅣ-1-2 (代数学)	1		

免許教科	免許法施行規則に定める科目区分	授 業 科 目	単位数	最低修得単位数	
				中学校教諭 専修免許状	高等学校教諭 専修免許状
数学	数学の教科に関する科目	セミナーⅣ-1-3（統計科学）	1		
		セミナーⅣ-1-4（凸解析学・非線形解析学）	1		
		セミナーⅣ-1-5（解析学）	1		
		セミナーⅣ-1-6（複素解析学）	1		
		セミナーⅣ-1-7（微分幾何学）	1		
		セミナーⅣ-1-8（位相幾何学）	1		
		セミナーⅣ-1-9（代数学）	1		
		セミナーⅣ-1-10（生物数学）	1		
		セミナーⅣ-1-11（現象数理学）	1		
		セミナーⅣ-1-12（力学系の解析学）	1		
		セミナーⅣ-1-13（離散構造）	1		
		セミナーⅣ-1-14（代数的組合せ論）	1		
		特別研究Ⅰ-1-1（解析学）	2		
		特別研究Ⅰ-1-2（代数学）	2		
		特別研究Ⅰ-1-3（統計科学）	2		
		特別研究Ⅰ-1-4（凸解析学・非線形解析学）	2		
		特別研究Ⅰ-1-5（解析学）	2		
		特別研究Ⅰ-1-6（複素解析学）	2		
		特別研究Ⅰ-1-7（微分幾何学）	2		
		特別研究Ⅰ-1-8（位相幾何学）	2		
		特別研究Ⅰ-1-9（代数学）	2		
		特別研究Ⅰ-1-10（生物数学）	2		
		特別研究Ⅰ-1-11（現象数理学）	2		
		特別研究Ⅰ-1-12（力学系の解析学）	2		
		特別研究Ⅱ-1-1（解析学）	2		
		特別研究Ⅱ-1-2（代数学）	2		
		特別研究Ⅱ-1-3（統計科学）	2		
		特別研究Ⅱ-1-4（凸解析学・非線形解析学）	2		
		特別研究Ⅱ-1-5（解析学）	2		
		特別研究Ⅱ-1-6（複素解析学）	2		
		特別研究Ⅱ-1-7（微分幾何学）	2		
		特別研究Ⅱ-1-8（位相幾何学）	2		
		特別研究Ⅱ-1-9（代数学）	2		
		特別研究Ⅱ-1-10（生物数学）	2		
		特別研究Ⅱ-1-11（現象数理学）	2		
		特別研究Ⅱ-1-12（力学系の解析学）	2		

免許教科	免許法施行規則に定める科目区分	授 業 科 目	単位数	最低修得単位数	
				中学校教諭 専修免許状	高等学校教諭 専修免許状
数学	数学の教科に関する科目	特別研究Ⅲ-1-1（解析学）	2		
		特別研究Ⅲ-1-2（代数学）	2		
		特別研究Ⅲ-1-3（統計科学）	2		
		特別研究Ⅲ-1-4（凸解析学・非線形解析学）	2		
		特別研究Ⅲ-1-5（解析学）	2		
		特別研究Ⅲ-1-6（複素解析学）	2		
		特別研究Ⅲ-1-7（微分幾何学）	2		
		特別研究Ⅲ-1-8（位相幾何学）	2		
		特別研究Ⅲ-1-9（代数学）	2		
		特別研究Ⅲ-1-10（生物数学）	2		
		特別研究Ⅲ-1-11（現象数理学）	2		
		特別研究Ⅲ-1-12（力学系の解析学）	2		
		特別研究Ⅳ-1-1（解析学）	2		
		特別研究Ⅳ-1-2（代数学）	2		
		特別研究Ⅳ-1-3（統計科学）	2		
		特別研究Ⅳ-1-4（凸解析学・非線形解析学）	2		
		特別研究Ⅳ-1-5（解析学）	2		
		特別研究Ⅳ-1-6（複素解析学）	2		
		特別研究Ⅳ-1-7（微分幾何学）	2		
		特別研究Ⅳ-1-8（位相幾何学）	2		
		特別研究Ⅳ-1-9（代数学）	2		
		特別研究Ⅳ-1-10（生物数学）	2		
		特別研究Ⅳ-1-11（現象数理学）	2		
		特別研究Ⅳ-1-12（力学系の解析学）	2		
	教育実践に関する科目	教育課題実践研究	1		

博士前期課程理工学専攻

免許教科	免許法施行規則に定める科目区分	授 業 科 目	単位数	最低修得単位数
				高等学校教諭専修免許状
情報	情報の教科に関する科目	知能情報デザイン論	2	24
		モバイルネットワーク	2	
		障がい者・高齢者とICT	2	
		知識発見とデータマイニング	2	
		プログラム解析技術	2	
		計算量理論	2	
		知識獲得特論	2	
		統計的パターン認識論	2	
		Advance Computer Arithmetic	2	
		Structural Equation Modeling in Statistics	2	
		マルチメディア信号処理概論	2	
		情報神経行動学	2	
		システム創成特論	4	
		情報数学入門	2	
		誤り制御論	2	
		情報ネットワーク基礎論	2	
	教育実践に関する科目	教育課題実践研究	1	

免許教科	免許法施行規則に定める科目区分	授 業 科 目	単位数	最低修得単位数	
				中学校教諭 専修免許状	高等学校教諭 専修免許状
理科	理科の教科に関する科目	金属材料学	2	24	24
		電子材料学	2		
		プラズマ・材料相互作用特論	2		
		電子材料プロセス概論	2		
		低温物理学	2		
		磁性物理学	2		
		金属化合物の磁性	2		
		超伝導概論	2		
		電子物性特論	2		
		固体電子論	2		
		統計場の理論	2		
		振動分光学	2		
		物性測定技術概論	2		
		多体電子特論	2		
		セミナーⅠ-3-2（結晶成長学）	1		
		セミナーⅠ-3-3（電子物性学）	1		
		セミナーⅠ-3-4（物性物理学）	1		
		セミナーⅠ-3-5（理論物性物理学）	1		
		セミナーⅠ-3-7（低温物理学）	1		
		セミナーⅠ-3-8（凝縮系物理学）	1		
		セミナーⅠ-3-9（理論物性物理学）	1		
		セミナーⅠ-3-10（理論物性物理学）	1		
		セミナーⅡ-3-2（結晶成長学）	1		
		セミナーⅡ-3-3（電子物性学）	1		
		セミナーⅡ-3-4（物性物理学）	1		
		セミナーⅡ-3-5（理論物性物理学）	1		
		セミナーⅡ-3-7（低温物理学）	1		
		セミナーⅡ-3-8（凝縮系物理学）	1		
		セミナーⅡ-3-9（理論物性物理学）	1		
		セミナーⅡ-3-10（理論物性物理学）	1		
		セミナーⅢ-3-2（結晶成長学）	1		
		セミナーⅢ-3-3（電子物性学）	1		
		セミナーⅢ-3-4（物性物理学）	1		
		セミナーⅢ-3-5（理論物性物理学）	1		
		セミナーⅢ-3-7（低温物理学）	1		
		セミナーⅢ-3-8（凝縮系物理学）	1		
		セミナーⅢ-3-9（理論物性物理学）	1		
		セミナーⅢ-3-10（理論物性物理学）	1		

免許教科	免許法施行規則に定める科目区分	授 業 科 目	単位数	最低修得単位数	
				中学校教諭 専修免許状	高等学校教諭 専修免許状
理科	理科の教科に関する科目	セミナーⅣ-3-2（結晶成長学）	1		
		セミナーⅣ-3-3（電子物性学）	1		
		セミナーⅣ-3-4（物性物理学）	1		
		セミナーⅣ-3-5（理論物性物理学）	1		
		セミナーⅣ-3-7（低温物理学）	1		
		セミナーⅣ-3-8（凝縮系物理学）	1		
		セミナーⅣ-3-9（理論物性物理学）	1		
		セミナーⅣ-3-10（理論物性物理学）	1		
	教育実践に関する科目	教育課題実践研究	1		

博士前期課程理工学専攻

免許教科	免許法施行規則に定める科目区分	授 業 科 目	単位数	最低修得単位数
				高等学校教諭専修免許状
工業	工業の教科に関する科目	実用機械設計	2	24
		ロボット工学特論	2	
		固体力学特論	2	
		機械力学特論	2	
		音響工学	2	
		電磁波大気計測論	2	
		光応用計測論	2	
		フォトニクス基礎	2	
		コヒーレント光工学	2	
		統計的信号処理	2	
		応用熱流体工学	2	
		再生可能エネルギーシステム用の電力変換器と制御	2	
		コヒーレント光学とホログラフィ	2	
		非線形力学特論	2	
		GPUプログラミング	2	
	教育実践に関する科目	教育課題実践研究	1	

免許教科	免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位数	最低修得単位数	
				中学校教諭 専修免許状	高等学校教諭 専修免許状
理科	理科の教科に関する科目	変成岩岩石学特論	2	24	24
		Metamorphic Petrology 変成岩岩石学特論	2		
		岩石化学特論	2		
		Advanced Petrochemistry 岩石化学特論	2		
		エネルギー資源の有機地球化学	2		
		Science of Fossil Fuel 有機地球化学特論	2		
		鉱物学特論	2		
		Mineral Science of Transition Elements- bearing Minerals 鉱物学特論	2		
		資源地質学特論	2		
		火山学特論	2		
		Advanced Volcanology 火山学特論	2		
		生層序学	2		
		Biostratigraphy 生層序学	2		
		環境古生物学	2		
		Environmental Paleontology 環境古生物学	2		
		堆積地質学	2		
		Sedimentary Geology 堆積地質学	2		
		構造地質学特論	2		
		Advanced Structural Geology 構造地質学特論	2		
		地球環境変動論	2		
		Theory of Global Environmental Change 地球環境変動論	2		
		海洋環境科学特論	2		
		Marine Environmental Science 海洋環境科学特論	2		
		海岸・沿岸地質環境学	2		
		Coastal Geoenvironmental Science 海岸・沿岸地質環境学	2		
		第四紀環境学	2		
		Quaternary Environmental Science 第四紀環境学	2		
		地殻流体工学	2		
		Groundwater Hydraulics 地殻流体工学	2		
		地盤解析学	2		
		Geotechnical Analysis 地盤解析学	2		
		グローバルテクトニクス特論	2		
		Global tectonics グローバルテクトニクス特論	2		
		地球環境科学	2		
		Earth Environmental Science 地球環境科学	2		
		森林生態環境学特論	2		

免許教科	免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位数	最低修得単位数	
				中学校教諭 専修免許状	高等学校教諭 専修免許状
理科	理科の教科に関する科目	水圏生態学特論	2		
		土壌環境共生学特論	2		
		水・土壌環境共生学特論	2		
		環境共生計測特論	2		
		微生物機能特論	2		
		生物多様性特論	2		
		水圏応用科学特論	2		
		無機化学特論Ⅰ	2		
		無機化学特論Ⅱ	2		
		有機化学特論Ⅰ	2		
		有機化学特論Ⅱ	2		
		有機化学特論Ⅲ	2		
		物理化学特論	2		
		環境分析化学特論	2		
		繊維材料化学特論	2		
		表面・界面化学特論	2		
		触媒化学特論	2		
		高分子化学特論Ⅰ	2		
		高分子化学特論Ⅱ	2		
		セラミックス化学特論	2		
		無機材料化学特論	2		
		無機環境材料化学特論	2		
		生物材料物理学特論	2		
		資源循環化学特論	2		
		分子生物学特論	2		
		物性化学特論	2		
		配位化学特論	2		
		セミナーⅠ-5-1（火成岩岩石学）	1		
		Thesis SeminarⅠ-5-1 セミナーⅠ-5-1（火成岩岩石学）	1		
		セミナーⅠ-5-2（石油地質学・有機地球化学）	1		
		Thesis SeminarⅠ-5-2 セミナーⅠ-5-2（石油地質学・有機地球化学）	1		
		セミナーⅠ-5-3（層位・古生物学）	1		
		Thesis SeminarⅠ-5-3 セミナーⅠ-5-3（層位・古生物学）	1		
		セミナーⅠ-5-6（堆積学）	1		
		Thesis SeminarⅠ-5-6 セミナーⅠ-5-6（堆積学）	1		
		セミナーⅠ-5-7（資源地質学・地質年代学）	1		
		Thesis SeminarⅠ-5-7 セミナーⅠ-5-7（資源地質学・地質年代学）	1		
		セミナーⅠ-5-8（生層序学）	1		
		Thesis SeminarⅠ-5-8 セミナーⅠ-5-8（生層序学）	1		
		セミナーⅠ-5-9（水文地質学）	1		
		Thesis SeminarⅠ-5-9 セミナーⅠ-5-9（水文地質学）	1		
		セミナーⅠ-5-10（水域環境地質学）	1		
		Thesis SeminarⅠ-5-10 セミナーⅠ-5-10（水域環境地質学）	1		

免許教科	免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位数	最低修得単位数	
				中学校教諭 専修免許状	高等学校教諭 専修免許状
理科	理科の教科に関する科目	セミナーⅠ-5-11 (変成岩岩石学)	1		
		Thesis SeminarⅠ-5-11 セミナーⅠ-5-11 (変成岩岩石学)	1		
		セミナーⅠ-5-12 (岩石鉱物学)	1		
		Thesis SeminarⅠ-5-12 セミナーⅠ-5-12 (岩石鉱物学)	1		
		セミナーⅠ-5-13 (火山学)	1		
		Thesis SeminarⅠ-5-13 セミナーⅠ-5-13 (火山学)	1		
		セミナーⅠ-5-14 (古環境・古生態学)	1		
		Thesis SeminarⅠ-5-14 セミナーⅠ-5-14 (古環境・古生態学)	1		
		セミナーⅠ-5-15 (構造地質学)	1		
		Thesis SeminarⅠ-5-15 セミナーⅠ-5-15 (構造地質学)	1		
		セミナーⅠ-5-17 (土質力学)	1		
		Thesis SeminarⅠ-5-17 セミナーⅠ-5-17 (土質力学)	1		
		セミナーⅠ-5-18 (環境微古生物学)	1		
		Thesis SeminarⅠ-5-18 セミナーⅠ-5-18 (環境微古生物学)	1		
		セミナーⅠ-5-20 (グローバルテクトニクス)	1		
		Thesis SeminarⅠ-5-20 セミナーⅠ-5-20 (グローバルテクトニクス)	1		
		セミナーⅠ-5-21 (環境地質学)	1		
		Thesis SeminarⅠ-5-21 セミナーⅠ-5-21 (環境地質学)	1		
		セミナーⅡ-5-1 (火成岩岩石学)	1		
		Thesis SeminarⅡ-5-1 セミナーⅡ-5-1 (火成岩岩石学)	1		
		セミナーⅡ-5-2 (石油地質学・有機地球化学)	1		
		Thesis SeminarⅡ-5-2 セミナーⅡ-5-2 (石油地質学・有機地球化学)	1		
		セミナーⅡ-5-3 (層位・古生物学)	1		
		Thesis SeminarⅡ-5-3 セミナーⅡ-5-3 (層位・古生物学)	1		
		セミナーⅡ-5-6 (堆積学)	1		
		Thesis SeminarⅡ-5-6 セミナーⅡ-5-6 (堆積学)	1		
		セミナーⅡ-5-7 (資源地質学・地質年代学)	1		
		Thesis SeminarⅡ-5-7 セミナーⅡ-5-7 (資源地質学・地質年代学)	1		
		セミナーⅡ-5-8 (生層序学)	1		
		Thesis SeminarⅡ-5-8 セミナーⅡ-5-8 (生層序学)	1		
		セミナーⅡ-5-9 (水文地質学)	1		
		Thesis SeminarⅡ-5-9 セミナーⅡ-5-9 (水文地質学)	1		
		セミナーⅡ-5-10 (水域環境地質学)	1		
		Thesis SeminarⅡ-5-10 セミナーⅡ-5-10 (水域環境地質学)	1		
		セミナーⅡ-5-11 (変成岩岩石学)	1		
		Thesis SeminarⅡ-5-11 セミナーⅡ-5-11 (変成岩岩石学)	1		
		セミナーⅡ-5-12 (岩石鉱物学)	1		
		Thesis SeminarⅡ-5-12 セミナーⅡ-5-12 (岩石鉱物学)	1		

免許教科	免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位数	最低修得単位数	
				中学校教諭 専修免許状	高等学校教諭 専修免許状
理科	理科の教科に関する科目	セミナーⅡ-5-13 (火山学)	1		
		Thesis SeminarⅡ-5-13 セミナーⅡ-5-13 (火山学)	1		
		セミナーⅡ-5-14 (古環境・古生態学)	1		
		Thesis SeminarⅡ-5-14 セミナーⅡ-5-14 (古環境・古生態学)	1		
		セミナーⅡ-5-15 (構造地質学)	1		
		Thesis SeminarⅡ-5-15 セミナーⅡ-5-15 (構造地質学)	1		
		セミナーⅡ-5-17 (土質力学)	1		
		Thesis SeminarⅡ-5-17 セミナーⅡ-5-17 (土質力学)	1		
		セミナーⅡ-5-18 (環境微古生物学)	1		
		Thesis SeminarⅡ-5-18 セミナーⅡ-5-18 (環境微古生物学)	1		
		セミナーⅡ-5-20 (グローバルテクトニクス)	1		
		Thesis SeminarⅡ-5-20 セミナーⅡ-5-20 (グローバルテクトニクス)	1		
		セミナーⅡ-5-21 (環境地質学)	1		
		Thesis SeminarⅡ-5-21 セミナーⅡ-5-21 (環境地質学)	1		
		セミナーⅢ-5-1 (火成岩岩石学)	1		
		Thesis SeminarⅢ-5-1 セミナーⅢ-5-1 (火成岩岩石学)	1		
		セミナーⅢ-5-2 (石油地質学・有機地球化学)	1		
		Thesis SeminarⅢ-5-2 セミナーⅢ-5-2 (石油地質学・有機地球化学)	1		
		セミナーⅢ-5-3 (層位・古生物学)	1		
		Thesis SeminarⅢ-5-3 セミナーⅢ-5-3 (層位・古生物学)	1		
		セミナーⅢ-5-6 (堆積学)	1		
		Thesis SeminarⅢ-5-6 セミナーⅢ-5-6 (堆積学)	1		
		セミナーⅢ-5-7 (資源地質学・地質年代学)	1		
		Thesis SeminarⅢ-5-7 セミナーⅢ-5-7 (資源地質学・地質年代学)	1		
		セミナーⅢ-5-8 (生層序学)	1		
		Thesis SeminarⅢ-5-8 セミナーⅢ-5-8 (生層序学)	1		
		セミナーⅢ-5-9 (水文地質学)	1		
		Thesis SeminarⅢ-5-9 セミナーⅢ-5-9 (水文地質学)	1		
		セミナーⅢ-5-10 (水域環境地質学)	1		
		Thesis SeminarⅢ-5-10 セミナーⅢ-5-10 (水域環境地質学)	1		
		セミナーⅢ-5-11 (変成岩岩石学)	1		
		Thesis SeminarⅢ-5-11 セミナーⅢ-5-11 (変成岩岩石学)	1		
		セミナーⅢ-5-12 (岩石鉱物学)	1		
		Thesis SeminarⅢ-5-12 セミナーⅢ-5-12 (岩石鉱物学)	1		
		セミナーⅢ-5-13 (火山学)	1		
		Thesis SeminarⅢ-5-13 セミナーⅢ-5-13 (火山学)	1		
		セミナーⅢ-5-14 (古環境・古生態学)	1		
		Thesis SeminarⅢ-5-14 セミナーⅢ-5-14 (古環境・古生態学)	1		

免許教科	免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位数	最低修得単位数	
				中学校教諭 専修免許状	高等学校教諭 専修免許状
理科	理科の教科に関する科目	セミナーⅢ-5-15（構造地質学）	1		
		Thesis SeminarⅢ-5-15	1		
		セミナーⅢ-5-15（構造地質学）	1		
		セミナーⅢ-5-17（土質力学）	1		
		Thesis SeminarⅢ-5-17	1		
		セミナーⅢ-5-17（土質力学）	1		
		セミナーⅢ-5-18（環境微古生物学）	1		
		Thesis SeminarⅢ-5-18	1		
		セミナーⅢ-5-18（環境微古生物学）	1		
		セミナーⅢ-5-20（グローバルテクトニクス）	1		
		Thesis SeminarⅢ-5-20	1		
		セミナーⅢ-5-20（グローバルテクトニクス）	1		
		セミナーⅢ-5-21（環境地質学）	1		
		Thesis SeminarⅢ-5-21	1		
		セミナーⅢ-5-21（環境地質学）	1		
		セミナーⅣ-5-1（火成岩岩石学）	1		
		Thesis SeminarⅣ-5-1	1		
		セミナーⅣ-5-1（火成岩岩石学）	1		
		セミナーⅣ-5-2（石油地質学・有機地球化学）	1		
		Thesis SeminarⅣ-5-2	1		
		セミナーⅣ-5-2（石油地質学・有機地球化学）	1		
		セミナーⅣ-5-3（層位・古生物学）	1		
		Thesis SeminarⅣ-5-3	1		
		セミナーⅣ-5-3（層位・古生物学）	1		
		セミナーⅣ-5-6（堆積学）	1		
		Thesis SeminarⅣ-5-6	1		
		セミナーⅣ-5-6（堆積学）	1		
		セミナーⅣ-5-7（資源地質学・地質年代学）	1		
		Thesis SeminarⅣ-5-7	1		
		セミナーⅣ-5-7（資源地質学・地質年代学）	1		
		セミナーⅣ-5-8（生層序学）	1		
		Thesis SeminarⅣ-5-8	1		
		セミナーⅣ-5-8（生層序学）	1		
		セミナーⅣ-5-9（水文地質学）	1		
		Thesis SeminarⅣ-5-9	1		
		セミナーⅣ-5-9（水文地質学）	1		
		セミナーⅣ-5-10（水域環境地質学）	1		
		Thesis SeminarⅣ-5-10	1		
		セミナーⅣ-5-10（水域環境地質学）	1		
		セミナーⅣ-5-11（変成岩岩石学）	1		
		Thesis SeminarⅣ-5-11	1		
		セミナーⅣ-5-11（変成岩岩石学）	1		
		セミナーⅣ-5-12（岩石鉱物学）	1		
		Thesis SeminarⅣ-5-12	1		
		セミナーⅣ-5-12（岩石鉱物学）	1		
		セミナーⅣ-5-13（火山学）	1		
		Thesis SeminarⅣ-5-13	1		
		セミナーⅣ-5-13（火山学）	1		
		セミナーⅣ-5-14（古環境・古生態学）	1		
		Thesis SeminarⅣ-5-14	1		
		セミナーⅣ-5-14（古環境・古生態学）	1		
		セミナーⅣ-5-15（構造地質学）	1		
		Thesis SeminarⅣ-5-15	1		
		セミナーⅣ-5-15（構造地質学）	1		
		セミナーⅣ-5-17（土質力学）	1		
		Thesis SeminarⅣ-5-17	1		
		セミナーⅣ-5-17（土質力学）	1		

免許教科	免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位数	最低修得単位数	
				中学校教諭 専修免許状	高等学校教諭 専修免許状
理科	理科の教科に関する科目	セミナーⅣ-5-18（環境微生物学）	1		
		Thesis SeminarⅣ-5-18 セミナーⅣ-5-18（環境微生物学）	1		
		セミナーⅣ-5-20（グローバルテクニクス）	1		
		Thesis SeminarⅣ-5-20 セミナーⅣ-5-20（グローバルテクニクス）	1		
		セミナーⅣ-5-21（環境地質学）	1		
		Thesis SeminarⅣ-5-21 セミナーⅣ-5-21（環境地質学）	1		
		セミナーⅠ-7-1（錯体化学）	1		
		セミナーⅠ-7-2（反応有機化学）	1		
		セミナーⅠ-7-4（高分子化学）	1		
		セミナーⅠ-7-5（セラミックス物性学）	1		
		セミナーⅠ-7-6（無機粉体材料化学）	1		
		セミナーⅠ-7-7（木材物理学）	1		
		セミナーⅠ-7-8（生物無機化学）	1		
		セミナーⅠ-7-9（有機合成化学）	1		
		セミナーⅠ-7-10（光エネルギー物理化学）	1		
		セミナーⅠ-7-11（機能性材料物理化学）	1		
		セミナーⅠ-7-12（触媒表面化学）	1		
		セミナーⅠ-7-13（有機・高分子化学）	1		
		セミナーⅠ-7-14（無機環境材料化学）	1		
		セミナーⅠ-7-15（木質バイオマス変換工学）	1		
		セミナーⅠ-7-16（木材化学）	1		
		セミナーⅠ-7-17（構造有機化学）	1		
		セミナーⅠ-7-18（環境分析化学）	1		
		セミナーⅠ-7-19（繊維材料学）	1		
		セミナーⅠ-7-20（物性化学）	1		
		セミナーⅠ-7-21（配位化学）	1		
		セミナーⅠ-7-22（ナノセラミックス材料化学）	1		
		セミナーⅠ-7-23（有機材料化学）	1		
		セミナーⅠ-7-24（光機能化学）	1		
		セミナーⅡ-7-1（錯体化学）	1		
		セミナーⅡ-7-2（反応有機化学）	1		
		セミナーⅡ-7-4（高分子化学）	1		
		セミナーⅡ-7-5（セラミックス物性学）	1		
		セミナーⅡ-7-6（無機粉体材料化学）	1		
		セミナーⅡ-7-7（木材物理学）	1		
		セミナーⅡ-7-8（生物無機化学）	1		
		セミナーⅡ-7-9（有機合成化学）	1		
		セミナーⅡ-7-10（光エネルギー物理化学）	1		
		セミナーⅡ-7-11（機能性材料物理化学）	1		
		セミナーⅡ-7-12（触媒表面化学）	1		
		セミナーⅡ-7-13（有機・高分子化学）	1		
		セミナーⅡ-7-14（無機環境材料化学）	1		
		セミナーⅡ-7-15（木質バイオマス変換工学）	1		
		セミナーⅡ-7-16（木材化学）	1		

免許教科	免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位数	最低修得単位数	
				中学校教諭 専修免許状	高等学校教諭 専修免許状
理科	理科の教科に関する科目	セミナーⅡ-7-17（構造有機化学）	1		
		セミナーⅡ-7-18（環境分析化学）	1		
		セミナーⅡ-7-19（繊維材料学）	1		
		セミナーⅡ-7-20（物性化学）	1		
		セミナーⅡ-7-21（配位化学）	1		
		セミナーⅡ-7-22（ナノセラミックス材料化学）	1		
		セミナーⅡ-7-23（有機材料化学）	1		
		セミナーⅡ-7-24（光機能化学）	1		
		セミナーⅢ-7-1（錯体化学）	1		
		セミナーⅢ-7-2（反応有機化学）	1		
		セミナーⅢ-7-4（高分子化学）	1		
		セミナーⅢ-7-5（セラミックス物性学）	1		
		セミナーⅢ-7-6（無機粉体材料化学）	1		
		セミナーⅢ-7-7（木材物理学）	1		
		セミナーⅢ-7-8（生物無機化学）	1		
		セミナーⅢ-7-9（有機合成化学）	1		
		セミナーⅢ-7-10（光エネルギー物理化学）	1		
		セミナーⅢ-7-11（機能性材料物理化学）	1		
		セミナーⅢ-7-12（触媒表面化学）	1		
		セミナーⅢ-7-13（有機・高分子化学）	1		
		セミナーⅢ-7-14（無機環境材料化学）	1		
		セミナーⅢ-7-15（木質バイオマス変換工学）	1		
		セミナーⅢ-7-16（木材化学）	1		
		セミナーⅢ-7-17（構造有機化学）	1		
		セミナーⅢ-7-18（環境分析化学）	1		
		セミナーⅢ-7-19（繊維材料学）	1		
		セミナーⅢ-7-20（物性化学）	1		
		セミナーⅢ-7-21（配位化学）	1		
		セミナーⅢ-7-22（ナノセラミックス材料化学）	1		
		セミナーⅢ-7-23（有機材料化学）	1		
		セミナーⅢ-7-24（光機能化学）	1		
		セミナーⅣ-7-1（錯体化学）	1		
		セミナーⅣ-7-2（反応有機化学）	1		
		セミナーⅣ-7-4（高分子化学）	1		
		セミナーⅣ-7-5（セラミックス物性学）	1		
		セミナーⅣ-7-6（無機粉体材料化学）	1		
		セミナーⅣ-7-7（木材物理学）	1		
		セミナーⅣ-7-8（生物無機化学）	1		
		セミナーⅣ-7-9（有機合成化学）	1		
		セミナーⅣ-7-10（光エネルギー物理化学）	1		
		セミナーⅣ-7-11（機能性材料物理化学）	1		
		セミナーⅣ-7-12（触媒表面化学）	1		
		セミナーⅣ-7-13（有機・高分子化学）	1		
		セミナーⅣ-7-14（無機環境材料化学）	1		
		セミナーⅣ-7-15（木質バイオマス変換工学）	1		

免許教科	免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位数	最低修得単位数	
				中学校教諭 専修免許状	高等学校教諭 専修免許状
理科	理科の教科に関する科目	セミナーⅣ-7-16（木材化学）	1		
		セミナーⅣ-7-17（構造有機化学）	1		
		セミナーⅣ-7-18（環境分析化学）	1		
		セミナーⅣ-7-19（繊維材料化学）	1		
		セミナーⅣ-7-20（物性化学）	1		
		セミナーⅣ-7-21（配位化学）	1		
		セミナーⅣ-7-22（ナノセラミックス材料化学）	1		
		セミナーⅣ-7-23（有機材料化学）	1		
		セミナーⅣ-7-24（光機能化学）	1		
	教育実践に関する科目	教育課題実践研究	1		

免許教科	免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	単位数	最低修得単位数
				高等学校教諭 専修免許状
農業	農業の教科に関する科目	水文学特論	2	24
		環境工学特論	2	
		施設工学特論	2	
		植物病理生態学特論	2	
		応用昆虫学特論	2	
		森林資源管理学特論	2	
		森林リモートセンシング特論	2	
		動物生産学特論	2	
		作物生産学特論	2	
		農業生産環境学特論	2	
		農業・農村開発史特論	2	
		農業経営経済分析特論	2	
		食品機能・加工学特論	2	
		森林情報学特論	2	
	教育実践に関する科目	教育課題実践研究	1	

免許教科	免許法施行規則に定める科目区分	授 業 科 目	単位数	最低修得単位数	
				中学校教諭 専修免許状	高等学校教諭 専修免許状
理科	理科の教科に関する科目	分子構造機能特論	2	24	24
		細胞構造機能特論	2		
		生体制御機構特論	2		
		応用植物生理学特論	2		
		植物ゲノム応用科学特論	2		
		微生物機能特論	2		
		生物多様性特論	2		
		水圏応用科学特論	2		
		植物機能開発学特論	2		
		森林生態環境学特論	2		
		水圏生態学特論	2		
		土壌環境共生学特論	2		
		環境共生計測特論	2		
		水・土壌環境共生学特論	2		
		セミナーI-9-1 (植物科学)	1		
		セミナーI-9-3 (細胞構造学)	1		
		セミナーI-9-4 (進化生態学)	1		
		セミナーI-9-5 (海洋生物)	1		
		セミナーI-9-6 (生命物理化学)	1		
		セミナーI-9-7 (生物化学)	1		
		セミナーI-9-8 (食機能制御学)	1		
		セミナーI-9-9 (分子微生物学)	1		
		セミナーI-9-10 (植物分子遺伝学)	1		
		セミナーI-9-11 (化学生物学)	1		
		セミナーI-9-12 (水圏応用科学)	1		
		セミナーI-9-13 (比較生理学)	1		
		セミナーII-9-1 (植物科学)	1		
		セミナーII-9-3 (細胞構造学)	1		
		セミナーII-9-4 (進化生態学)	1		
		セミナーII-9-5 (海洋生物)	1		
		セミナーII-9-6 (生命物理化学)	1		
		セミナーII-9-7 (生物化学)	1		
		セミナーII-9-8 (食機能制御学)	1		
		セミナーII-9-9 (分子微生物学)	1		
		セミナーII-9-10 (植物分子遺伝学)	1		
		セミナーII-9-11 (化学生物学)	1		
		セミナーII-9-12 (水圏応用科学)	1		

免許教科	免許法施行規則に定める科目区分	授 業 科 目	単位数	最低修得単位数	
				中学校教諭 専修免許状	高等学校教諭 専修免許状
理科	理科の教科に関する科目	セミナーII-9-13（比較生理学）	1		
		セミナーIII-9-1（植物科学）	1		
		セミナーIII-9-3（細胞構造学）	1		
		セミナーIII-9-4（進化生態学）	1		
		セミナーIII-9-5（海洋生物）	1		
		セミナーIII-9-6（生命物理化学）	1		
		セミナーIII-9-7（生物化学）	1		
		セミナーIII-9-8（食機能制御学）	1		
		セミナーIII-9-9（分子微生物学）	1		
		セミナーIII-9-10（植物分子遺伝学）	1		
		セミナーIII-9-11（化学生物学）	1		
		セミナーIII-9-12（水圏応用科学）	1		
		セミナーIII-9-13（比較生理学）	1		
		セミナーIV-9-1（植物科学）	1		
		セミナーIV-9-3（細胞構造学）	1		
		セミナーIV-9-4（進化生態学）	1		
		セミナーIV-9-5（海洋生物）	1		
		セミナーIV-9-6（生命物理化学）	1		
		セミナーIV-9-7（生物化学）	1		
		セミナーIV-9-8（食機能制御学）	1		
		セミナーIV-9-9（分子微生物学）	1		
		セミナーIV-9-10（植物分子遺伝学）	1		
		セミナーIV-9-11（化学生物学）	1		
		セミナーIV-9-12（水圏応用科学）	1		
		セミナーIV-9-13（比較生理学）	1		
	教育実践に関する科目	教育課題実践研究	1		

博士前期課程農生命科学専攻

免許教科	免許法施行規則に定める科目区分	授 業 科 目	単位数	最低修得単位数
				高等学校教諭 専修免許状
農業	農業の教科に関する科目	作物生産学特論	2	24
		農業生産環境学特論	2	
		農業・農村開発史特論	2	
		農業経営経済分析特論	2	
		森林資源管理学特論	2	
		森林リモートセンシング特論	2	
		食品機能・加工学特論	2	
		動物生産学特論	2	
		森林情報学特論	2	
		植物病理生態学特論	2	
		応用昆虫学特論	2	
		水文学特論	2	
		環境工学特論	2	
		施設工学特論	2	
		セミナーI-10-1（施設園芸学）	1	
		セミナーII-10-1（施設園芸学）	1	
		セミナーIII-10-1（施設園芸学）	1	
		セミナーIV-10-1（施設園芸学）	1	
	教育実践に関する科目	教育課題実践研究	1	

IV. 建築士試験の大学院における実務経験取得のための履修方法

環境システム科学専攻建築デザイン学コースでの、建築士試験の大学院における実務経験取得のための科目及び単位数は、以下のとおりです。

分 類	科 目 名	単位数	実務経験取得のための必要単位数	
			2年	1年
インターンシップ	建築設計・工事監理インターンシップⅠ	4	14単位以上	4単位以上
	建築設計・工事監理インターンシップⅡ	6		
	建築設計・工事監理インターンシップⅢ	4		
インターンシップ 関連科目 (演習・実験・実習)	特別研究Ⅰ-8b	2	8単位以下	8単位以下
	特別研究Ⅱ-8b	2		
	特別研究Ⅲ-8b	2		
	特別研究Ⅳ-8b	2		
	建築設計特別演習Ⅰ	2		
	建築設計特別演習Ⅱ	2		
	建築設計特別演習Ⅲ	2		
インターンシップ 関連科目(講義)	MOT特論	2	8単位以下	8単位以下
	建築構造学特論Ⅰ	2		
	建築構造学特論Ⅱ	2		
	建築構造・住環境学特論	2		
	建築環境学特論	2		
	建築計画設計特論	2		
	建築史・意匠設計特論	2		
	建築・都市デザイン特論	2		
	木造構法特論	2		
総 単 位 数			30単位以上	15単位以上

学部と大学院の一貫コース生及び早期修了した学生は必要単位が取れていても、実務経験は1年となります。

博士後期課程 (教務事項について)

I. 修学の手引

1. 教育指導の基本方針

博士後期課程においては、高度の専門的学力と、創造的な研究開発能力を持った研究者、技術者の養成を目的とします。広い分野に渡る応用能力と視野を育てるため、複数指導教員制を採用して、優れた教育効果の達成を図っています。

2. 指導教員

博士後期課程入学時、学生ごとに主指導教員1名及び副指導教員3名以上(そのうちの1名以上は、他教育研究分野の教員)を定めます。指導教員は、学生の授業科目の履修指導及び学位論文作成の指導を行います。他教育研究分野については主指導教員と相談の上決定してください。

3. 授業科目

授業科目及び単位数は、「II. 単位の修得方法」の大学院自然科学研究科規則別表第3, 第4のとおりです。

4. 履修基準

○創成理工学専攻

コース 科目区分	最低修得単位数					
	理工学コース			自然環境システム科学コース		
	必修	選択	自由選択	必修	選択	自由選択
実践教育科目	—	2	2	—	2	2
専門科目	—	2		—	2	
論文研究	4	—	—	4	—	—
特別セミナー	2	—	—	2	—	—
合計	12			12		

○特別教育プログラム（マテリアル創成工学特別プログラム、医理工農連携プログラム）

プログラム 科目区分	最低修得単位数					
	マテリアル創成工学特別プログラム			医理工農連携プログラム		
	必修	選択必修	選択	必修	選択	自由選択
実践教育科目	—	—	2	—	—	2
専門科目	—	4	—	—	2	2
論文研究	4	—	—	4	—	—
特別セミナー	2	—	—	2	—	—
合計	12			12		

○特別教育プログラム（ダブルディグリープログラム、英語による「地球」教育研究特別プログラム）

コース 科目区分	最低修得単位数					
	ダブルディグリープログラム			英語による「地球」教育研究特別プログラム		
	必修	選択	自由	必修	選択	自由選択
実践教育科目	—	2	2	—	2	2
専門科目	—	2		—	2	
論文研究	4	—	—	4	—	—
特別セミナー	2	—	—	2	—	—
合計	12			12		

- (1) 各教育コースにおいては、所属するコース以外の専門科目も履修することができます。
- (2) 英語による「地球」教育研究特別プログラムにおいては、プログラム内の授業科目を履修してください。

5. 履修手続

学期の始めに1年間に履修しようとする授業科目を指導教員と相談の上で決定し、履修手続期間中に次の手続を行ってください。

なお、履修手続に関する詳細については、掲示により周知しますので、注意してください。また、この履修手続を行っていない授業科目は、履修することができません。

- (1) 履修科目を前期分・後期分あわせて、授業科目一覧（自然科学研究科ホームページに掲載）により授業科目コード等を確認の上、「学務情報システム」から登録してください。
- (2) 学務情報システムから履修登録ができない場合は、学生センターで履修届の用紙を受け取り、定められた期日までに提出してください。
- (3) 集中講義の履修については、実施時期・履修登録期間等を掲示により通知しますので、その都度、学生センターで登録手続を行ってください。学務情報システムからは登録できませんので、注意してください。
- (4) 大学院設置基準第14条の適用を受けて入学した社会人が夜間開講を希望する場合には、履修手続前に指導教員及び授業担当教員と相談してください。

6. 課程修了の認定

博士後期課程を修了するためには、博士後期課程に原則として3年以上在学し、所定の単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格しなければなりません。

7. 学位授与

博士後期課程を修了した者には、博士（理学、工学）の学位が授与されます。

Ⅱ. 単位の修得方法

大学院自然科学研究科規則別表第3

創成理工学専攻
理工学コース

科目区分	教育分野・研究	授 業 科 目	単位数		備 考
			必修	選択	
実践教育科目		英語アカデミックリーディングセミナー		2	実践教育科目2単位、理工学コース専門科目2単位、論文研究4単位、特別セミナー2単位、実践教育科目、理工学コース専門科目又は自然環境システム科学コース専門科目の中から2単位、合計12単位以上修得すること。
		英語プラクティカルスキルアップセミナー		2	
		社会人実践研究 (企業滞在型実践研究)		2	
		知的財産と社会連携 (研究開発マネジメント科目)		2	
		Sustainability science and SDGs		2	
		Science for a sustainable society and future Earth		1	
		特別実践研究 (PBL型授業)		2	
		国際実践演習		2	
		教育指導特別実習A (実験・演習指導)		2	
		教育指導特別実習B (発表指導)		2	
		ジョブ型研究インターンシップ		2	
		責任ある研究活動入門		1	
専門科目	数理科学	凸解析・非線形解析学特論		2	
		生物数学特論		2	
		複素幾何学特論		2	
		代数学特論		2	
		偏微分方程式特論		2	
		連続体理論とトポロジー		2	
		調和写像論		2	
		ホモロジー代数学特論		2	
		多変量解析法の推測論		2	
		遅延方程式特論		2	
	知能情報デザイン学	プログラム解析技術特論		2	
		適応型ユーザインターフェース論		2	
		先進ネットワーク論		2	
		情報科学ゼミナール		2	
		高信頼通信制御論		2	
		情報ネットワーク応用論		2	
	物理・マテリアル工学	超伝導物性特論		2	
		量子理論物性学		2	
		応用結晶成長学特論		2	
		量子物理学特論		2	
		強相関電子系物質学		2	
		量子物性学特論		2	
		結晶材料解析学		2	
		焼結材料学		2	
		強誘電体物理学		2	
		ナノフォトニクス工学		2	
		薄膜材料デバイス		2	
		先端電子材料設計学		2	
		核融合炉材料		2	
		低温物理学特論		2	
		電子顕微鏡学		2	
		半導体薄膜技術		2	

科目区分	教育分野研究	授 業 科 目	単位数		備 考
			必修	選択	
専門科目	機械・電気電子工学	光通信論		2	
		光波計測論		2	
		知能移動ロボット論		2	
		大気計測論		2	
		光ファイバ工学論		2	
		機械要素設計特論		2	
		振動解析学特論		2	
		複雑系熱流体工学特論		2	
		連続体力学特論		2	
		流体力学特論		2	
		並列計算特論		2	
		他コース開講科目			
必修科目		論文研究	4		
		特別セミナー	2		

創成理工学専攻
自然環境システム科学コース

科目区分	教育分野研究	授 業 科 目	単位数		備 考
			必修	選択	
実践教育科目		英語アカデミックリーディングセミナー		2	実践教育科目2単位，自然環境システム科学コース専門科目2単位，論文研究4単位，特別セミナー2単位，実践教育科目，理工学コース専門科目又は自然環境システム科学コース専門科目の中から2単位，合計12単位以上修得すること。
		英語プラクティカルスキルアップセミナー		2	
		社会人実践研究 (企業滞在型実践研究)		2	
		知的財産と社会連携 (研究開発マネジメント科目)		2	
		Sustainability science and SDGs		2	
		Science for a sustainable society and future Earth		1	
		特別実践研究 (P B L型授業)		2	
		国際実践演習		2	
		教育指導特別実習 A (実験・演習指導)		2	
		教育指導特別実習 B (発表指導)		2	
		ジョブ型研究インターンシップ		2	
		責任ある研究活動入門		1	
専門科目	地球科学	変成岩岩石学		2	
		有機資源地球物質科学		2	
		微古生物学		2	
		地下流体解析学		2	
		堆積地質学特論		2	
		古環境・古生態学		2	
		火成岩岩石学特論		2	
		生層序学特論		2	
		火山学特論		2	
		汽水域環境変動論		2	
		構造地質学		2	
	環境共生科学	水質水文学特論		2	
		環境水理学特論		2	
		水環境保全学特論		2	
		汽水域生態学特別演習		2	
	物質化学	錯体化学特論		2	
		有機合成化学特論		2	
		有機材料科学特論		2	
		高機能触媒表面化学		2	
		粉体材料工学特論		2	
		生物無機化学		2	
		有機反応化学特論		2	
		光材料プロセス工学		2	
		分子機能化学特論		2	
		調光セラミックス特論		2	
		無機環境材料工学特論		2	
		構造有機化学特論		2	
		健康衣料素材学特論		2	
		陸水化学特論		2	
		固体表面・界面物性学		2	
		木質材料特性評価学特論		2	
		木質分子工学		2	

科目区分	教育 分野 研究	授 業 科 目	単位数		備 考
			必修	選択	
専門科目	物質 化学	機能配位化学特論		2	
		ランダム系構造学特論		2	
		固体イオニクス特論		2	
		錯体の材料科学特論		2	
		ポリマーコロイド特論		2	
		有機エレクトロニクス材料特論		2	
	建築 デザイン 学	建築構造・住環境学		2	
		居住文化特論		2	
		建築計画デザイン学		2	
		建築振動制御学		2	
		建築論特論		2	
		建築音響工学特論		2	
	生命 科学	植物分子細胞生物学特論		2	
		動物発生生物学特論		2	
		動物組織再生学特論		2	
		生殖発生学特論		2	
		共生生物学特論		2	
		理論生態学特論		2	
		分子細胞構造学特論		2	
		海洋生物科学特論		2	
		行動生態学特論		2	
		分子分光学特論Ⅰ		2	
		分子分光学特論Ⅱ		2	
		他コース開講科目			
必修科目		論文研究	4		
		特別セミナー	2		

大学院自然科学研究科規則別表第4
マテリアル創成工学特別プログラム
全コース対象

科目区分	授 業 科 目	単位数		備 考
		必修	選択	
実践教育科目	英語アカデミックリーディングセミナー		2	実践教育科目2単位，専門科目4単位〔（ ）を付した14科目から2科目4単位を修得すること〕，論文研究4単位，特別セミナー2単位，合計12単位以上修得すること。
	英語プラクティカルスキルアップセミナー		2	
	社会人実践研究 (企業滞在型実践研究)		2	
	知的財産と社会連携 (研究開発マネジメント科目)		2	
	Sustainability science and SDGs		2	
	Science for a sustainable society and future Earth		1	
	特別実践研究 (P B L型授業)		2	
	国際実践演習		2	
	教育指導特別実習A (実験・演習指導)		2	
	教育指導特別実習B (発表指導)		2	
	ジョブ型研究インターンシップ		2	
	責任ある研究活動入門		1	
専門科目	応用結晶成長学特論	(2)		
	結晶材料解析学	(2)		
	焼結材料学	(2)		
	ナノフォトニクス工学	(2)		
	薄膜材料デバイス	(2)		
	先端電子材料設計学	(2)		
	核融合炉材料	(2)		
	電子顕微鏡学	(2)		
	高機能触媒表面化学	(2)		
	粉体材料工学特論	(2)		
	光材料プロセス工学	(2)		
	調光セラミックス特論	(2)		
	無機環境材料工学特論	(2)		
	固体表面・界面物性学	(2)		
	所属コースの開講科目			
	他コースの開講科目			
必修科目	所属コースの論文研究	4		
	所属コースの特別セミナー	2		

医理工農連携プログラム
全コース対象

科目区分	授 業 科 目	単位数		備 考
		必修	選択	
実践教育科目	英語アカデミックリーディングセミナー		2	実践教育科目2単位，専門科目4単位〔（ ）を付した4科目から1科目2単位を修得すること〕，論文研究4単位，特別セミナー2単位，合計12単位以上修得すること。
	英語プラクティカルスキルアップセミナー		2	
	社会人実践研究 (企業滞在型実践研究)		2	
	知的財産と社会連携 (研究開発マネジメント科目)		2	
	Sustainability science and SDGs		2	
	Science for a sustainable society and future Earth		1	
	特別実践研究（PBL型授業）		2	
	国際実践演習		2	
	教育指導特別実習A (実験・演習指導)		2	
	教育指導特別実習B（発表指導）		2	
	ジョブ型研究インターンシップ		2	
	責任ある研究活動入門		1	
専門科目	理工医学のための生物材料学及び放射線	(2)		
	機能性物質・食品の医療応用と環境影響	(2)		
	臨床医学と社会・環境医学への高度情報学・数学の応用	(2)		
	医療のための光工学	(2)		
	所属コースの開講科目			
	他コースの開講科目			
必修科目	所属コースの論文研究	4		
	所属コースの特別セミナー	2		

創成理工学専攻 ダブルディグリープログラム
理工学コース

科目区分	教育分野研究	授 業 科 目	単位数		備 考
			必修	選択	
実践教育科目		英語アカデミックリーディングセミナー		2	実践教育科目2単位，理工学コース専門科目2単位，論文研究4単位，特別セミナー2単位，実践教育科目，理工学コース専門科目又は自然環境システム科学コース専門科目の中から2単位，合計12単位以上修得すること。
		英語プラクティカルスキルアップセミナー		2	
		社会人実践研究 (企業滞在型実践研究)		2	
		知的財産と社会連携 (研究開発マネジメント科目)		2	
		Sustainability science and SDGs		2	
		Science for a sustainable society and future Earth		1	
		特別実践研究 (P B L型授業)		2	
		国際実践演習		2	
		教育指導特別実習 A (実験・演習指導)		2	
		教育指導特別実習 B (発表指導)		2	
		ジョブ型研究インターンシップ		2	
		責任ある研究活動入門		1	
専門科目	数理科学	凸解析・非線形解析学特論		2	
		生物数学特論		2	
		複素幾何学特論		2	
		代数学特論		2	
		偏微分方程式特論		2	
		連続体理論とトポロジー		2	
		調和写像論		2	
		ホモロジー代数学特論		2	
		多変量解析法の推測論		2	
		遅延方程式特論		2	
	知能情報デザイン学	プログラム解析技術特論		2	
		適応型ユーザインターフェース論		2	
		先進ネットワーク論		2	
		情報科学ゼミナール		2	
		高信頼通信制御論		2	
		情報ネットワーク応用論		2	
	物理・マテリアル工学	超伝導物性特論		2	
		量子理論物性学		2	
		応用結晶成長学特論		2	
		量子物理学特論		2	
		強相関電子系物質学		2	
		量子物性学特論		2	
		結晶材料解析学		2	
		焼結材料学		2	
		強誘電体物理学		2	
		ナノフォトニクス工学		2	
		薄膜材料デバイス		2	
		先端電子材料設計学		2	
		核融合炉材料		2	
		低温物理学特論		2	
		電子顕微鏡学		2	
		半導体薄膜技術		2	

科目区分	教育 分野 研究	授 業 科 目	単位数		備 考
			必修	選択	
専門科目	機 械 ・ 電 気 電 子 工 学	光通信論		2	
		光波計測論		2	
		知能移動ロボット論		2	
		大気計測論		2	
		光ファイバ工学論		2	
		機械要素設計特論		2	
		振動解析学特論		2	
		複雑系熱流体工学特論		2	
		連続体力学特論		2	
		流体力学特論		2	
		並列計算特論		2	
		他コース開講科目			
必修科目		論文研究	4		
		特別セミナー	2		

創成理工学専攻 ダブルディグリープログラム
自然環境システム科学コース

科目区分	教育分野研究	授 業 科 目	単位数		備 考
			必修	選択	
実践教育科目		英語アカデミックリーディングセミナー		2	実践教育科目2単位，自然環境システム科学コース専門科目2単位，論文研究4単位，特別セミナー2単位，実践教育科目，理工学コース専門科目又は自然環境システム科学コース専門科目の中から2単位，合計12単位以上修得すること。
		英語プラクティカルスキルアップセミナー		2	
		社会人実践研究 (企業滞在型実践研究)		2	
		知的財産と社会連携 (研究開発マネジメント科目)		2	
		Sustainability science and SDGs		2	
		Science for a sustainable society and future Earth		1	
		特別実践研究 (PBL型授業)		2	
		国際実践演習		2	
		教育指導特別実習A (実験・演習指導)		2	
		教育指導特別実習B (発表指導)		2	
		ジョブ型研究インターンシップ		2	
		責任ある研究活動入門		1	
専門科目	地球科学	変成岩岩石学		2	
		有機資源地球物質科学		2	
		微古生物学		2	
		地下流体解析学		2	
		堆積地質学特論		2	
		古環境・古生態学		2	
		火成岩岩石学特論		2	
		生層序学特論		2	
		火山学特論		2	
		汽水域環境変動論		2	
		構造地質学		2	
	環境共生科学	水質水文学特論		2	
		環境水理学特論		2	
		水環境保全学特論		2	
		汽水域生態学特別演習		2	
		錯体化学特論		2	
	物質化学	有機合成化学特論		2	
		有機材料科学特論		2	
		高機能触媒表面化学		2	
		粉体材料工学特論		2	
		生物無機化学		2	
		有機反応化学特論		2	
		光材料プロセス工学		2	
		分子機能化学特論		2	
		調光セラミックス特論		2	
		無機環境材料工学特論		2	
		構造有機化学特論		2	
		健康衣料素材学特論		2	
		陸水化学特論		2	
		固体表面・界面物性学		2	
		木質材料特性評価学特論		2	
		木質分子工学		2	

科目区分	教 育 分 野 研 究	授 業 科 目	単位数		備 考
			必修	選択	
専門科目	物質化学	機能配位化学特論		2	
		ランダム系構造学特論		2	
		固体イオニクス特論		2	
		錯体の材料科学特論		2	
		ポリマーコロイド特論		2	
		有機エレクトロニクス材料特論		2	
	建築デザイン学	建築構造・住環境学		2	
		居住文化特論		2	
		建築計画デザイン学		2	
		建築振動制御学		2	
		建築論特論		2	
		建築音響工学特論		2	
	生命科学	植物分子細胞生物学特論		2	
		動物発生生物学特論		2	
		動物組織再生学特論		2	
		生殖発生学特論		2	
		共生生物学特論		2	
		理論生態学特論		2	
		分子細胞構造学特論		2	
		海洋生物科学特論		2	
		行動生態学特論		2	
		分子分光学特論Ⅰ		2	
		分子分光学特論Ⅱ		2	
		他コース開講科目			
必修科目		論文研究	4		
		特別セミナー	2		

英語による「地球」教育研究特別プログラム
全コース対象

科目区分	専修分野	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
実践教育科目		Sustainability science and SDGs		2	実践教育科目2単位，所属する専修分野の専門科目の中から2単位，実践教育科目又は専門科目の中から2単位，論文研究4単位，特別セミナー2単位，合計12単位以上修得すること。
		Science for a sustainable society and future Earth		1	
		特別実践研究（PBL型授業）		2	
		国際実践演習		2	
		教育指導特別実習A（実験・演習指導）		2	
		教育指導特別実習B（発表指導）		2	
		ジョブ型研究インターンシップ		2	
		責任ある研究活動入門		1	
専門科目	先端地球科学専修分野	Metamorphic Petrology 変成岩岩石学		2	
		Advanced Organic Geochemistry 有機地球化学特論		2	
		Micropaleontology 微古生物学		2	
		Advanced Sedimentology 堆積学特論		2	
		Advanced Igneous Petrology 火成岩岩石学特論		2	
		Advanced Biostratigraphy 生層序学特論		2	
		Advanced Volcanology 火山学特論		2	
	地球資源学専修分野	Mineral Science of Organic Natural Resources 有機資源地球物質科学		2	
		Groundwater Modeling 地下水モデリング		2	
		Utilization Engineering of Forest Resources 森林資源利用工学		2	
	地球環境災害学専修分野	Paleoenvironmentology and Paleoecology 古環境・古生態学		2	
		Coastal Geoenvironmental Science 沿岸地質環境学		2	
		Structural Geology 構造地質学		2	
	分野全専修共通	Effective Manuscript Preparation A 論文執筆計画A		2	
		Effective Manuscript Preparation B 論文執筆計画B		2	
必修科目		所属コースの論文研究	4		
		所属コースの特別セミナー	2		

学 内 規 則 等

大学院自然科学研究科規則

(平成30年島大自然科学研究科規則第1号)

(平成30年4月1日制定)

[令和7年4月23日最終改正]

(趣旨)

第1条 島根大学大学院自然科学研究科（以下「研究科」という。）に関する事項については、大学院学則（平成16年島大学則第3号）及びこれに基づく特別の定めのあるもののほか、この規則の定めるところによる。

(教育研究上の目的)

第2条 研究科博士前期課程は、科学・技術の発展と持続可能な社会の実現に俯瞰的・総合的視点から寄与できる創造性豊かな高度技術者・研究者及びグローバルな視野を持って地域社会の発展に貢献できる人材の育成を目的とする。

2 研究科博士後期課程は、地域に根差し世界に開かれた大学院として、豊かな人間性と極めて高度な専門性、さらにはグローバルな感性を身につけ、高い課題発見能力と課題解決能力を持って社会に貢献する理学分野と工学分野の人材を育成することを目的とする。

(専攻及び教育コース)

第3条 研究科博士前期課程に次の専攻及び教育コースを置く。

理工学専攻

先端材料工学コース、数理科学コース、知能情報デザイン学コース、物理・応用物理学コース、機械・電気電子工学コース

環境システム科学専攻

地球科学コース、環境共生科学コース、物質化学コース、建築デザイン学コース

農生命科学専攻

生命科学コース、農林生産学コース

2 研究科博士後期課程に次の専攻及び教育コースを置く。

創成理工学専攻

理工学コース、自然環境システム科学コース

(教育研究分野)

第3条の2 研究科博士後期課程の教育コースに次の教育研究分野を置く。

理工学コース

数理科学分野、知能情報デザイン学分野、物理・マテリアル工学分野、機械・電気電子工学分野

自然環境システム科学コース

地球科学分野、環境共生科学分野、物質化学分野、建築デザイン学分野、生命科学分野

(附属教育施設)

第4条 研究科に次の附属教育施設を置く。

附属産学官教育推進センター

2 附属産学官教育推進センターについては、別に定める。

(教育組織の編成)

第5条 研究科博士前期課程は、本学の教授、准教授、講師及び助教のうち、博士前期課程における教育及び研究指導を担当する資格を有する者をもって編成する。

- 2 研究科博士後期課程は、本学の教授、准教授、講師及び助教のうち、博士後期課程における教育及び研究指導を担当する資格を有する者をもって編成する。

(入学の時期)

第6条 入学の時期は、4月又は10月とする。

(再入学者及び転入学者の修業年限)

第7条 大学院学則第12条又は第13条の規定により、再入学又は転入学を許可された者の修業年限は、当該志願者の合否を決定するときに、研究科教授会の議を経て決定する。

(再入学者及び転入学者の在学年限)

第8条 大学院学則第12条又は第13条の規定により、再入学又は転入学を許可された者の在学年限は、別に定める。

(教育方法)

第9条 研究科における教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）により行う。

(社会人学生に対する教育方法の特例)

第10条 研究科教授会が教育上特別の必要があると認めたときは、夜間その他特定の時間又は時期に授業及び研究指導を行うことができる。

- 2 前項の規定を適用する学生に対しては、入学時に博士前期課程においては2年間、博士後期課程においては3年間にわたる授業科目の開講計画をあらかじめ予告し、2年間及び3年間を見通した履修計画をたてさせるものとする。

(特別教育プログラム)

第11条 研究科博士前期課程に医理工農連携プログラム、ダブルディグリープログラム、英語による留学生プログラム、英語による「地球」教育研究特別プログラム（以下4つのプログラムを総称して「博士前期課程特別教育プログラム」という。）を置く。

- 2 研究科博士後期課程にマテリアル創成工学特別プログラム、医理工農連携プログラム、ダブルディグリープログラム、英語による「地球」教育研究特別プログラム（以下4つのプログラムを総称して「博士後期課程特別教育プログラム」という。）を置く。

(学部・博士前期一貫プログラム)

第12条 研究科に学部・博士前期一貫プログラムを置く。

- 2 学部・博士前期一貫プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

(特別研究の単位の計算方法)

第13条 博士前期課程の特別研究は、開設する教育コースの指導の形態に応じ、演習又は実験として取り扱うものとし、教育コースごとに次の各号の基準により計算するものとする。

- 一 先端材料工学コースの特別研究は、演習30時間、実験30時間又は実験45時間をもって1単位とする。
- 二 数理科学コースの特別研究は、演習30時間をもって1単位とする。
- 三 知能情報デザイン学コースの特別研究は、演習30時間をもって1単位とする。
- 四 物理・応用物理学コースの特別研究は、演習又は実験30時間をもって1単位とする。
- 五 機械・電気電子工学コースの特別研究は、実験45時間をもって1単位とする。

位とする。

六 地球科学コースの特別研究は，演習 30 時間又は実験 45 時間の研究指導をもって 1 単位とする。

七 環境共生科学コースの特別研究は，演習 30 時間又は実験 45 時間をもって 1 単位とする。

八 物質化学コースの特別研究は，実験 30 時間をもって 1 単位とする。

九 建築デザイン学コースの特別研究は，演習又は実験 30 時間の研究指導をもって 1 単位とする。

十 生命科学コースの特別研究は，演習 30 時間又は実験 45 時間の研究指導をもって 1 単位とする。

十一 農林生産学コースの特別研究は，演習 30 時間又は実験 45 時間をもって 1 単位とする。

(論文研究の単位の計算方法)

第 13 条の 2 博士後期課程の論文研究は，開設する教育研究分野の指導の形態に応じ，演習又は実験として取り扱うものとし，教育研究分野ごとに次の各号の基準により計算するものとする。

一 数理学分野の論文研究は，演習 30 時間をもって 1 単位とする。

二 知能情報デザイン学分野の論文研究は，演習 30 時間をもって 1 単位とする。

三 物理・マテリアル工学分野の論文研究は，演習又は実験 30 時間の研究指導をもって 1 単位とする。

四 機械・電気電子工学分野の論文研究は，実験 45 時間をもって 1 単位とする。

五 地球科学分野の論文研究は，演習 30 時間又は実験 45 時間の研究指導をもって 1 単位とする。

六 環境共生科学分野の論文研究は，演習 30 時間又は実験 45 時間の研究指導をもって 1 単位とする。

七 物質化学分野の論文研究は，実験 30 時間をもって 1 単位とする。

八 建築デザイン学分野の論文研究は，演習又は実験 30 時間をもって 1 単位とする。

九 生命科学分野の論文研究は，演習 30 時間又は実験 45 時間をもって 1 単位とする。

(授業科目及び単位数等)

第 14 条 研究科における授業科目及び単位数等は，博士前期課程においては別表第 1 及び別表第 2，博士後期課程においては別表第 3 及び別表第 4 に掲げるとおりとする。

2 研究科教授会が教育又は研究上必要と認めたときは，特別に授業科目を開設することができる。

(指導教員)

第 15 条 学生の授業科目の履修指導及び研究指導を行うため，指導教員を置く。

2 博士前期課程の指導教員は，学生ごとに主指導教員を 1 名置くものとする。

3 前項に規定する主指導教員のほかに，副指導教員 1 名以上を置くものとする。ただし，副指導教員のうち少なくとも 1 名は専攻内の他コース又は他専攻の担当教員とする。

- 4 第2項及び前項に規定する主指導教員及び副指導教員は、博士前期課程を担当する者のうちから、研究科教授会の議を経て決定する。
- 5 第2項に規定する主指導教員は、博士前期課程を担当する教授をもって充てる。ただし、研究科教授会において必要と認めたときは、准教授、講師又は助教とすることができる。
- 6 博士後期課程の指導教員は、学生ごとに主指導教員1名を置くものとする。
- 7 前項に規定する主指導教員のほかに、副指導教員3名以上を置くものとする。ただし、副指導教員のうち少なくとも1名は他教育研究分野の担当教員とする。
- 8 第6項及び前項に規定する主指導教員及び副指導教員は、博士後期課程を担当する者のうちから、研究科教授会の議を経て決定する。
- 9 第6項に規定する主指導教員は、博士後期課程を担当する教授をもって充てる。ただし、研究科教授会において必要と認めたときは、准教授、講師又は助教とすることができる。
- 10 第5項及び前項に規定する教員は、特任教授、特任准教授、特任講師及び特任助教を含む。

(研究指導計画)

- 第16条 前条第2項に定める主指導教員は、学生ごとに学位論文又は特定の課題についての研究成果（以下「学位論文等」という。）の作成に対する研究指導計画を作成し、一年間の指導の計画を学生にあらかじめ明示するものとする。
- 2 前項に定めるもののほか、研究指導の方法及び内容に関し必要な事項は別に定める。
 - 3 前条第6項に定める主指導教員は、学生ごとに学位論文の作成に対する研究指導計画を作成し、一年間の指導の計画を学生にあらかじめ明示するものとする。
 - 4 前項に定めるもののほか、研究指導の方法及び内容に関し必要な事項は別に定める。

(履修方法)

- 第17条 学生は、博士前期課程にあつては、所属する教育コース及び他の教育コースの授業科目のうちから30単位以上、博士後期課程にあつては、所属する教育コース及び他の教育コースの授業科目のうちから12単位以上を修得し、かつ、研究指導を受けなければならない。
- 2 学生は、授業科目を履修しようとするときは、あらかじめ指導教員の指示に従い、履修しようとする授業科目を定め、所定の期日までに履修登録をしなければならない。
 - 3 前2項に定めるもののほか、履修に関し必要な事項は、別に定める。

(他の大学の大学院等の授業科目の履修)

- 第18条 学生は、大学院学則第20条の規定により、研究科が別に定める他の大学の大学院又は外国の大学院等（以下「他の大学の大学院等」という。）の授業科目を履修することができる。
- 2 学生は、前項の規定により、他の大学の大学院等の授業科目を履修しようとするときは、研究科長を経て、学長の許可を受けなければならない。
 - 3 第1項の規定により修得した単位は、15単位を限度として第17条第1項の単位に含めることができる。

- 4 前3項に定めるもののほか、他の大学の大学院等の授業科目の履修については、別に定める。

(他の大学の大学院等における研究指導)

第19条 学生は、大学院学則第21条の規定により、他の大学の大学院又は研究所等において、必要な研究指導を受けることができる。ただし、研究指導を受ける期間は、博士前期課程の学生にあつては1年を超えることができない。

- 2 学生は、前項の規定により、他の大学の大学院又は研究所等で研究指導を受けようとするときは、研究科長を経て、学長の許可を受けなければならない。

- 3 前2項に定めるもののほか、他の大学の大学院又は研究所等における研究指導については、別に定める。

(単位の授与)

第20条 単位は、学生が履修した授業科目について、授業科目担当教員が行う試験に合格したときに与える。

- 2 前項の規定による試験は、学期末、学年末又は学期の中途において筆記試験若しくは口頭試験又は研究報告書等によって行うものとする。

(追試験)

第21条 学生は、病気その他やむを得ない理由により、前条第1項の試験を受けることができなかった場合は、研究科長に願い出て、授業科目担当教員の承認の上、追試験を受けることができる。

(学位論文等)

第22条 学生は、主指導教員の承認を得て、所定の期日までに、学位論文等を研究科長に提出しなければならない。

- 2 前項に定めるもののほか、学位論文等の審査及び最終試験に関し必要な事項は、別に定める。

(特別聴講学生)

第23条 特別聴講学生の受入等について必要な事項は、別に定める。

(特別研究学生)

第24条 特別研究学生の受入等について必要な事項は、別に定める。

(教育職員免許状)

第25条 研究科において所要資格を取得できる教育職員の免許状の種類等は、次のとおりとする。

専攻	種類・教科	免許状の種類・教科	
		中学校教諭専修免許状	高等学校教諭専修免許状
博士前期課程 理工学専攻		理科，数学	理科，数学，情報，工業
博士前期課程 環境システム科学専攻		理科	理科，農業
博士前期課程 農生命科学専攻		理科	理科，農業

(組織的研修等)

第26条 研究科は、授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るため、組織的な研修及び研究を実施するものとする。

- 2 研究科は、博士後期課程の学生が修了後自らが有する学識を教授するために必要な能力を培うための機会を設け、又は当該機会に関する情報の提供を行うものとする。

附 則

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成31年2月20日一部改正）

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成30年度以前の入学生及び当該入学生と同学年に再入学又は転入学する者については、この規則による改正後の島根大学大学院自然科学研究科規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和2年2月19日一部改正）

- 1 この規則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 令和元年度以前の入学生及び当該入学生と同学年に再入学又は転入学する者については、この規則による改正後の島根大学大学院自然科学研究科規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和2年12月23日一部改正）

この規則は、令和3年1月1日から施行する。

附 則（令和3年2月17日一部改正）

- 1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 令和2年度以前の入学生及び当該入学生と同学年に再入学又は転入学する者については、この規則による改正後の大学院自然科学研究科規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 前2項の規定にかかわらず、第18条第3項の規定は令和2年6月30日から適用する。

附 則（令和4年3月16日一部改正）

- 1 この規則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 令和3年度以前の入学生及び当該入学生と同学年に再入学又は転入学する者については、この規則による改正後の大学院自然科学研究科規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、別表第1に記載のある 持続性科学と SDGs, 別表第2に記載のある 持続性科学と SDGs, 別表第3に記載のある Sustainability science and SDGs, Science for a sustainable society and future Earth, 半導体薄膜技術 及び 行動生態学特論, 別表第4に記載のある Sustainability science and SDGs, Science for a sustainable society and future Earth については、令和3年度以前の入学生（当該入学生と同学年に再入学又は転入学する者も含む。）にあっても適用する。

附 則（令和4年6月22日一部改正）

- 1 この規則は、令和4年6月22日から施行する。

附 則（令和4年10月26日一部改正）

- 1 この規則は、令和4年10月26日から施行する。
- 2 令和3年度以前の入学生及び当該入学生と同学年に再入学又は転入学する者については、この規則による改正後の大学院自然科学研究科規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、別表第2に記載のある Statistical Pattern Recognition 統計的パターン認識論 及び Information

Logic 情報論理学については、令和 3 年度以前の入学生（当該入学生と同学年に再入学又は転入学する者も含む。）にあっても適用する。

附 則（令和 5 年 2 月 22 日一部改正）

- 1 この規則は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 4 年度以前の入学生及び当該入学生と同学年に再入学又は転入学する者については、この規則による改正後の大学院自然科学研究科規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 前 2 項の規定にかかわらず、教育上必要と認める場合は、改正後の授業科目を履修させることができる。

附 則（令和 5 年 4 月 26 日一部改正）

- 1 この規則は、令和 5 年 4 月 26 日から施行し、令和 5 年 4 月 1 日から適用する。

附 則（令和 6 年 3 月 13 日一部改正）

- 1 この規則は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 5 年度以前の入学生及び当該入学生と同学年に再入学又は転入学する者については、この規則による改正後の大学院自然科学研究科規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、別表第 1 に記載のある 責任ある研究活動入門、別表第 2 に記載のある 責任ある研究活動入門及び **Introduction to the Responsible Conduct of Research** 責任ある研究活動入門については、令和 5 年度以前の入学生（当該入学生と同学年に再入学又は転入学する者も含む。）にあっても適用する。

附 則（令和 6 年 6 月 26 日一部改正）

この規則は、令和 6 年 7 月 1 日から施行する。

附 則（令和 7 年 2 月 19 日一部改正）

- 1 この規則は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 6 年度以前の入学生及び当該入学生と同学年に再入学又は転入学する者については、この規則による改正後の大学院自然科学研究科規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、別表第 1 に記載のある 普及教育活動特論、別表第 3 に記載のある 責任ある研究活動入門及び有機エレクトロニクス材料特論、別表第 4 に記載のある 責任ある研究活動入門及び有機エレクトロニクス材料特論については、令和 6 年度以前の入学生（当該入学生と同学年に再入学又は転入学する者も含む。）にあっても適用する。

附 則（令和 7 年 4 月 23 日一部改正）

- 1 この規則は、令和 7 年 4 月 23 日から施行し、令和 7 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 令和 6 年度以前の入学生及び当該入学生と同学年に再入学又は転入学する者については、この規則による改正後の大学院自然科学研究科規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、別表第 1 及び別表第 2 に記載のある 教育課題実践研究については、令和 6 年度入学生（当該入学生と同学年に再入学又は転入学する者も含む。）にあっても適用する。

学位規則自然科学研究科博士前期課程細則

(平成30年島大自然科学研究科細則第1号)

(平成30年4月1日制定)

[令和4年3月22日最終改正]

(趣旨)

第1条 この細則は、島根大学学位規則(平成16年島大規則第95号)第22条及び大学院自然科学研究科規則(平成30年島大自然科学研究科規則第1号)第22条第2項に基づき島根大学大学院自然科学研究科博士前期課程における学位授与に関し必要な事項を定める。

(学位論文の提出)

第2条 学位論文を提出することができる者は、所定の授業科目について、30単位以上を修得した者又は修得見込の者とする。

2 学位論文の審査を受けようとする者は、学位論文審査願(別紙様式第1号)に学位論文(別紙様式第2号)及び学位論文要旨(別紙様式第3号)を添え、主指導教員の承認を得て、研究科長に提出するものとする。

3 学位論文の提出期限は、3月修了者にあつては2月20日、9月修了者にあつては8月20日とする。なお、学位論文の審査用原稿の提出日は各教育コースで定める。

(特定の課題についての研究の成果の提出)

第3条 特定の課題についての研究の成果(原著・総説・技術文書・教材開発等以下「研究成果」という。)を提出することができる者は、所定の授業科目について、30単位以上を修得した者又は修得見込の者とする。

2 研究成果の審査を受けようとする者は、研究成果審査願(別紙様式第4号)に研究成果(別紙様式第5号)及び研究成果要旨(別紙様式第6号)を添え、主指導教員の承認を得て、研究科長に提出するものとする。

3 研究成果の提出期限は、3月修了者にあつては2月20日、9月修了者にあつては8月20日とする。なお、審査用研究成果の提出日は各教育コースで定める。

(学位論文等審査委員の選出)

第4条 各専攻は、当該専攻学生の学位論文又は研究成果(以下「学位論文等」という。)1編につき主査1名及び副査2名以上の学位論文等審査委員候補者を選出し、学位論文等審査委員候補者名簿(別紙様式第7号)により、3月修了者にあつては12月25日、9月修了者にあつては6月末日までに研究科教授会に推薦するものとする。

2 各専攻は、他の大学院又は研究所等の教員等を前項の副査として、学位論文等審査委員(以下「審査委員」という。)に加えることができる。

3 研究科教授会は、第1項及び第2項の推薦に基づき、審査委員を決定する。

(学位論文等の審査及び試験)

第5条 審査委員は、主査の総括のもとに、学位論文等の審査及び試験を行うものとする。

2 審査委員は、試験の方法及び期日を決定し、試験実施の1週間前までに当該専攻学生に通知するものとする。

3 学位論文等の審査及び試験の成績の評価は、合格又は不合格とする。

4 学位論文等の評価基準は、別に定める。

5 審査委員は、学位論文等の審査及び試験の結果を学位論文等審査及び試

験結果報告書(別紙様式第8号)により、3月修了者にあつては2月末日、9月修了者にあつては8月末日までに研究科教授会に報告するものとする。

(学位授与の審議、議決)

第6条 研究科教授会は、論文審査等の結果の報告に基づき、申請者に学位を授与すべきか否かを審議し、議決する。

2 前項の議決は、出席者の3分の2以上の同意によって成立する。

(学位論文及び学位論文要旨の保管)

第7条 学位論文は、当該コースにおいて保管するものとし、学位論文要旨は、松江地区学部等事務部学務課において保管するものとする。

2 前項の学位論文及び学位論文要旨の保管期間は、5年とする。

(研究成果及び研究成果要旨の保管)

第8条 研究成果は、当該コースにおいて保管するものとし、研究成果要旨は、松江地区学部等事務部学務課において保管するものとする。

2 前項の研究成果及び研究成果要旨の保管期間は、5年とする。

(提出期限等の特例)

第9条 第2条第3項、第3条第3項、第4条第1項及び第5条第5項の規定において、該当する日が休日に当たるときは、その翌日(その日が休日に当たるときは、翌々日(その日が休日に当たるときは、該当する日の前日))とする。

附 則

この細則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則(令和2年2月19日一部改正)

この細則は、令和2年2月19日から施行する。

附 則(令和2年12月23日一部改正)

この細則は、令和3年1月1日から施行する。

附 則(令和3年2月17日一部改正)

この細則は、令和3年2月17日から施行する。

附 則(令和4年3月22日一部改正)

この細則は、令和4年4月1日から施行する。

(別紙様式第1号)

主指導教員 承認印	
--------------	--

令和 年 月 日

島根大学大学院自然科学研究科長 殿

令和 年度入学 自然科学研究科

専攻

コース

学生番号

氏名 印

学位論文(修士論文)審査願

島根大学学位規則及び学位規則自然科学研究科博士前期課程細則により、下記題目の学位論文(修士論文)及び学位論文(修士論文)要旨を提出しますので、審査をお願いします。

記

1. 論文題目 (和文には欧文を, 欧文には和文併記)

--

2. 申請学位

修士 (理学 , 工学 , 生物資源科学)

注 申請学位については、「申請学位記載にあたっての注意事項」に従うこと。

(別紙様式第2号)

学位論文様式

- 1 規格は, A4判とする。
- 2 論文は, 和文又は欧文のいずれかで浄書し, 原則として横書きの左綴りのもの1部を提出すること。
- 3 表紙には, 次の事項を記入すること。

学位論文(修士論文)

論文題目
(和 文)

(欧 文)

島根大学大学院自然科学研究科

専攻

コース

学生番号 _____
氏 名 _____

(別紙様式第3号)

学位論文(修士論文)要旨				
論文提出者	学生番号 氏 名		専 攻 コース	専 攻 コース
論文題目				
欧文題目				

(注) 1 規格は, A4判とする。

2 和文とする場合は, 800 字程度, 欧文とする場合は, 200 語程度。

(別紙様式第4号)

主指導教員 承認印	
--------------	--

令和 年 月 日

島根大学大学院自然科学研究科長 殿

令和 年度入学 自然科学研究科

専攻

コース

学生番号

氏名 印

研究成果審査願

島根大学学位規則及び学位規則自然科学研究科博士前期課程細則により、下記題目の研究成果及び研究成果要旨を提出しますので、審査をお願いします。

記

題目名（和文には欧文を、欧文には和文併記）

--

2. 申請学位

修士（ 理学 ， 工学 ， 生物資源科学 ）

注 申請学位については、「申請学位記載にあたっての注意事項」に従うこと。

(別紙様式第5号)

研究成果様式

- 1 規格は, A4判とする。
- 2 研究成果は, 和文又は欧文のいずれかで浄書し, 原則として横書きの左綴りのもの1部を提出すること。
- 3 表紙には, 次の事項を記入すること。

研 究 成 果

題 目
(和 文)

(欧 文)

島根大学大学院自然科学研究科

専攻

コース

学生番号 _____
氏 名 _____

(別紙様式第6号)

研 究 成 果 要 旨				
提 出 者	学生番号 氏 名		専 攻 コース	専 攻 コース
論文題目				
欧文題目				

(注) 1 規格は, A4判とする。

2 和文とする場合は, 800 字程度, 欧文とする場合は, 200 語程度。

令和 年 月 日

島根大学大学院自然科学研究科教授会 殿

自然科学研究科 専攻 コース
コース長 印

学位論文（修士論文）等審査委員候補者推薦名簿

下記学位論文（修士論文）等の審査委員候補者名を次のとおり推薦します。

主 査

副 査

副 査

副 査

記

学生氏名	令和 年度入学 学生番号
自然科学研究科	専攻 コース
論文等題目（和文には欧文を，欧文には和文併記）	

令和 年 月 日

島根大学大学院自然科学研究科教授会 殿

学位論文（修士論文）等審査委員

主 査	印
副 査	印
副 査	印
副 査	印

学位論文（修士論文）等審査及び試験結果報告書

学位論文（修士論文）等の審査及び試験を終了しましたので、その結果を下記のとおり報告します。

記

学生氏名	令和 年度入学 学生番号
自然科学研究科 専攻 コース	指導教員
成 績 評 価	
学 位 論 文 等	試 験

申請学位記載にあたっての注意事項

指導教員に確認の上記載してください。各コースの注意点は以下のとおりです。

【理工学専攻】

○先端材料工学コース

申請できる学位は「修士（理学）」または「修士（工学）」です。どちらの学位を授与されるかは、研究分野と修得科目を基にした審査により決定されます。従って、申請した学位とはならない場合があります。主指導教員と研究内容等を協議する際に、いずれの学位がふさわしい研究なのか予め確認してください。

○数理科学コース

申請できる学位は「修士（理学）」のみです。

○知能情報デザイン学コース

申請できる学位は「修士（工学）」のみです。

○物理・応用物理学コース

申請できる学位は「修士（理学）」または「修士（工学）」です。どちらの学位を授与されるかは、研究分野と修得科目を基にした審査により決定されます。従って、申請した学位とはならない場合があります。それぞれの学位に対応した研究分野は概ね次のようになっています。

修士（理学）に対応した研究分野：基礎物理学分野

修士（工学）に対応した研究分野：マテリアル工学分野、電子デバイス工学分野

○機械・電気電子工学コース

申請できる学位は「修士（工学）」のみです。

【環境システム科学専攻】

○地球科学コース

申請できる学位は「修士（理学）」または「修士（工学）」です。どちらの学位を授与されるかは、研究分野と修得科目を基にした審査により決定されます。従って、申請した学位とはならない場合があります。それぞれの学位に対応した研究分野または研究内容は概ね次のようになっています。

修士（理学）に対応した研究分野または研究内容：

地球物質資源科学分野、地球環境科学分野、

及び自然災害科学分野の内、自然災害の機構解明に関連する研究

修士（工学）に対応した研究分野または研究内容：

自然災害科学分野の内、災害対策のための工法や設計に関連する研究、
及び地質工学・地盤工学分野

○環境共生科学コース

申請できる学位は「修士（生物資源科学）」のみです。

○物質化学コース

申請できる学位は「修士（理学）」または「修士（工学）」です。どちらの学位を授与されるかは、研究分野と修得科目を基にした審査により決定されます。従って、申請した学位とはならない場合があります。それぞれの学位に対応した研究分野は概ね次のようになっています。

修士（理学）に対応した研究分野：基礎化学分野，環境化学分野

修士（工学）に対応した研究分野：機能材料化学分野

○建築デザイン学コース

申請できる学位は「修士（工学）」のみです。

【農生命科学専攻】

○生命科学コース

申請できる学位は「修士（生物資源科学）」のみです。

○農林生産学コース

申請できる学位は「修士（生物資源科学）」のみです。

大学院自然科学研究科学生交流取扱要項

(平成30年4月1日制定)
〔令和7年2月19日最終改正〕

- 1 島根大学大学院自然科学研究科（以下「研究科」という。）における学生の留学，他の大学院等の授業科目の履修，他の大学院等での研究指導，特別聴講学生，及び特別研究学生の取り扱いについては，大学院学則（平成16年島大学則第3号）及び大学院自然科学研究科規則（平成30年島大自然科学研究科規則第1号）に定めるもののほか，この要項の定めるところによる。
- 2 留学を希望する学生は，次の各号に掲げる書類を研究科長に提出し，学長の許可を受けなければならない。
 - 一 留学願書（別紙様式1）
 - 二 健康診断書
 - 三 学業成績証明書
 - 四 留学承諾書（別紙様式2）
 - 五 外国の大学院等の同意書
 - 六 その他研究科及び外国の大学院等が必要とする書類
- 3 他の大学院等の授業科目の履修を希望する学生は，次の書類を研究科長に提出し，学長の許可を受けなければならない。
 - 一 他の大学院等の授業科目の履修願書（別紙様式3）
 - 二 他の大学院等の授業科目の履修承諾書（別紙様式4）
 - 三 その他研究科及び他の大学院等が必要とする書類
- 4 他の大学院等において研究指導を受けることを希望する学生は，次の書類を研究指導の開始を希望する日の2ヶ月前までに研究科長に提出し，学長の許可を受けるものとする。
 - 一 他の大学院等における研究指導願書（別紙様式5）
 - 二 他の大学院等における研究指導承諾書（別紙様式6）
 - 三 その他研究科及び他の大学院等が必要とする書類
- 5 特別聴講学生として研究科の授業科目の履修を希望する学生は，次の書類を当該授業科目が開講される2ヶ月前（外国の大学院の場合は4ヶ月前）までに，当該学生の所属する大学院等を経て，研究科長に提出し，学長の許可を受けなければならない。
 - 一 特別聴講学生願書（別紙様式7）
 - 二 大学院等の長の推薦書
 - 三 学業成績証明書
 - 四 健康診断書
 - 五 その他研究科が必要とする書類
- 6 特別研究学生として研究科において研究指導を希望する学生は，次の書類を研究指導を受けようとする学期の始まる2ヶ月前までに当該学生の所属する大学院等を経て，研究科長に提出し，学長の許可を受けなければならない。
 - 一 特別研究学生願書（別紙様式8）
 - 二 大学院等の長の推薦書
 - 三 学業成績証明書
 - 四 健康診断書

五 その他研究科が必要とする書類

- 7 留学又は他の大学院等の授業科目の履修により修得した単位の認定は、研究科教授会の議を経て行う。

附 則

この要項は、平成30年4月1日から実施する。

附 則（令和2年12月23日一部改正）

この要項は、令和3年1月1日から実施する。

附 則（令和7年2月19日一部改正）

この要項は、令和7年4月1日から実施する。

別紙様式1

令和 年 月 日

留 学 願 書

島根大学長 殿

自然科学研究科 専攻 コース

学生番号

氏 名

保護者等氏名

下記のとおり留学いたしたく御許可くださるよう、保護者等連署をもってお願いいたします。

記

1 理 由

2 留学先大学院等

3 留学希望期間 令和 年 月 日～令和 年 月 日

4 留学時の予定住所

電話番号

郵便番号

- 注意 1 理由は具体的に記入すること。
2 本願書は研究科長を経て提出すること。

別紙様式2

留 学 承 諾 書

令和 年 月 日

自然科学研究科長 殿

主指導教員

履修の指導及び研究指導を行っている下記学生の留学については、教育上有益と認められますので、これを承諾します。

記

_____専 攻
_____コース

学 生 番 号

学 生 氏 名

留学先大学院等

留 学 期 間 令和 年 月 日～令和 年 月 日

理 由

注 留学先大学院等には、課程名、専攻名及びコース名又はこれに相当するものまで記入する。

令和 年 月 日

他の大学院等の授業科目の履修願書

島根大学長 殿

自然科学研究科

専攻

コース

学生番号

氏 名

下記のとおり他の大学院等の授業科目の履修をいたしたく、御許可くださるようお願いいたします。

記

1 理 由

2 履修希望大学院, 研究科及び専攻

_____大学大学院_____研究科_____専攻

3 履修希望期間 令和 年 月 日～令和 年 月 日

4 履修希望授業科目, 単位及び担当教員名等

授 業 科 目	単 位	担 当 教 員	曜 日	時 限	年 度	期 別

5 履修時の予定住所 _____

_____電話番号

_____郵便番号

- 注意 1 理由は具体的に記入すること。
2 本願書は研究科長を経て提出すること。

令和 年 月 日

他の大学院等の授業科目の履修承諾書

自然科学研究科長 殿

主指導教員

当該専攻所属の下記学生が他の大学院等の授業科目を履修することについては承諾しますので、
 よろしくお取り計らい願います。

記

1 専攻

専攻

コース

学生番号

氏 名

2 履修希望大学院, 研究科及び専攻

_____大学大学院_____研究科_____専攻

3 履修希望期間 令和 年 月 日～令和 年 月 日

4 履修希望授業科目, 単位及び担当教員名等

授 業 科 目	単 位	担 当 教 員	曜 日	時 限	年 度	期 別

令和 年 月 日

他の大学院等における研究指導願書

島根大学長 殿

令和 年度入学

専攻名

コース名

学生番号

氏 名

下記のとおり他の大学院等において研究指導を受けたいので許可願います。

記

1 希 望 機 関 及 び

指 導 教 員 名

2 研究指導希望期間 令和 年 月 日

～ 令和 年 月 日

3 研 究 課 題

4 理 由

別紙様式6

令和 年 月 日

他の大学院等における研究指導承諾書

自然科学研究科長 殿

主指導教員

下記学生が他の大学院等において研究指導を受けることについては承諾しますので、よろしくお取り計らい願います。

記

- | | | |
|-------------------|------------|-----|
| 1 専攻名等 | 専攻 | コース |
| | 氏名 | |
| 2 希望機関及び
指導教員名 | | |
| 3 研究指導希望期間 | 令和 年 月 日 | |
| | ～ 令和 年 月 日 | |
| 4 研究課題 | | |

令和 年 月 日

特 別 聴 講 学 生 願 書

島根大学長 殿

本人氏名

下記のとおり貴学大学院自然科学研究科の授業科目を履修いたしたく、御許可くださるようお願いいたします。

記

1 履修希望専攻

_____専攻

2 履修希望期間 令和 年 月 日～令和 年 月 日

3 履修希望授業科目、単位及び担当教員名等

授 業 科 目	単 位	担 当 教 員	曜 日	時 限	年 度	期 別

4 在籍大学院、研究科及び専攻

_____大学大学院_____研究科_____専攻

別紙様式8

令和 年 月 日

特 別 研 究 学 生 願 書

島根大学長 殿

本人氏名

下記のとおり貴学大学院自然科学研究科の特別研究学生として研究指導を受けたく、御許可くださるようお願いいたします。

記

1 研究課題

2 研究希望期間 令和 年 月 日～令和 年 月 日

3 在籍大学院, 研究科及び専攻

_____大学大学院_____研究科_____専攻

大学院自然科学研究科博士前期課程における早期修了に関する取扱要項

(平成30年4月1日制定)

[令和4年3月22日最終改正]

(趣旨)

- 1 この要項は、大学院学則（平成16年島大学則第3号。以下「大学院学則」という。）第42条第1項ただし書の規定に基づき、島根大学大学院自然科学研究科博士前期課程（以下「研究科」という。）において優れた業績を上げた者に係る在学期間の短縮による課程の修了（以下「早期修了」という。）の取扱いについて、必要な事項を定める。

(対象学生)

- 2 早期修了の対象となる者は、研究科に1年以上在学し、修了の要件として定める単位を優秀な成績をもって修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、研究科の目的に応じ、学位論文又は特定の課題についての研究の成果（以下「学位論文等」という。）の審査及び試験に合格した者で、優れた業績を上げたと認められる者とする。ただし、再入学、転入学又は転コースした者及び大学院自然科学研究科における学部・博士前期一貫プログラムに関する取扱要項に定めるプログラムA履修生については、早期修了の対象者とししない。

(早期修了の計画)

- 3 早期修了を希望する者は、4月入学者にあつては4月14日、10月入学者にあつては10月14日までに早期修了するための研究計画書（別紙様式第1号）及び履修計画書（別紙様式第2号）を指導教員の指導の下に作成し、学部時代の成績証明書を添付して研究科長に提出しなければならない。ただし、著しく優れた業績をあげ研究科の発展に寄与したと研究科長が判断したものは、この規定によらず、早期修了の申請をすることができる。
- 4 研究科長は提出された研究計画書及び履修計画書が適当か副研究科長等と審議する。その際、必要に応じて早期修了を希望する者及び指導教員と面接を実施することができる。

審議に関しては以下を基準とする。

- 一 提出された研究計画書及び履修計画書が早期修了するに値するものであること。
- 二 早期修了するための計画を実現することが可能と見込まれる人物であること。
- 三 学部卒業時の累計 GPA が 3.00 以上であること、もしくは総合理工学部または生物資源科学部の学部・博士前期一貫プログラム B に所属し学部を卒業したもの。

このほか、審議に必要な事項については別に定める。

(履修上の措置)

- 5 前項の規定により、研究科長が早期修了するための研究計画書及び履修計画書を適当と判断したときは、早期修了を希望する者に対し授業科目ごとに定める履修開始年次を適用しないことができる。なお、研究科長は早期修了希望学生からの申請があれば、早期修了履修証明書（別紙様式第3号）を発行することが出来る。

(早期修了資格の認定)

- 6 早期修了の申請をした者は、研究科教授会(以下「教授会」という。)において早期修了資格の認定を受けなければならない。

(早期修了資格認定の申請資格)

- 7 早期修了の申請ができる者は、修了しようとする日までに次の各号に掲げる要件を全て満たすことができる者とする。

- 一 当該コースの修了に必要な30単位以上を修得できる者
- 二 学位論文等の審査及び試験に合格できる者
- 三 優れた業績を上げた者

(早期修了資格認定の申請)

- 8 早期修了の申請をする者は、3月修了にあつては12月15日までに、9月修了にあつては6月15日までに早期修了資格認定申請書(別紙様式第4号)に次の各号に掲げる書類を添えて、研究科長に提出しなければならない。

- 一 推薦書(別紙様式第5号)
- 二 研究業績書
- 三 その他業績に関する関連資料等

(早期修了資格の事前審査)

- 9 研究科長は前項の申請があつた場合は、当該学生の所属するコース長に対し、早期修了の資格の可否についての事前審査を付託するものとする。事前審査は、当該学生の主指導教員、副指導教員及びコースの2人以上の教授をもって行うこととし、必要があるときは、教授の代わりに准教授又は講師をもって充てることができる。研究業績書の審査は各コースで定める早期修了資格認定の基準に沿って行うものとする。

(事前審査の結果報告)

- 10 コース長は、前項で審査した審査結果を事前審査結果報告書(別紙様式第6号)により、研究科長に報告しなければならない。

(早期修了資格者の認定)

- 11 研究科長は、前項においてコース長から報告を受けた結果を教授会に付議し、早期修了資格者としての認定を受けるものとする。

(学位論文等の提出)

- 12 教授会において、早期修了資格者としての認定を受けた者は、島根大学大学院自然科学研究科規則及び島根大学学位規則自然科学研究科博士前期課程細則に従い、学位論文等を所定の期日までに提出しなければならない。

(修了の判定)

- 13 修了の判定は、所定の単位を修得し、かつ、必要な学位論文等の審査及び試験に合格した者について、教授会が早期修了者として認定する。なお、早期修了者の中間発表会は、学位論文等の審査及び試験をもってこれに代えることとする。

(修了の時期)

- 14 早期修了者の修了の時期は、3月又は9月とする。

(申請期限の特例)

- 15 第3項及び第8項の規定において、該当する日が休日にあたるときは、その翌日(その日が休日に当たるときは、翌々日(その日が休日に当たるときは、該当する日の前日))とする。

(雑則)

- 16 この要項に定めるもののほか、早期修了に関して必要な事項は、別に定める。

附 則

この要項は、平成30年4月1日から実施する。

附 則（令和2年12月23日一部改正）

この要項は、令和3年1月1日から実施する。

附 則（令和3年4月28日一部改正）

この要項は、令和3年4月28日から実施し、令和3年4月1日から適用する。

附 則（令和3年7月21日一部改正）

この要項は、令和3年7月21日から実施する。

附 則（令和4年3月22日一部改正）

この要項は、令和4年4月1日から実施する。

研究計画書

島根大学大学院自然科学研究科長 殿

氏 名 _____ 印

自然科学研究科主指導教員 _____ 印

研究課題（予定）：

研究の目的：

具体的な研究計画：

（第1 Semester）

（第2 Semester）

（第3 Semester）： 1年半での修了を希望する場合にのみ記載

注：

- 1) これまでに得られた研究成果等をどのように発展させて研究を展開するかを具体的に記載し、修士論文執筆への道筋を示すこと。
- 2) 余白がない場合は様式に関わらず、A4縦型の用紙に記載してください。
- 3) 学会発表、学術論文等の投稿・掲載の予定日程も記載すること。
- 4) 既に、学会発表、学術論文等への投稿・掲載実績があれば、学会発表要旨、投稿論文の原稿（掲載に至っていない場合のみ）、掲載された論文の別刷（またはコピー）を添付すること。
- 5) 研究の内容が論文投稿可能なレベルか否かを判断する参考とするため、A4用紙（4ページ程度未満）の卒論要旨を添付すること。

※提出先：松江地区学部等事務部学務課（学生センター）

履修計画書

島根大学大学院自然科学研究科長 殿

氏 名 _____ 印

自然科学研究科主指導教員 _____ 印

希望する修了時期： 年 月

(第1セメスター)

履修予定科目 (単位数)

(第2セメスター)

履修予定科目 (単位数)

(第3セメスター)： 1年半での修了を希望する場合にのみ記載

履修予定科目 (単位数)

(自然科学研究科の科目の早期履修制度により学部4年時に履修した科目)

履修科目 (単位数)

※提出先：松江地区学部等事務部学務課 (学生センター)

早期修了履修証明書

氏 名

年 月 日生

自然科学研究科

専 攻

コース

入 学 年 月 日 年 月 日

上記の者は、大学院自然科学研究科博士前期課程における早期修了を希望する者に関する申合せに基づき、島根大学大学院自然科学研究科博士前期課程を〇〇年〇〇月に早期修了する計画の下、履修中であることを証明する。

年 月 日

島根大学大学院自然科学研究科長

印

年 月 日

早期修了資格認定申請書

自然科学研究科長 殿

自然科学研究科

専攻

コース

学生番号

氏 名

印

大学院学則第42条第1項ただし書きの規定により、早期に修了したいので、下記のとおり、資格の認定を申請いたします。

記

- 1 当初の在籍予定期間 年 月 日 ～ 年 月 日
- 2 修了希望年月日 年 月 日
- 3 取得単位数 年度 期末現在 単位（成績証明書を添付）
- 4 早期修了の必要性又は理由

5 学位論文の題目

6 学位論文の要旨

7 特に優れた研究業績の名称及び内容

年 月 日

推 薦 書

自然科学研究科長 殿

自然科学研究科	専攻	コース
主指導教員		印

下記の者を、大学院学則第42条第1項ただし書きの規定による早期修了者として、推薦いたします。

記

自然科学研究科	専攻	コース
学生番号		
氏 名		

- 1 推薦の理由
- 2 修了に必要な単位を取得できる見込み
- 3 修士論文概要及び審査に合格できる見込み
- 4 優れた研究業績についての概要
- 5 その他特筆すべき事項

年 月 日

事前審査結果報告書

自然科学研究科長 殿

自然科学研究科

専攻
コース

コース長	印
主指導教員	印
審査委員	印
審査委員	印

下記の者から申請のあった早期修了資格認定について審査の結果、大学院学則第42条
第1項

ただし書きに
・該当する
・該当しない
と判断したので報告いたします。

記

自然科学研究科

専攻

コース

学生番号

氏 名

大学院自然科学研究科博士前期課程における早期修了に関する申合せ

(平成30年4月1日制定)

[令和4年3月22日最終改正]

島根大学大学院自然科学研究科博士前期課程を早期に修了を希望する者の取扱いについて、次のとおり申合せ。

(履修年次の特例)

- 1 早期修了を希望する者（以下「早期修了履修者」という。）が提出した研究計画書及び履修計画書を自然科学研究科長が適当と判断したときは、早期修了履修者は、履修する全ての授業科目について履修開始年次を超えて履修することができる。ただし、履修開始年次を超えて履修する授業科目については、「早期修了者用特別履修許可カード」を提出しなければならない。

(セミナー及び特別研究の特例)

- 2 早期修了履修者が履修するセミナー及び特別研究については、1年間又は1年半の履修により必要な単位を取得することができるものとする。ただし、単位取得に必要な授業時間数は確保しなければならない。

(履修登録の方法)

- 3 早期修了履修者の履修登録は、「早期修了履修者用履修届」を松江地区学部等事務部学務課に提出することにより行うものとする。

(学位論文等の特例)

- 4 早期修了履修者の学位論文又は特定の研究課題についての研究の成果は、提出に必要な研究指導を受けたうえで、1年間または1年半で提出できるものとする。

(早期修了資格者の認定結果報告)

- 5 研究科長は、大学院自然科学研究科博士前期課程における早期修了に関する取扱要項第8項に定める早期修了資格認定の申請があった場合には、コース長に対し、事前審査及び事前審査の結果報告を速やかに行わせ、早期修了資格者の認定結果を、3月修了者にあつては1月31日、9月修了者にあつては7月31日までに申請者に対し通知するものとする。

附 則

この申合せは、平成30年4月1日から実施する。

附 則 (令和2年12月23日一部改正)

この申合せは、令和3年1月1日から実施する。

附 則 (令和3年7月21日一部改正)

この申合せは、令和3年7月21日から実施する。

附 則 (令和4年3月22日一部改正)

この申合せは、令和4年4月1日から実施する。

大学院自然科学研究科における成績評価に係る不服申立てに関する取扱要項

(平成30年4月1日制定)

[令和4年12月21日最終改正]

- 1 この要項は、成績の評価に関する取扱要項の規定に基づき、島根大学大学院自然科学研究科（以下「研究科」という。）における成績評価の疑義に関する取扱いについて必要な事項を定めるものとする。
 - 2 成績評価に関する問合せは、成績の評価に関する取扱要項（平成16年4月1日学長決裁）第5項第2号に定める取扱いとする。
 - 3 研究科授業科目に係る不服申立ての手続き等は、次のとおりとする。
 - (1) 学生は、成績評価に係る不服申立書（別紙様式第1号）（以下「申立書」という。）に必要な事項を記入し、松江地区学部等事務部学務課（以下「事務部」という。）に提示するものとする。
 - (2) 事務部は、学生から提示された申立書の記載内容を確認し、申立書を自然科学研究科博士前期課程学務委員会委員長（博士後期課程学生にあっては博士後期課程学務委員会委員長）（以下「委員長」という。）に提出するよう指示するものとする。
 - (3) 委員長は、委員長及び博士前期課程学務委員会委員（博士後期課程学生にあっては博士後期課程学務委員会委員）（以下「学務委員」という。）若干名で構成される調査委員会を設置するものとする。
 - (4) 調査委員会は、申立書の提出に対して以下のように対応するものとする。ただし、委員長又は学務委員が当該授業科目の担当教員（以下「担当教員」という。）であった場合には、担当教員を除く委員長が指名した委員長代行者、学務委員及びその他若干名で構成される調査委員会が対応するものとする。
- 調査委員会は、
- 1-1. 当該学生と面談し、申立書の内容確認を行う。
 - 1-2. 担当教員と面談し、申立書の実事確認を行う。
 - 1-3. 成績評価に係る不服申立に対する回答書（別紙様式第2号）（以下「回答書」という。）を作成し、担当教員に提示する。
- 解決案（回答書）を担当教員が受け入れた場合
- 1-4. 事務部に対し、当該学生を委員長の元に出向させるよう依頼する。
 - 1-5. 委員長は、当該学生に対し回答する。
- 解決案（回答書）を担当教員が受け入れなかった場合
- 1-6. 担当教員が関係する専攻長又はコース長（博士後期課程にあっては分野長）と面談し経過説明を行うと共に、教育コース又は教育研究分野での検討を開始し、検討結果報告書（様式任意）を委員長あてに提出するよう依頼する。
 - 1-7. 検討結果報告書受領後、直近の博士前期課程学務委員会又は博士後期課程学務委員会及び研究科教授会に諮るものとする。
 - 1-8. 上記会議の結果を受け、委員長は、当該学生に会議の結果等を伝える。
- 4 学生が申立てをできる期間は、成績通知の日から起算して20日以内とする。

- 5 修了予定学期の学生に係る成績評価に関する不服申立てについては、前項の規定にかかわらず、授業担当者の説明を受けた日から原則として3日以内とする。
- 6 措置後の申立書は、事務部において措置日から10年間保存した後、廃棄するものとする。
- 7 成績評価に係る不服申立ては、当該期間の当該科目に対して一回のみとする。
- 8 博士前期課程学生、博士後期課程学生の学位論文等審査及び最終試験に係る不服申立ての手続き等は、この要項を準用する。

附 則

この要項は、平成30年4月1日から実施する。

附 則（令和2年2月19日一部改正）

この要項は、令和2年4月1日から実施する。

附 則（令和2年12月23日一部改正）

この要項は、令和3年1月1日から実施する。

附 則（令和4年3月22日一部改正）

この要項は、令和4年4月1日から実施する。

附 則（令和4年6月22日一部改正）

この要項は、令和4年6月22日から実施する。

附 則（令和4年12月21日一部改正）

この要項は、令和4年12月21日から実施する。

成績評価に係る不服申立書

島根大学大学院自然科学研究科長 殿

申立者

専攻

コース

学 生 番 号

氏 名

連絡先電話：

—

—

大学院自然科学研究科における成績評価に係る不服申立てに関する取扱要項第 3 項（1）に基づき、下記のとおり申立てます。

記

1 授業担当者氏名

2 授業科目区分等

科目区分：

科目名：

3 成績評価に関する問合せ日 令和 年 月 日

4 不服申立内容（詳細に記入すること。）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

成績評価に係る不服申立に対する回答書

申立者

専攻

コース

殿

島根大学大学院自然科学研究科長

○ ○ ○ ○

大学院自然科学研究科における成績評価に係る不服申立てに関する取扱要項第 3 項（4）に基づき、下記のとおり事実関係の調査結果を回答します。

記

1 授業担当者氏名

2 授業科目区分等

科目区分：

科目名：

3 不服申立内容

.....

.....

.....

.....

.....

4 調査結果

.....

.....

.....

.....

.....

.....

大学院自然科学研究科における入学前の既修得単位の認定に関する取扱要項

(平成30年4月1日制定)

[令和7年2月19日最終改正]

第1条 この要項は、大学院学則（平成16年島大学則第3号）第24条第4項に基づき、島根大学大学院自然科学研究科（以下「研究科」という。）に入学した学生の既修得単位を研究科において修得したものとして認定する場合の取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。

第2条 第1年次に入学した学生の既修得単位は、研究科が開設している授業科目と授業内容が同一と認められるものについて、研究科教授会の議を経て、15単位を限度として認定することができる。

第3条 転入学した学生に係る既修得単位の認定及び総合理工学部学生の博士前期課程授業科目の履修に関する要項（平成23年2月23日制定）又は生物資源科学部学生の自然科学研究科授業科目の履修に関する要項（平成30年3月20日制定）により修得した学生に係る単位の認定については、別に定める。

第4条 既修得単位の認定を受けようとする者は、主指導教員の承認を得て、次の各号に掲げる書類により所定の期日までに研究科長に願い出なければならない。

- 一 既修得単位認定願（別紙様式第1号）
- 二 学業成績証明書又は単位修得証明書
- 三 修了証明書又は在学期間証明書
- 四 シラバス又は授業内容等記載書
- 五 その他研究科が必要と認める書類

第5条 前条の願い出を受けた研究科長は、当該授業科目を開設するコース長（研究科共通科目及び医理工農連携プログラムで開設される科目にあつては、研究科長が指名するものを含む。）又は分野長（実践教育科目にあつては、研究科長が指名するものを含む。）に、授業内容が同一であるかどうかについて、審査を依頼するものとする。

第6条 前条の審査に当たっては、面接、口頭試問等を行うことができる。

第7条 既修得単位の認定を行ったときは、当該学生に対し既修得単位認定書（別紙様式第2号）を交付するとともに、認定した授業科目の単位に代えて他の授業科目の履修を行わせるなど、学習内容の豊富化を図るよう指導するものとする。

附 則

この要項は、平成30年4月1日から実施する。

附 則（令和2年2月19日一部改正）

この要項は、令和2年4月1日から実施する。

附 則（令和2年12月23日一部改正）

この要項は、令和3年1月1日から実施する。

附 則（令和3年2月17日一部改正）

1 この要項は、令和3年2月17日から実施する。

2 前項の規定にかかわらず、第2条の規定は令和2年6月30日から適用する。

附 則（令和7年2月19日一部改正）

この要項は，令和 7 年 4 月 1 日から実施する。

別紙様式第1号

令和 年 月 日

既 修 得 単 位 認 定 願

島根大学大学院自然科学研究科長 殿

島根大学大学院自然科学研究科

専攻

コース

学生番号

氏 名

下記のとおり、既修得単位の認定を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

記

1 島根大学入学前に在籍した大学院等

入学及び修了又は退学年月日	大 学 院 ， 研 究 科 ， 専 攻 等
年 月 日 入 学 年 月 日	大学大学院 研究科 課程 専攻

2 認定を受けようとする既修得単位

入学前に修得した授業科目・単位数		本学で修得した単位として認定を受けようとする授業科目・単位数	
授 業 科 目	単 位 数	授 業 科 目	単 位 数

注：各授業科目についての授業内容等記載書を添付すること。

主指導教員 _____

別紙様式第2号

既 修 得 単 位 認 定 書

島根大学大学院自然科学研究科

専攻

コース

学生番号

氏 名

認定する授業科目及び単位数			認定の基礎となった既修得科目及び単位数		
授 業 科 目	単位数	評価	授 業 科 目	単位数	評価

大学院学則第24条の規定に基づき、上記の授業科目及び単位数について、本学において修得したものとして認定する。

令和 年 月 日

島根大学大学院自然科学研究科長

印

授 業 内 容 等 記 載 書

1 授業科目, 単位数

.....

2 担当教員

3 授業の方法

講義 演習 実習 実技 実験

4 授業内容（詳細に記入のこと）

=====

=====

=====

.....

.....

.....

=====

=====

=====

.....

5 授業で使ったテキスト等

テキスト名

著書名

大学院自然科学研究科における転入学した学生に係る既修得単位の認定に関する
取扱要項

(平成30年4月1日制定)
〔令和7年2月19日最終改正〕

- 第1条 この要項は、大学院自然科学研究科における入学前の既修得単位の認定に関する取扱要項（平成30年4月1日制定）第3条に基づき、島根大学大学院自然科学研究科（以下「研究科」という。）に転入学した学生の既修得単位を研究科において修得したものとして認定する場合の取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。
- 第2条 転入学した学生の既修得単位は、研究科が開設している授業科目と授業内容が同一と認められるものについて、研究科教授会の議を経て認定することができる。
- 第3条 既修得単位の認定を受けようとする者は、主指導教員の承認を得て、次の各号に掲げる書類により所定の期日までに研究科長に願い出なければならない。
- 一 既修得単位認定願（別紙様式第1号）
 - 二 入学前の大学院等の履修規則（1単位の授業時間数が分かるものを含む。）
 - 三 学業成績証明書（提出時に履修中の科目がある場合は、その旨が記載されたもの。）
 - 四 シラバス又は授業内容等記載書
 - 五 その他研究科が必要と認める書類
- 第4条 前条の願い出を受けた研究科長は、当該授業科目を開設するコース長（研究科共通科目及び医理工農連携プログラムで開設される科目にあっては、研究科長が指名するものを含む。）又は分野長（実践教育科目にあっては、研究科長が指名するものを含む。）に、授業内容が同一であるかどうかについて、審査を依頼するものとする。
- 第5条 前条の審査に当たっては、面接、口頭試問等を行うことができる。
- 第6条 既修得単位の認定を行ったときは、当該学生に対し既修得単位認定書（別紙様式第2号）を交付する。

附 則

この要項は、平成30年4月1日から実施する。

附 則（令和2年2月19日一部改正）

この要項は、令和2年4月1日から実施する。

附 則（令和2年12月23日一部改正）

この要項は、令和3年1月1日から実施する。

附 則（令和7年2月19日一部改正）

この要項は、令和7年4月1日から実施する。

別紙様式第1号

令和 年 月 日

既 修 得 単 位 認 定 願

島根大学大学院自然科学研究科長 殿

島根大学大学院自然科学研究科

専攻

コース

学生番号

氏 名

下記のとおり, 既修得単位の認定を受けたいので, 関係書類を添えて申請します。

記

1 島根大学転入学前に在籍した大学院等

入学及び退学年月日	大 学 院 , 研 究 科 , 専 攻 等
年 月 日 入 学 年 月 日 退 学	大学大学院 課程 研究科 専攻

2 認定を受けようとする既修得単位

転入学前に修得した授業科目・単位数		本学で修得した単位として認定を受けようとする授業科目・単位数	
授 業 科 目	単 位 数	授 業 科 目	単 位 数

注:各授業科目についてのシラバス又は授業内容等記載書を添付すること。

主指導教員 _____

別紙様式第2号

既 修 得 単 位 認 定 書

島根大学大学院自然科学研究科

専攻

コース

学生番号

氏 名

認定する授業科目及び単位数			認定の基礎となった既修得科目及び単位数		
授 業 科 目	単位数	評価	授 業 科 目	単位数	評価

大学院学則第24条の規定に基づき、上記の授業科目及び単位数について、本学において修得したものとして認定する。

令和 年 月 日

島根大学大学院自然科学研究科長

印

授 業 内 容 等 記 載 書

1 授業科目, 単位数

2 担当教員

=====

3 授業の方法

講義 演習 実習 実技 実験

=====

4 授業内容（詳細に記入のこと）

.....

.....

=====

=====

5 授業で使ったテキスト等

テキスト名

=====

著 書 名

総合理工学部及び生物資源科学部学生の自然科学研究科授業科目の履修に関する要項により修得した学生に係る単位認定に関する申合せ
(平成30年4月1日制定)
〔令和7年2月19日最終改正〕

総合理工学部学生の博士前期課程授業科目の履修に関する要項(平成23年2月23日制定)及び生物資源科学部学生の自然科学研究科授業科目の履修に関する要項(平成30年3月20日制定)により修得した学生に係る単位認定について、次のとおり申合せ。

- 1 単位の認定を受けようとする者は、島根大学大学院自然科学研究科(以下「研究科」という。)入学後、主指導教員の承認を得て、次の各号に掲げる書類により所定の期日までに研究科長に願い出なければならない。
 - 一 自然科学研究科授業科目単位認定願(別紙様式)
 - 二 その他研究科が必要と認める書類
- 2 単位の認定は、原則として、入学後の自然科学研究科で開設する同一の授業科目で認定するものとする。ただし、これにより難しい場合は、授業内容を審査し同等と認められる授業科目で認定することができるものとする。
- 3 認定を受けた授業科目は、入学後に履修しても単位は認定しない。
- 4 その他認定に関する必要な事項は、大学院自然科学研究科における入学前の既修得単位の認定に関する取扱要項(平成30年4月1日制定)を準用する。

附 則

この申合せは、平成30年4月1日から実施する。

附 則(令和2年12月23日一部改正)

この申合せは、令和3年1月1日から実施する。

附 則(令和7年2月19日一部改正)

この申合せは、令和7年4月1日から実施する。

別紙様式

令和 年 月 日

自然科学研究科授業科目単位認定願

自然科学研究科長 殿

自然科学研究科

専攻

コース

学生番号

氏 名

下記のとおり、単位の認定を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

記

科目コード	授 業 科 目	単位数	備 考

主指導教員

大学院自然科学研究科博士前期課程における研究指導の方法及び内容に関する取扱
要項

(平成30年4月1日制定)
〔令和7年2月19日最終改正〕

- 第1条 この要項は、大学院自然科学研究科規則（平成30年島大自然科学研究科規則第1号）第16条第2項の規定に基づき、島根大学大学院自然科学研究科（以下「研究科」という。）博士前期課程における研究指導の方法及び内容に関する取り扱いについて、必要な事項を定める。
- 第2条 研究科に入学した学生は、第Ⅰ及び第Ⅲセメスター当初に「研究計画（年度計画）」（別紙様式1）を作成して松江地区学部等事務部学務課に提出する。また、学生は、第Ⅰ、第Ⅱ及び第Ⅲセメスターの授業期間終了後速やかに「プログレスレポート」（別紙様式2）を作成して松江地区学部等事務部学務課に提出する。なお、「研究計画」及び「プログレスレポート」は、主指導教員、副指導教員及び学生がそれぞれ保管するものとする。
- 2 前項の「研究計画」は、主指導教員が研究指導計画を記載し、当該学生と研究内容、研究方法及び進路希望等について十分に協議した上で、学生が研究の展望、研究予定を記載するものとする。
- 3 第1項の「研究計画」は、学生の自主的・創造的な研究活動の促進のため及び主指導教員の研究指導計画を、あらかじめ学生に明示するために作成されるものであり、研究活動の進展により、研究課題及び内容が変更されることを妨げるものではない。
- 第3条 副指導教員は、各々「研究計画」及び「プログレスレポート」を学生ごとの指導カルテとして管理・活用し、主指導教員と連携して当該学生の体系的・組織的な研究指導を行うものとする。
- 第4条 「特別研究」科目の成績の評価は、「プログレスレポート」及び当該セメスターにおける学生の研究活動状況に基づき、主指導教員が副指導教員と協議して行う。
- 第5条 主指導教員・副指導教員等又はコース会議等は、研究活動状況の中間発表会を設定し、学生に研究活動の中間発表を行わせるものとする。
- 2 中間発表会の形式は口頭発表又はポスターセッションとし、発表時に、発表要旨を参加者に配布する。
- 第6条 前条第1項の中間発表会において研究活動の中間発表を行うことを予定していたが、直前の急病等のためやむを得ず欠席することを認められた者には、後日中間発表会を設定するものとする。
- 第7条 この要項に定めるもののほか、研究指導の方法及び内容に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要項は、平成30年4月1日から実施する。

附 則（令和2年2月19日一部改正）

この要項は、令和2年4月1日から実施する。

附 則（令和2年12月23日一部改正）

この要項は、令和3年1月1日から実施する。

附 則（令和2年12月23日一部改正）

この要項は、令和 3 年 1 月 1 日から実施する。

附 則（令和 4 年 3 月 2 2 日一部改正）

この要項は、令和 4 年 4 月 1 日から実施する。

附 則（令和 4 年 6 月 2 2 日一部改正）

この要項は、令和 4 年 6 月 2 2 日から実施する。

附 則（令和 7 年 2 月 1 9 日一部改正）

この要項は、令和 7 年 4 月 1 日から実施する。

別紙様式1

研究計画(令和 年度 期からの1年間)

令和 年 月 日

島根大学大学院自然科学研究科長 殿

島根大学大学院自然科学研究科

専攻

コース

学生番号

氏 名

主指導教員

副指導教員

研究課題:

(主指導教員記入欄)

研究指導計画

(学生記入欄)

1. 博士前期課程における研究の展望(どのような研究に取り組み, どのようなことを明らかにしていきたいのか記載する)。

2. 月毎のおおまかな研究予定

※提出先:松江地区学部等事務部学務課(学生センター)

別紙様式2

プログレスレポート(第__セメスター)

令和 年 月 日

島根大学大学院自然科学研究科長 殿

島根大学大学院自然科学研究科

専攻

コース

学生番号

氏 名

主指導教員

副指導教員

研究課題:

1. 今期セメスターにおける研究の到達点と研究遂行上の問題点

2. 次期セメスターにおける計画

※提出先:松江地区学部等事務部学務課(学生センター)

大学院自然科学研究科博士前期課程学位論文（修士論文）等に係る評価基準

（平成30年4月1日制定）

〔令和2年12月23日最終改正〕

1 基本要件

- 一 修士の学位の審査を受けることができる者は、自然科学研究科博士前期課程（以下「博士前期課程」という。）修了に必要な30単位の授業科目を修得した者又は修得見込みが確実な者で、学位論文等（学位論文又は特定の課題についての研究成果を「学位論文等」という。以下「等」を省略）の作成のための研究活動の中間発表を行っていないなければならない。
- 二 修士の学位を受ける者は、博士前期課程のディプロマ・ポリシーが求める学力、能力、資質を満たすと認められる必要がある。また、学位論文は、これらの能力を修得したことを、明瞭に文章等として示すものでなければならない。
- 三 学位論文は、「島根大学における研究活動の不正行為の防止に関する規則」に則って適正に行われた研究に基づき作成されたものでなければならない。
- 四 学位論文は、申請者本人以外の論文及び研究発表等の独自性やアイデアを侵害する箇所を含んではならない。
- 五 学位論文は、著作権、知的財産権、肖像権その他の本人以外の権利を侵害してはならない。

2 論文の構成

学位論文は、次の要件を満たす構成とすること。

- 一 論文の題目が適切であること。
- 二 研究の背景が記述され、研究目的が明確であること。
- 三 目的に対応して結論等が、適切な過程を経て導き出されていること。
- 四 引用文献が適切に用いられていること。
- 五 前4号の内容が、適切な章立てにより不足なく含まれていること。

3 内容

学位論文の内容は、主に、次の観点において評価される。ただし、どの項目を重視するか、さらにどのような項目を追加するかなどは、審査委員（主査、副査）に一任される。

- 一 専攻分野において一定程度の学術的価値を有する。
- 二 先行研究を着実に踏まえて研究が行われている。
- 三 論旨が明快で、しっかりした論理展開がみられる。
- 四 適切な文章表現による論述が行われており、高いレベルで完結性を有する。
- 五 学位論文発表会等において、第1項及び第2項の内容が適切に表現できる。

附 則

この基準は、平成30年4月1日から実施する。

附 則（令和2年12月23日一部改正）

この基準は、令和3年1月1日から実施する。

学位規則自然科学研究科博士後期課程細則

(令和2年島大自然科学研究科細則第1号)

(令和2年2月19日制定)

[令和4年3月22日最終改正]

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この細則は、島根大学学位規則(平成16年島大規則第95号。以下「学位規則」という。)第22条及び大学院自然科学研究科規則(平成30年島大自然科学研究科規則第1号。以下「研究科規則」という。)第22条第2項に基づき、島根大学大学院自然科学研究科博士後期課程(以下「博士後期課程」という。)における博士の学位授与に関し必要な事項を定める。

(定義)

第2条 この細則において「課程博士」とは、学位規則第3条第3項の規定に基づき授与される博士の学位をいい、「論文博士」とは、学位規則第3条第4項の規定に基づき授与される博士の学位をいう。

(評価基準)

第3条 博士論文の評価基準は別に定める。

第2章 課程博士

(予備審査)

第4条 課程博士の学位を得ようとする者は、学位規則第5条第2項による博士論文の提出に先立ち、予備審査を経なければならない。

(予備審査の申請資格)

第5条 予備審査を申請することができる者は、次の各号の一に掲げる者とする。

- 一 博士後期課程に在学中の者で研究科規則第14条第1項に定める単位(以下「所定の単位」という。)を修得した者、又は所定の単位を修得する見込みが確実な者で、かつ、必要な研究指導を受けたもの
- 二 博士後期課程に1年(大学院の修士課程又は博士前期課程を1年以上の在学期間をもって修了した者にあつては当該課程における在学期間を含み3年)以上在学し、必要な研究指導を受け、特に優れた研究業績を上げ主指導教員が推薦した者

(予備審査の申請書類等)

第6条 予備審査を申請する者(以下「予備審査申請者」という。)は、主指導教員の承認を得て、次の各号に掲げる書類等を研究科長に提出するものとする。

- | | |
|--------------------|----|
| 一 予備審査申請書(別紙様式第1号) | 1部 |
| 二 博士論文の草稿 | 3部 |
| 三 博士論文の要旨(別紙様式第2号) | 3部 |
| 四 論文目録(別紙様式第3号) | 3部 |
| 五 関連論文等 | 3部 |
| 六 履歴書(別紙様式第4号) | 1部 |

(予備審査の申請時期)

第7条 予備審査の申請の時期は、原則として修了予定年次の11月(9月修了予定の者にあつては5月)の所定の期間とする。

(予備審査の付託)

第8条 研究科長は、予備審査の申請があったときは、博士論文の審査の申請に値するかどうかを決定するため、研究科教授会の議に基づき予備審査委員会を組織し、予備審査を付託するものとする。

(予備審査委員会)

第9条 予備審査委員会は、予備審査申請者ごとに、次に掲げる委員で構成するものとする。

- 一 博士後期課程担当教員のうちから、主指導教員を含め3名以上
- 二 必要があるときは、他の研究科を担当する教員又は他の大学院若しくは研究所等の教員等から2名以内

2 前項の予備審査委員会の委員（以下「予備審査委員」という。）は、予備審査委員候補者名簿（別紙様式第5号）により研究科教授会において決定するものとする。この場合において、前項第2号により他の研究科を担当する教員等を加える場合は、当該予備審査委員候補者の研究歴を含む略歴書（別紙様式第6号）を添付するものとする。

3 予備審査委員会に委員長を置き、第1項第1号の予備審査委員の互選により主指導教員以外の委員の中から選出するものとする。委員長は予備審査委員会の総括を行う。

4 予備審査委員会は、予備審査を付託された日から原則として4週間以内に審査を完了し、委員長はその結果を速やかに予備審査結果報告書（別紙様式第7号）により研究科長に報告するものとする。

(予備審査の結果の通知)

第10条 研究科長は、前条第4項の結果を予備審査結果通知書（別紙様式第8号）により、予備審査申請者に通知するとともに、研究科教授会に報告するものとする。

(審査の申請)

第11条 予備審査の結果、申請を認められた予備審査申請者は、博士論文審査の申請を行うものとする。

2 予備審査の結果、博士論文の審査の申請に値すると認められなかった予備審査申請者は、論文内容を改善の上、改めて予備審査の申請を行うことができる。

(審査の申請書類等)

第12条 博士論文の審査を申請する者（以下「申請者」という。）は、主指導教員の承認を得て、次の各号に掲げる書類等を研究科長に提出しなければならない。

- 一 博士論文審査願（別紙様式第9号） 1部
- 二 博士論文（1篇） 5部
- 三 博士論文の要旨（別紙様式第2号） 5部
- 四 論文目録（別紙様式第3号） 5部
- 五 関連論文等 5部

(審査の申請時期)

第13条 博士論文審査の申請の時期は、原則として修了予定年次の1月（9月修了予定の者にあつては7月）の所定の期間とする。

(審査の付託)

第14条 研究科長は、博士論文審査の申請があったときは、研究科教授会に審査を付託するものとする。

(審査委員会)

第15条 研究科教授会は、前条により審査を付託されたときは、申請者ごとに次に掲げる委員で構成する審査委員会を組織する。

- 一 博士後期課程担当教員のうちから、主指導教員を含め3名以上（教授3名を含む。）
- 二 必要があるときは、他の研究科を担当する教員又は他の大学院若しくは研究所等の教員等から2名以内

2 前項の審査委員会の委員（以下「審査委員」という。）は、審査委員候補者名簿（別紙様式第10号）により研究科教授会において決定するものとする。この場合において、前項第2号により他の研究科を担当する教員等を加える場合は、当該審査委員候補者の研究歴を含む略歴書（別紙様式第6号）を添付するものとする。

3 審査委員会に審査委員主査（以下「主査」という。）1名を置き、第1項第1号の審査委員の互選により主指導教員以外の委員の中から選出するものとする。主査は審査委員会の総括を行う。

(博士論文の公聴会)

第16条 審査委員会は、論文審査の段階において博士論文の公聴会を開催するものとする。

2 主査は、博士論文の公聴会の開催日程等を、原則として開催日の1週間前までに公聴会開催通知書（別紙様式第11号）により申請者に通知するとともに、公示するものとする。

(論文審査等の実施)

第17条 審査委員会は、論文審査及び最終試験を行う。

2 主査は、最終試験の実施に関し必要な事項を最終試験通知書（別紙様式第12号）により申請者に通知するものとする。

3 最終試験は、論文の内容を中心として、これに関連のある科目について口頭又は筆答により行う。

(論文審査結果等の審議)

第18条 審査委員会は、論文審査の結果及び最終試験の結果に基づき、学位授与に値するか否かを審議し、議決する。

2 前項の議決は、審査委員の3分の2以上の同意によって成立する。

3 論文審査及び最終試験の評価判定は、合格又は不合格とする。

(論文審査結果の報告)

第19条 審査委員会は、審査結果を、審査を付託された日から原則として4週間以内に、学位を授与できるかどうかの意見を添えて、研究科教授会に報告しなければならない。

2 前項の報告は、次の各号に掲げる文書により行うものとする。

- 一 論文審査結果及び最終試験結果報告書（別紙様式第13号）
- 二 論文審査結果の要旨（別紙様式第14号）

(学位授与判定会議)

第20条 研究科教授会は、前条の報告を受けたときは、博士後期課程を担当する教授で構成する学位授与判定会議を組織する。

2 学位授与判定会議は、研究科長が招集し、議長は研究科長をもって充てる。ただし、研究科長に事故があるときは、あらかじめ研究科長が指名した者がその職務を代理する。

- 3 学位授与判定会議は、構成員の3分の2以上の出席がなければ議事を開くことができない。
- 4 前項の定足数の算定にあたり、次の各号の一に該当する者は、構成員の数に参入しない。

- 一 出張者
- 二 研修者
- 三 30日以上にわたる病休者
- 四 休職者

第21条 学位授与判定会議は、審査委員会の報告に基づき、学位授与に値するか否かを審議し、議決する。

2 前項の議決は、出席者の3分の2以上の多数で議決する。

3 学位授与判定会議は、研究科教授会が特に必要と認めたときは、前条第1項に定める教授以外の者を会議に出席させ、その意見を聴くことができる。

(報告)

第22条 学位授与判定会議の審議結果は、研究科教授会に報告するものとする。

(学位授与の審議、議決)

第23条 研究科教授会は、学位授与判定会議の報告に基づき、申請者に学位を授与すべきか否かを審議し、議決する。

2 前項の議決は、出席者の3分の2以上の同意によって成立する。

(特例措置)

第24条 博士後期課程に3年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたのち退学した者が、退学時から3年以内に論文を提出した場合は、学位規則第3条第3項該当者として取り扱う。この場合において、論文予備審査の申請時期は、5月又は11月に行うことができる。

第3章 論文博士

(論文提出による学位授与の申請資格)

第25条 学位規則第3条第4項の規定に基づき、論文提出による博士の学位の授与を申請することができる者（以下「論文博士申請者」という。）は、次の各号の一に該当する者とする。

- 一 大学院の博士課程（前期、後期区分制の課程にあつては後期課程）において所定の標準修業年限以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたのち退学した者
- 二 大学院の博士前期課程又は修士課程の修了者で、4年以上の研究歴を有する者
- 三 大学の卒業者で、6年以上の研究歴を有する者
- 四 前各号に掲げる者以外で、10年以上の研究歴を有する者

(担当教員)

第26条 論文博士申請者は、論文の内容に関係の深い教育研究分野の研究指導教員を定めるものとする。

(論文提出による予備審査)

第27条 論文博士の学位を得ようとする者は、博士論文の審査の申請に先立ち、論文の予備審査を経なければならない。

(論文提出による予備審査の申請書類等)

第28条 論文の予備審査を申請する者（以下「論文予備審査申請者」という。）は、研究

指導教員の承認を得て、次の各号に掲げる書類等を研究科長に提出するものとする。

- | | |
|-------------------------|----|
| 一 博士論文予備審査申請書（別紙様式第15号） | 1部 |
| 二 博士論文の草稿 | 3部 |
| 三 博士論文の要旨（別紙様式第16号） | 3部 |
| 四 論文目録（別紙様式第17号） | 3部 |
| 五 関連論文等 | 3部 |
| 六 履歴書（別紙様式第4号） | 1部 |
| 七 最終学歴の卒業又は修了証明書 | 1部 |

（論文提出による予備審査の申請時期）

第29条 論文提出による予備審査の申請時期は、原則として11月又は5月の所定の期間とする。

（論文提出による予備審査の付託）

第30条 研究科長は、論文予備審査申請者より論文の予備審査請求があったときは、博士論文の審査の申請に値するか否かを決定するため、研究科教授会の議に基づき論文予備審査委員会を組織し、予備審査を付託するものとする。

（論文予備審査委員会）

第31条 論文予備審査委員会は、論文予備審査申請者ごとに、次に掲げる委員で構成するものとする。

- 一 博士後期課程担当教員のうちから、研究指導教員を含め3名以上
- 二 必要があるときは、他の研究科を担当する教員又は他の大学院若しくは研究所等の教員等から2名以内

2 前項の論文予備審査委員会の委員（以下「論文予備審査委員」という。）は、論文予備審査委員候補者名簿（別紙様式第18号）により研究科教授会において決定するものとする。この場合において、前項第2号により他の研究科を担当する教員等を加える場合は、当該論文予備審査委員候補者の研究歴を含む略歴書（別紙様式第6号）を添付するものとする。

3 論文予備審査委員会に委員長を置き、第1項第1号の論文予備審査委員のうちから互選により選出し、委員長は論文予備審査委員会の総括を行うものとする。

4 論文予備審査委員会は、予備審査を付託された日から原則として4週間以内に、博士論文の審査の申請に値するか否かを決定するものとし、委員長はその結果を速やかに論文予備審査結果報告書（別紙様式第19号）により研究科長に報告するものとする。

（論文提出による予備審査の結果通知）

第32条 研究科長は、前条第4項の結果を博士論文予備審査結果通知書（別紙様式第20号）により、論文予備審査申請者に通知するとともに、研究科教授会に報告するものとする。

（論文審査の申請）

第33条 論文提出による予備審査の結果、申請を認められた論文予備審査申請者は、博士論文の審査の申請を行うものとする。

（論文申請による審査の申請書類等）

第34条 論文博士申請者は、研究指導教員の承認を得て、次の各号に掲げる書類等に、論文審査手数料を添え、研究科長を経て学長に提出しなければならない。

- | | |
|------------------------|-----|
| 一 学位授与申請書（別紙様式第 2 1 号） | 1 部 |
| 二 博士論文（1 篇） | 5 部 |
| 三 博士論文の要旨（別紙様式第 1 6 号） | 5 部 |
| 四 論文目録（別紙様式第 1 7 号） | 5 部 |
| 五 関連論文等 | 5 部 |

（論文申請による審査の申請時期）

第 3 5 条 論文博士申請者は、原則として 1 月又は 7 月の所定の期間に申請するものとする。
（論文審査委員会）

第 3 6 条 研究科長は、学長から博士論文の審査を付託されたときは、論文博士申請者ごとに、次に掲げる委員で構成する論文審査委員会を組織する。

- 一 博士後期課程担当教員のうちから、研究指導教員を含め 3 名以上（教授 3 名を含む。）
- 二 必要があるときは、他の研究科を担当する教員又は他の大学院若しくは研究所等の教員等から 2 名以内

2 前項の論文審査委員会の委員（以下「論文審査委員」という。）は、論文審査委員候補者名簿（別紙様式第 2 2 号）により研究科教授会において決定するものとする。この場合において、前項第 2 号により他の研究科を担当する教員等を加える場合は、当該論文審査委員候補者の研究歴を含む略歴書（別紙様式第 6 号）を添えるものとする。

3 論文審査委員会に、論文審査委員主査（以下「主査」という。）1 名を置き、第 1 項第 1 号の論文審査委員の互選により選出し、主査は論文審査委員会の総括を行うものとする。

（論文申請による博士論文の公聴会）

第 3 7 条 論文審査委員会は、論文審査の段階において博士論文の公聴会を開催するものとする。

2 主査は、博士論文の公聴会の開催日程等を、原則として開催日の 1 週間前までに公聴会開催通知書（別紙様式第 1 1 号）により論文博士申請者に通知するとともに、公示するものとする。

（論文申請による博士論文審査等の実施）

第 3 8 条 論文審査委員会は、論文審査及び学力の確認を行う。

2 主査は、学力の確認の実施に関し必要な事項を最終試験通知書（別紙様式第 1 2 号）により論文博士申請者に通知するものとする。

3 学力の確認は、論文の内容を中心として、これに関連のある専門分野及び外国語について口頭又は筆答により行う。

（論文申請による論文審査結果等の審議）

第 3 9 条 論文審査委員会は、論文審査の結果及び学力の確認の結果に基づき、学位授与に値するか否かを審議し、議決する。

2 前項の議決は、論文審査委員の 3 分の 2 以上の同意によって成立する。

3 論文審査及び学力の確認の評価判定は、合格又は不合格とする。

（論文申請による論文審査結果の報告）

第 4 0 条 論文審査委員会は、審査結果を、審査を付託された日から原則として 4 週間以内に、学位を授与できるかどうかの意見を添えて、研究科教授会に報告しなければならない。

2 前項の報告は、次の各号に掲げる文書により行うものとする。

一 論文審査結果及び学力確認結果報告書（別紙様式第23号）

二 論文審査結果の要旨（別紙様式第24号）

（学位授与判定会議）

第41条 研究科教授会は、前条の報告を受けたときは、博士後期課程を担当する教授で構成する学位授与判定会議を組織する。

2 学位授与判定会議は、研究科長が招集し、議長は研究科長をもって充てる。ただし、研究科長に事故があるときは、あらかじめ研究科長が指名した者がその職務を代理する。

3 学位授与判定会議は、構成員の3分の2以上の出席がなければ議事を開くことができない。

4 前項の定足数の算定にあたり、次の各号の一に該当する者は、構成員の数に参入しない。

一 出張者

二 研修者

三 30日以上にわたる病休者

四 休職者

第42条 学位授与判定会議は、審査委員会の報告に基づき、学位授与に値するか否かを審議し、議決する。

2 前項の議決は、出席者の3分の2以上の多数で議決する。

3 学位授与判定会議は、研究科教授会が特に必要と認めたときは、前条第1項に定める教授以外の者を会議に出席させ、その意見を聴くことができる。

（報告）

第43条 学位授与判定会議の審議結果は、研究科教授会に報告するものとする。

（論文申請による学位授与の審議、議決）

第44条 研究科教授会は、学位授与判定会議の報告に基づき、論文博士申請者に学位を授与すべきか否かを審議し、議決する。

2 前項の議決は、出席者の3分の2以上の同意によって成立する。

第4章 雑則

（報告）

第45条 研究科長は、第23条及び前条の議決の結果を、速やかに学長に報告しなければならない。

（博士論文の保管）

第46条 博士論文は、当該教育研究分野において保管するものとし、博士論文要旨及び論文目録は松江地区学部等事務部学務課において保管するものとする。

2 前項の博士論文、博士論文要旨及び論文目録の保管期間は、10年とする。

（雑則）

第47条 この細則に定めるもののほか、博士論文の審査等に関し必要な事項は、研究科長が別に定める。

附 則

この細則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和2年12月23日一部改正）

この細則は、令和3年1月1日から施行する。

附 則（令和4年3月22日一部改正）

この細則は、令和4年4月1日から施行する。

予 備 審 査 申 請 書

年 月 日

島根大学大学院自然科学研究科長 殿

主指導教員 承認印	
--------------	--

申 請 者

年度入学

島根大学大学院自然科学研究科博士後期課程創成理工学専攻

コース

分野

氏 名

印

学位規則自然科学研究科博士後期課程細則第6条の規定に基づき、下記の関係書類を添えて、
博士論文の予備審査を申請します。

記

1 提出書類

博士論文の草稿	3部
博士論文の要旨	3部
論文目録	3部
関連論文等	3部
履歴書	1部

2 取得希望学位（付記する専攻分野）

博士（ ）

（備考）用紙の大きさは、A4縦型とすること。

博 士 論 文 の 要 旨

島根大学大学院自然科学研究科博士後期課程創成理工学専攻

コ ー ス

分 野

氏 名

論文題目	
論文要旨	

- （備考） 1 和文の場合は2,000字程度，英文の場合は800語程度で作成すること。
2 用紙の大きさは，A4縦型とすること。

履 歴 書

ふりがな 氏 名	(男・女) 年 月 日 生
本 籍 地	都 道 府 県 〔日本国籍以外 の者は国籍〕
現 住 所	〒 Tel
年 月 日	学 歴
年 月 日	職 歴
年 月 日	研 究 歴
年 月 日	賞 罰
上記のとおり相違ありません。 年 月 日 氏名 印	

（備考）用紙の大きさは，A4縦型とすること。

年 月 日

予備審査委員候補者名簿

博士後期課程担当教員

教育研究分野	氏 名	備 考
		主指導教員

他の研究科等の教員等

所 属	氏 名	備 考

予備審査申請者

入 学 年 度	年 度	学 生 番 号	
専攻・コース	創成理工学専攻		コース
氏 名			
論 文 題 目			

年 月 日

島根大学大学院自然科学研究科長 殿

予備審査委員会

委員長 印

委 員 印

委 員 印

委 員 印

委 員 印

予 備 審 査 結 果 報 告 書

下記博士論文の予備審査の結果を次のとおり報告します。

記

入 学 年 度	年 度	学 生 番 号	
専 攻 ・ コー ス	創成理工学専攻 コー ス		
氏 名			
論 文 題 目			
学 位 〔付記する専攻分野〕	博 士 （ ）		
審査結果			
※（粗悪学術雑誌への掲載がない旨の確認を含むこと。）			

予 備 審 査 結 果 通 知 書

創成理工学専攻

コース・分野名

コース

分野

氏 名

論文題目

上記の論文は、予備審査の結果、博士論文の審査の申請に値するものと認める。

年 月 日

島根大学大学院自然科学研究科長

印

予 備 審 査 結 果 通 知 書

創成理工学専攻

コース・分野名

コース

分野

氏 名

論文題目

上記の論文は、予備審査の結果、博士論文の審査の申請に値するものと認められない。

年 月 日

島根大学大学院自然科学研究科長

印

博 士 論 文 審 査 願

年 月 日

島根大学大学院自然科学研究科長 殿

主指導教員 承認印	
--------------	--

申 請 者

年度入学

島根大学大学院自然科学研究科博士後期課程創成理工学専攻

コース

分野

氏 名

印

学位規則自然科学研究科博士後期課程細則第12条の規定に基づき、下記の関係書類を添えて、博士論文の審査を申請します。

記

1 提出書類

博 士 論 文	5 部
博 士 論 文 の 要 旨	5 部
論 文 目 録	5 部
関 連 論 文 等	5 部

2 取得希望学位（付記する専攻分野）

博 士 （ ）

（備考）用紙の大きさは、A4縦型とすること。

年 月 日

審査委員候補者名簿

博士後期課程担当教員

教育研究分野	氏 名	備 考
		主指導教員

他の研究科等の教員等

所 属	氏 名	備 考

申 請 者

入 学 年 度	年 度	学 生 番 号	
専攻・コース	創成理工学専攻		コース
氏 名			
論 文 題 目			

年 月 日

申請者

殿

審査委員主査

印

公聴会開催通知書

審査申請のありました博士論文について，下記のとおり公聴会を開催しますので，通知します。

記

日 時

場 所

その他

年 月 日

申請者

殿

審査委員主査

印

最終試験通知書

博士の学位授与に関する最終試験を下記のとおり実施しますので，通知します。

記

日 時

場 所

その他

年 月 日

島根大学大学院自然科学研究科教授会 殿

審査委員会

主 査 印

副 査 印

副 査 印

副 査 印

副 査 印

論文審査結果及び最終試験結果報告書

下記の者に対する博士論文審査の結果及び最終試験の結果を次のとおり報告します。

記

入 学 年 度	年 度	学 生 番 号	
専攻・コース ・分野	創成理工学専攻	コース	分野
氏 名			
論 文 題 目			
学 位 〔 付記する 専攻分野 〕	博 士 （ ）		

論文審査結果

評 価 判 定 合 格 ・ 不 合 格

最終試験

〔実施月日： 年 月 日 〕

〔確認方法： 口 頭 ・ 筆 答 〕

試験結果の要旨

評 価 判 定

合 格 ・ 不 合 格

審査委員会の学位授与に関する意見

※（粗悪学術雑誌への掲載がない旨の確認を含むこと。）

論文審査結果の要旨

専攻・コース・分野	創成理工学専攻	コース	分野
氏名			
論文題目			
論文審査結果要旨			

博士論文予備審査申請書

年 月 日

島根大学大学院自然科学研究科長 殿

担当教員 承認印	
-------------	--

申請者

住所

氏名

印

学位規則自然科学研究科博士後期課程細則第28条の規定に基づき、下記の関係書類を添えて、博士論文の予備審査を申請します。

記

1 提出書類

博士論文の草稿	3部
博士論文の要旨	3部
論文目録	3部
関連論文等	3部
履歴書	1部
最終学歴の卒業又は修了証明書	1部

2 取得希望学位（付記する専攻分野）

博士（ ）

（備考）用紙の大きさは、A4縦型とすること。

博士論文の要旨

氏 名

論文題目	
論文要旨	

- （備考） 1 和文の場合は2,000字程度，英文の場合は800語程度で作成すること。
2 用紙の大きさは，A4縦型とすること。

論文目録

氏 名	
	1. 学位申請論文題目 2. 発表論文 (1) 関連論文 題目 著者名（全員） 掲載誌名（巻，号，頁） 発行年月 (2) 参考論文 題目 著者名（全員） 掲載誌名（巻，号，頁） 発行年月

（備考）用紙の大きさは，A4縦型とすること。

年 月 日

論文予備審査委員候補者名簿

博士後期課程担当教員

教育研究分野	氏 名	備 考
		担当教員

他の研究科等の教員等

所 属	氏 名	備 考

予備審査申請者

氏 名	(生年月日) 年 月 日 生
論 文 題 目	

年 月 日

島根大学大学院自然科学研究科長 殿

論文予備審査委員会

委員長	印
委 員	印
委 員	印
委 員	印
委 員	印

論文予備審査結果報告書

下記博士論文の予備審査の結果を次のとおり報告します。

記

氏 名	(生年月日) 年 月 日生
論 文 題 目	
学 位 〔付記する専攻分野〕	博 士 ()
審査結果	
※（粗悪学術雑誌への掲載がない旨の確認を含むこと。）	

博士論文予備審査結果通知書

氏 名

論文題目

上記の論文は、予備審査の結果、博士論文の審査の申請に値するものと認める。

年 月 日

島根大学大学院自然科学研究科長

印

博士論文予備審査結果通知書

氏 名

論文題目

上記の論文は、予備審査の結果、博士論文の審査の申請に値するものと認められない。

年 月 日

島根大学大学院自然科学研究科長

印

学位授与申請書

年 月 日

島根大学長

島根大学大学院自然科学研究科長 殿

担当教員 承認印	
-------------	--

申請者

住 所

氏 名

印

島根大学学位規則第6条第1項及び学位規則自然科学研究科博士後期課程細則第34条の規定に基づき、下記の関係書類を添えて、学位授与を申請します。

記

1 提出書類

博士論文	5部
博士論文の要旨	5部
論文目録	5部
関連論文等	5部

2 取得希望学位（付記する専攻分野）

博士（ ）

（備考）用紙の大きさは、A4縦型とすること。

論文審査委員候補者名簿

博士後期課程担当教員

教育研究分野	氏 名	備 考
		担当教員

他の研究科等の教員等

所 属	氏 名	備 考

申 請 者

氏 名	(生年月日) 年 月 日 生
論 文 題 目	

年 月 日

島根大学大学院自然科学研究科教授会 殿

論文審査委員会

主 査	印
副 査	印
副 査	印
副 査	印
副 査	印

論文審査結果及び学力確認結果報告書

下記の者に対する博士論文審査の結果及び学力確認の結果を次のとおり報告します。

記

氏 名	(生年月日) 年 月 日生
論 文 題 目	
学 位 〔 付記する 専攻分野 〕	博 士 ()

論文審查結果

評価判定

合 格

.

不合格

最終試験

〔実施月日： 年 月 日〕

〔確認方法： 口 頭 ・ 筆 答 〕

試験結果の要旨

評価判定

合 格

.

不合格

審査委員会の学位授与に関する意見

※（粗悪学術雑誌への掲載がない旨の確認を含むこと。）

論文審査結果の要旨

氏 名	
論 文 題 目	
論文審査結果要旨	

大学院自然科学研究科博士後期課程における早期修了に関する取扱要項

(令和2年4月1日制定)

[令和2年12月23日最終改正]

(趣旨)

第1条 この要項は、大学院学則（平成16年島大学則第3号）（以下「大学院学則」という。）第42条第3項、第6項及び7項ただし書に規定する「優れた研究業績を上げたと認める者」の在学期間短縮による課程の修了（以下「早期修了」という。）の取扱いに関し、必要な事項を定める。

(早期修了の要件)

第2条 島根大学大学院自然科学研究科（以下「研究科」という。）博士後期課程において、在学期間を短縮し早期修了を希望することができる者は、次の各号のすべてに該当する者とする。

- 一 早期修了しようとする時期までに大学院学則第42条第3項、第6項及び7項ただし書に規定する在学年数以上在学し、かつ所定の単位を取得可能な者
- 二 博士後期課程に在籍する者のうち優れた研究業績を上げたと認める者
- 三 主指導教員が推薦する者

(早期修了の申請)

第3条 早期修了を希望する者（以下「申請者」という。）は、主指導教員の承認を得て、博士後期課程早期修了申請書（別紙様式1）を学位規則自然科学研究科博士後期課程細則（以下、「博士後期課程細則」という。）第6条に定める予備審査の申請書類等に添えて研究科長に提出しなければならない。

(早期修了の申請の時期)

第4条 前条に定める申請書類等は、博士後期課程細則第7条に定める予備審査の申請期日までに提出するものとする。

(早期修了の審査及び予備審査の実施)

第5条 研究科長は前条の申請があったときは、早期修了審査委員会（以下「委員会」という。）を設置し、早期修了の認定について審査するものとする。

(委員会の組織)

第6条 委員会は、次の各号に掲げる委員を持って組織する。

- 一 研究科長
 - 二 各教育研究分野を担当する教員代表 9名
 - 三 研究科長が指名する者
- 2 委員会に委員長を置き、委員長は研究科長をもって充てる。
 - 3 委員会は必要に応じ、委員以外の者を委員会に出席させ意見を求めることができる。
 - 4 委員会は、委員の4分の3以上の出席をもって成立し、出席委員の3分の2以上の議決により早期修了の認定を決定する。

(優れた研究業績を上げたと認める者)

第7条 第2条第2号に定める優れた研究業績を上げたと認める者とは、「大学院自然科学研究科博士後期課程における博士論文の審査等に関する取扱要項」第4条第3号及び第4号の条件を満たす関連論文（博士論文作成の基礎となった論文）が、早期修了申請時までに学術雑誌等に

掲載済み又は掲載決定している者とする。

(予備審査の実施)

第8条 予備審査は早期修了が認定された者について実施するものとする。

(早期修了の審査結果等の通知)

第9条 研究科長は、早期修了の審査結果及び早期修了が認定された場合の予備審査の結果を、博士論文審査の申請時期までに申請者に対し通知するものとする。

(博士論文審査の申請)

第10条 前条において、予備審査に合格した者は、博士後期課程細則第11条以降に定める手続きを行わなければならない。

(早期修了の時期)

第11条 早期修了者の修了の時期は、3月又は9月とする。

(雑則)

第12条 この要項に定めるもののほか、早期修了に関して必要な事項は、別に定める。

附 則

この要項は、令和2年4月1日から実施する。

附 則 (令和2年12月23日一部改正)

この要項は、令和3年1月1日から実施する。

(別紙様式 1)

年 月 日

島根大学大学院自然科学研究科長 殿

島根大学大学院自然科学研究科創成理工学専攻
コース

学生番号

氏 名

㊞

主指導教員

㊞

博士後期課程早期修了申請書

島根大学大学院学則第 4 2 条第 項ただし書きの規定により，優れた研究業績による博士後期課程早期修了を希望しますので，下記のとおり申請します。

記

1 論文題目

2 研究内容（優れた研究業績）の説明

3 主指導教員の推薦理由

4 早期修了を希望する時期 年 月 日

5 修士課程又は博士前期課程の在学期間

年 月 日 ～ 年 月 日まで（ 年 月）

大学院自然科学研究科博士後期課程における研究指導の方法及び内容に関する取扱
要項

(令和2年2月19日制定)
〔令和7年2月19日最終改正〕

- 第1条 この要項は、大学院自然科学研究科規則（平成30年島大自然科学研究科規則第1号）第16条第4項の規定に基づき、島根大学大学院自然科学研究科（以下「研究科」という。）博士後期課程における研究指導の方法及び内容に関する取り扱いについて、必要な事項を定める。
- 第2条 研究科に入学した学生は、学年の当初に「研究計画（年度計画）」（別紙様式1）を作成し、また、学年の授業期間終了後速やかに「研究進捗状況報告書」（別紙様式2）を作成して研究科長に提出するものとする。なお、「研究計画」及び「研究進捗状況報告書」は主指導教員、副指導教員及び学生がそれぞれ保管するものとする。
- 2 前項の「研究計画」は、主指導教員が研究指導計画を記載し、当該学生と研究内容、研究方法及び進路希望等について十分に協議した上で、学生が研究の展望、研究予定を記載するものとする。
- 3 第1項の「研究計画」は、学生の考える研究の展望、研究予定等及び主指導教員の研究指導計画を、あらかじめ互いに理解するために作成されるものであり、研究活動の進展により、研究課題及び内容が変更されることを妨げるものではない。
- 第3条 副指導教員は、各々「研究計画」及び「研究進捗状況報告書」を学生の指導カルテとして管理・活用し、主指導教員と連携して当該学生の体系的・組織的な研究指導を行うものとする。
- 第4条 「論文研究」科目の成績の評価は、「研究進捗状況報告書」及び当該学年における学生の研究活動状況に基づき、主指導教員が副指導教員と協議して行う。
- 第5条 学生は、原則として、年1回以上の学会発表を行うものとする。
- 第6条 この要項に定めるもののほか、研究指導の方法及び内容に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要項は、令和2年4月1日から実施する。

附 則（令和2年12月23日一部改正）

この要項は、令和3年1月1日から実施する。

附 則（令和4年3月22日一部改正）

この要項は、令和4年4月22日から実施する。

附 則（令和4年6月22日一部改正）

この要項は、令和4年6月22日から実施する。

附 則（令和7年2月19日一部改正）

この要項は、令和7年4月1日から実施する。

別紙様式1

研究計画(令和 年度 期からの1年間)

令和 年 月 日

島根大学大学院自然科学研究科長 殿

島根大学大学院自然科学研究科創成理工学専攻

コース

学生番号

氏 名

主指導教員

副指導教員

研究課題:

(主指導教員記入欄)

研究指導計画

(学生記入欄)

研究の展望, 研究予定等

※提出先:松江地区学部等事務部学務課(学生センター)

別紙様式2

研究進捗状況報告書(令和 年度 期からの1年間)

令和 年 月 日

島根大学大学院自然科学研究科長 殿

島根大学大学院自然科学研究科創成理工学専攻

コース

学生番号

氏 名

主指導教員

副指導教員

研究課題:

1. 今学年における研究進捗状況

2. 次の1年間の研究計画

※提出先:松江地区学部等事務部学務課(学生センター)

大学院自然科学研究科博士後期課程学位論文（博士論文）に係る評価基準

（令和２年４月１日制定）

〔令和２年１２月２３日最終改正〕

1 基本要件

- 一 博士論文は、博士の学位を申請する者が自然科学研究科博士後期課程のディプロマ・ポリシーが求める学力、能力、資質を備えていることを示す十分な学術的価値と高い独創性を有するものでなければならない。
- 二 博士論文は、申請者自身の単著とし、本人以外の論文ないし研究発表の独自性やアイデアを侵害する箇所を含んではならない。
- 三 博士論文は掲載済みあるいは掲載決定済みの関連論文を基に作成されていなければならない。関連論文の条件は、「島根大学大学院自然科学研究科博士後期課程における博士論文の審査等に関する取扱要項」の定めによるものとする。
- 四 博士論文は、著作権、肖像権その他の本人以外の権利を侵害してはならない。
- 五 博士論文は、「国立大学法人島根大学における研究活動の不正行為の防止に関する規則」に則って適正に行われた研究に基づき作成されたものでなければならない。

2 論文の構成

博士論文は、次の要件を満たす構成とする。

- 一 論文の題目が適切であること。
- 二 研究の背景が記述され、研究目的が明確であること。
- 三 目的に対応して結論等が適切に導き出されていること。
- 四 引用文献が適切に用いられていること。
- 五 前項までの内容が、適切な章立てにより不足なく含まれていること。

3 内容

博士論文の内容は、次のような点において評価する。ただし、どの項目を重視するか、さらにどのような項目を追加するかなどは、審査委員会に一任される。

- 一 専攻分野において十分な学術的価値を有する。学術的価値とは、未知の事象・事物の発見、新しい分析方法や理論の構築・展開、新しい学問的解釈や概念の提出など、当該分野における学術研究の発展に貢献をなすものを指す。
- 二 テーマの選択、ならびにそのテーマに即した研究が、先行研究を着実に踏まえて行われており、学界において一定の評価が得られるものである。
- 三 論理的に一貫した構成と内容を有し、高いレベルで完結性を有する。

附 則

この基準は、令和２年４月１日から実施する。

附 則（令和２年１２月２３日一部改正）

この基準は、令和３年１月１日から実施する。